

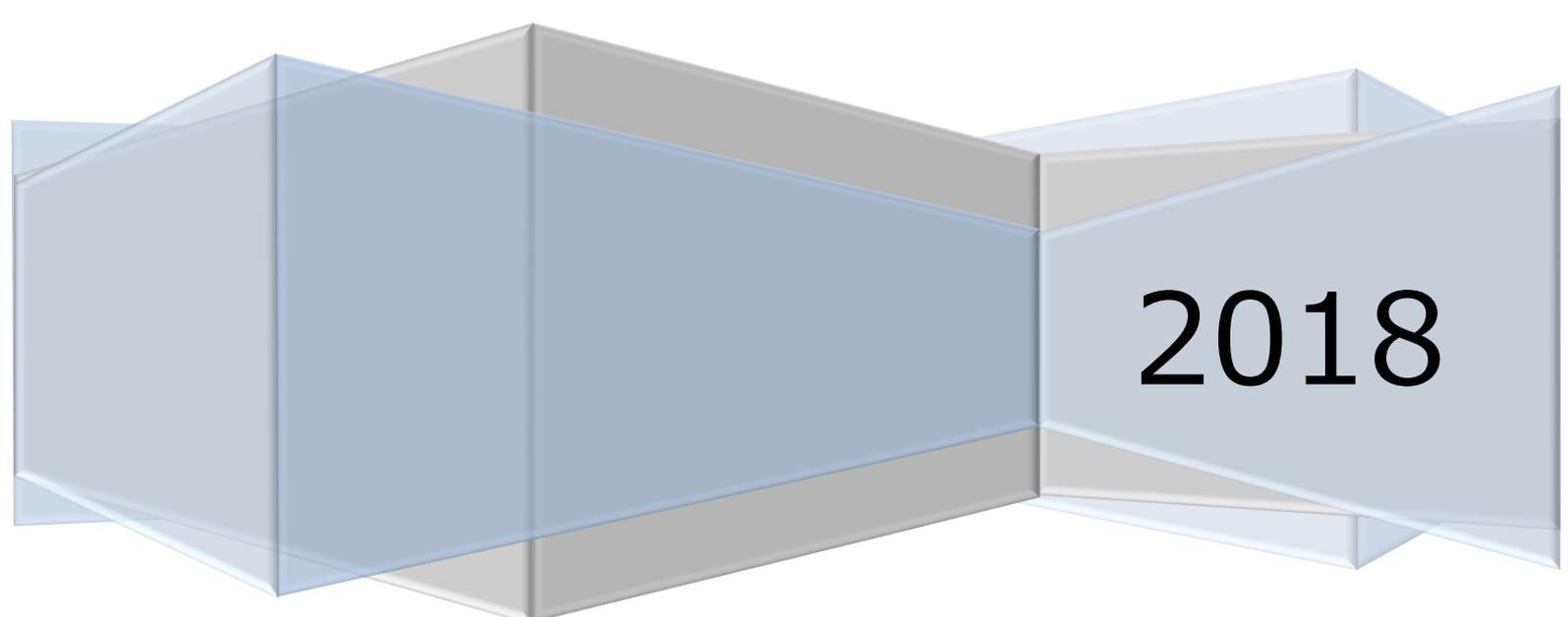
東京医科歯科大学教養部

教 育 要 項

— 教養教育 —

医学部医学科 2・3 年

歯学部歯学科 2・3 年



2018

目次

平成30年度医歯学融合教育（教養教育）	1
講義室一覧	2
教養教育	3
生命科学基礎	4
生命科学基礎（化学A）	5
生命科学基礎（化学B）	7
生命科学基礎（生物A）	9
生命科学基礎（生物B）	11
主題別教育（医学科・歯学科）について	13
5つの主題	14
各学年の履修について	15
主題別選択Ⅰ・Ⅱ	19
主題別選択Ⅰ（語り（ナラティブ）の構造）	1
主題別選択Ⅰ（いのちと医療の歴史学）	3
主題別選択Ⅰ（ディアスポラ（離散社会）の言語と文学）	5
主題別選択Ⅰ（スポーツと心）	7
主題別選択Ⅰ（フランス文学を読む）	9
主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの社会）	11
主題別選択Ⅰ（音声と音楽の数理）	14
主題別選択Ⅰ（医歯系のための物理）	16
主題別選択Ⅰ（物理数学演習）	18
主題別選択Ⅰ（科学と疑似科学の境界）	20
主題別選択Ⅰ（食品の科学）	22
主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）	24
主題別選択Ⅰ（宇宙と生命）	26
主題別選択Ⅰ（生物間のコミュニケーション）	28
主題別選択Ⅰ（医療の社会学）	30
主題別選択Ⅰ（ヒトの脳と言語）	32
主題別選択Ⅰ（Explorations in Literature Philosophy and Science）	34
主題別選択Ⅰ（学習・記憶と言語）	36
主題別選択Ⅰ（語り（ナラティブ）と時間）	38
主題別選択Ⅰ（いのちと医療の倫理学）	40
主題別選択Ⅰ（ディアスポラの文化）	42
主題別選択Ⅰ（スポーツと健康）	44
主題別選択Ⅰ（フランス詩を読む）	46
主題別選択Ⅰ（ドイツとヨーロッパの現在）	48
主題別選択Ⅰ（情報と人間）	51
主題別選択Ⅰ（人体・医療の物理）	53
主題別選択Ⅰ（微分方程式演習）	55
主題別選択Ⅰ（タンパク質科学の光と影）	57
主題別選択Ⅰ（植物の科学）	59
主題別選択Ⅰ（危険物の科学）	61
主題別選択Ⅰ（老化と寿命）	63
主題別選択Ⅰ（環境への適応）	65
主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）	67
主題別選択Ⅰ（英語で学ぶヒトの脳と言語）	69
主題別選択Ⅰ（Understanding Language and Society）	71
主題別選択Ⅰ（学習・記憶と老化）	73
主題別選択Ⅱ（語り（ナラティブ）の構造）	75
主題別選択Ⅱ（いのちと医療の歴史学）	77
主題別選択Ⅱ（ディアスポラ（離散社会）の言語と文学）	79

主題別選択Ⅱ (スポーツと心)	81
主題別選択Ⅱ (フランス文学を読む)	83
主題別選択Ⅱ (ドイツとヨーロッパの社会)	85
主題別選択Ⅱ (音声と音楽の数理)	88
主題別選択Ⅱ (医歯系のための物理)	90
主題別選択Ⅱ (物理数学演習)	92
主題別選択Ⅱ (科学と疑似科学の境界)	94
主題別選択Ⅱ (食品の科学)	96
主題別選択Ⅱ (生物の中の糖)	98
主題別選択Ⅱ (宇宙と生命)	100
主題別選択Ⅱ (生物間のコミュニケーション)	102
主題別選択Ⅱ (医療の社会学)	104
主題別選択Ⅱ (ヒトの脳と言語)	106
主題別選択Ⅱ (Explorations in Literature Philosophy and Science)	108
主題別選択Ⅱ (学習・記憶と言語)	110
主題別選択Ⅱ (語り (ナラティブ) と時間)	112
主題別選択Ⅱ (いのちと医療の倫理学)	114
主題別選択Ⅱ (ディアスポラの文化)	116
主題別選択Ⅱ (スポーツと健康)	118
主題別選択Ⅱ (フランス詩を読む)	120
主題別選択Ⅱ (ドイツとヨーロッパの現在)	122
主題別選択Ⅱ (情報と人間)	125
主題別選択Ⅱ (人体・医療の物理)	127
主題別選択Ⅱ (微分方程式演習)	129
主題別選択Ⅱ (タンパク質科学の光と影)	131
主題別選択Ⅱ (植物の科学)	133
主題別選択Ⅱ (危険物の科学)	135
主題別選択Ⅱ (老化と寿命)	137
主題別選択Ⅱ (環境への適応)	139
主題別選択Ⅱ (民主主義を再考する)	141
主題別選択Ⅱ (英語で学ぶヒトの脳と言語)	143
主題別選択Ⅱ (Understanding Language and Society)	145
主題別選択Ⅱ (学習・記憶と老化)	147
主題別人文社会科学セミナー・講義	149
医学科・歯学科 (3年生) : 主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール	150
人文社会科学講義 (医療と社会)	151
人文社会科学講義 (医療と法)	155
主題別人文社会科学セミナー (文化と人間)	159
主題別人文社会科学セミナー (生命と人間)	162
主題別人文社会科学セミナー (言語と人間)	165
主題別人文社会科学セミナー (制度と人間)	168
主題別人文社会科学セミナー (時間と人間)	171
東京医科歯科大学全学共通科目履修規則	175

平成30年度医歯学融合教育(教養教育)

● 医学科・歯学科(2年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)
4月5日	木	1	生命科学基礎(生物学) (医学科・歯学科2年生対象) (医学科講義室1 および共用講義室2) (※)5月17日、7月19日は、共用講義室2から共用講義室1に変更します。)	主題別選択Ⅰ(前半) (医学科・歯学科2年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	
4月12日	木	2			
4月19日	木	3			
4月26日	木	4			
5月10日	木	5			
5月17日	木	6			
5月24日	木	7			
5月31日	木	8			
6月7日	木	9			
6月14日	木	10			
6月21日	木	11			
6月28日	木	12			
7月5日	木	13			
7月12日	木	14			
7月19日	木	15			
9月6日	木		試験	試験	主題別選択Ⅰ(予備日)
9月13日	木				生命科学基礎(生物・予備日)
9月27日	木	1	生命科学基礎(化学) (医学科・歯学科2年生対象) (医学科講義室1 および共用講義室2)		
10月4日	木	2			
10月11日	木	3			
10月18日	木	4			
10月25日	木				
11月1日	木	5			
11月8日	木	6			
11月15日	木	7			
11月22日	木	8			
11月29日	木	9			
12月6日	木	10			
12月13日	木	11			
12月20日	木	12			
1月10日	木	13			
1月17日	木	14			
1月24日	木	15			
2月7日	木		試験	試験	
2月21日	木		試験	試験	試験

● 医学科・歯学科(3年生)

月日	曜日	回数	1時限(9:00~9:50)	2時限(10:05~10:55)	3時限(11:10~12:00)
4月5日	木	1		主題別選択Ⅱ(前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)	主題別人文社会科学セミナー (前期・前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)
4月12日	木	2			
4月19日	木	3			
4月26日	木	4			
5月10日	木	5			
5月17日	木	6			
5月24日	木	7			
5月31日	木	8			
6月7日	木	9			
6月14日	木	10			
6月21日	木	11			
6月28日	木	12			
7月5日	木	13			
7月12日	木	14			
7月19日	木	15			
9月6日	木		主題別人文社会科学セミナー(予備日)		主題別選択Ⅱ(予備日)
9月27日	木	1			主題別人文社会科学セミナー (後期・前半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員)(講義室:次ページ参照)
10月4日	木	2			
10月11日	木	3			
10月18日	木				
10月25日	木	4			
11月1日	木	5			
11月8日	木	6			
11月15日	木	7			
11月22日	木	8			
11月29日	木	9			
12月6日	木	10			
12月13日	木	11			
12月20日	木	12			
1月10日	木	13			
1月17日	木	14			
1月24日	木	15			
2月7日	木				主題別人文社会科学セミナー (後期・後半) (医学科・歯学科3年生対象) (教養部教員) (講義室:次ページ参照)

講義室一覧

(生命科学基礎)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	共用講義室2	M&Dタワー2階

(※)5月17日(木)、7月19日(木)は、共用講義室1に変更

(主題別選択Ⅰ・Ⅱ)

	講義室	場所
1	医学科講義室1	3号館2階
2	医学科講義室2	3号館3階
3	共用セミナー1	M&Dタワー24階
4	共用セミナー2	M&Dタワー23階
5	共用セミナー3	M&Dタワー23階
6	共用セミナー4	M&Dタワー22階
7	共用セミナー5	M&Dタワー15階
8	共用セミナー6	M&Dタワー15階
9	共用セミナー7	M&Dタワー14階
10	共用セミナー10	M&Dタワー8階
11	共用セミナー11	M&Dタワー6階
12	共用セミナー12	M&Dタワー6階
13	大学院講義室2	M&Dタワー13階
14	大学院講義室3	M&Dタワー11階
15	共用講義室2	M&Dタワー2階
16	演習室 4-11.12	3号館4階
17	演習室 5-1.2	3号館5階
18	演習室 5-3.4	3号館5階

(※)5月17日(木)、7月19日(木)は、共用講義室1に変更

(主題別人文社会科学セミナー・講義)

	講義室	場所
1	医学科講義室2	3号館3階
2	大学院講義室2	M&Dタワー13階
3	大学院講義室3	M&Dタワー11階
4	アクティブラーニングルーム	M&Dタワー4階
5	共用講義室2	M&Dタワー2階
6	第4ゼミナール室	7号館6階
7	共用セミナー6	M&Dタワー15階
8	共用セミナー7	M&Dタワー14階
9	共用セミナー10	M&Dタワー8階
10	共用セミナー11	M&Dタワー6階
11	共用セミナー12	M&Dタワー6階

(※)5月17日(木)、7月19日(木)は、共用講義室1に変更

教養教育

世界に通用する医療人になるためには、専門教育で獲得する知と技に加えて、様々な文化や多様な世界を理解できる教養と、他者を理解するための人間としての力が求められています。教養部では、そのためには、教養教育と、専門教育を学ぶための基礎教育を並行して行うことが必要だと考えています。

1年次には国府台キャンパスで、自然科学や人文社会科学の基本的な考え方を学ぶとともに基礎学力の充実を図りました。2年次と3年次には湯島キャンパスで、専門教育と密接にかかわる自然科学の分野を「生命科学基礎」として学びます。さらに、自然科学、人文社会科学、語学について複合的に学ぶことをとおして、自己問題提起・解決型の想像力を付けることを目的とした、「主題別選択Ⅰ・Ⅱ」と「主題別人文社会科学セミナー」の授業が行われます。

科目概要

1) 生命科学基礎（生物学・化学）

1年次の学習だけでは不十分であった生物学、化学の内容を補うとともに、生命科学に係するトピックも取り上げ、医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学ぶことで、基礎学力のさらなる充実を図り、専門教育への円滑につないでいくことを目的としています。

2) 主題別選択Ⅰ・Ⅱ

「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点の中から各自が1つの視点を選択し、その視点から「人間」を考えてみる授業です。3年次に行われる「主題別人文社会科学セミナー」へ向け、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけることを目的としています。

3) 主題別人文社会科学セミナー

各主題に別れて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導きます。自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分の考えを持つことが期待されています。

生命科学基礎

時間割番号	000501																																																																																		
科目名	生命科学基礎(化学A)																																																																																		
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子																																																																																		
開講時期	通年	対象年次	2																																																																																
<p>・曜日・時間:木曜1限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げることにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/27</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/4</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/11</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/18</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/1</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/8</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/15</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/22</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/29</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/6</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/13</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/10</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/17</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>1/24</td> <td>09:00-09:50</td> <td>医学科 講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/27	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子	2	10/4	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子	3	10/11	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子	4	10/18	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子	5	11/1	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子	6	11/8	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	7	11/15	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	8	11/22	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	9	11/29	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	10	12/6	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	11	12/13	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	12	12/20	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	13	1/10	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	14	1/17	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之	15	1/24	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/27	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子																																																																															
2	10/4	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子																																																																															
3	10/11	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子																																																																															
4	10/18	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子																																																																															
5	11/1	09:00-09:50	医学科 講義室1	澤野 頼子																																																																															
6	11/8	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
7	11/15	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
8	11/22	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
9	11/29	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
10	12/6	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
11	12/13	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
12	12/20	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
13	1/10	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
14	1/17	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
15	1/24	09:00-09:50	医学科 講義室1	奈良 雅之																																																																															
<p>授業方法 主に講義形式で授業を行いますが、適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1週から第10週は習熟度別で生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。 第11週から第15週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。</p>																																																																																			
<p>成績評価の方法 評価:試験 100%・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価:有 再試験</p>																																																																																			
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																																																			
<p>準備学習などについての具体的な指示 予習:授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習:授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。</p>																																																																																			
<p>試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席</p>																																																																																			

教科書

生体分子化学／秋久俊博, 長田洋子 編, 秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊幸, 宮澤三雄 著, : 共立出版, 2008

数学いらずの化学反応論 : 反応速度の基本概念を理解するために／齋藤勝裕 著, : 化学同人, 2009

参考書

マクマリー有機化学(下)／JOHN McMURRY 著, 伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表, : 東京化学同人, 2013

アトキンス生命科学のための物理化学／Peter Atkins, Julio de Paula 著, 稲葉章, 中川敦史 訳, : 東京化学同人, 2008

ライフサイエンス系の高分子化学 新版／宮下 徳治 (編著) : 三共出版, 2010

履修上の注意事項

生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000502																																																																																		
科目名	生命科学基礎(化学B)																																																																																		
担当教員	奈良 雅之, 澤野 頼子, 勝又 敏行																																																																																		
開講時期	通年	対象年次	2																																																																																
<p>・曜日・時間: 木曜1限 ・対象学科: 医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な化学の分野を補うとともに、生命科学に関係するトピックを取り上げるにより、専門教育の土台となる科学的な基礎体力を養います。医歯学の専門に関わる教育の基礎となる科学を総合的に学習することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的としています。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 生命科学の土台となる化学について、必要に応じて自学自習で理解を深めることができる。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/27</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10/4</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/11</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/18</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11/1</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/8</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/15</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/22</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/29</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/6</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/13</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/20</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1/10</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/17</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>1/24</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	9/27	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之	2	10/4	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之	3	10/11	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之	4	10/18	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之	5	11/1	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之	6	11/8	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子	7	11/15	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子	8	11/22	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子	9	11/29	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子	10	12/6	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子	11	12/13	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子	12	12/20	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子	13	1/10	09:00-09:50	共用講義室2	勝又 敏行	14	1/17	09:00-09:50	共用講義室2	勝又 敏行	15	1/24	09:00-09:50	共用講義室2	勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	9/27	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之																																																																															
2	10/4	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之																																																																															
3	10/11	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之																																																																															
4	10/18	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之																																																																															
5	11/1	09:00-09:50	共用講義室2	奈良 雅之																																																																															
6	11/8	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子																																																																															
7	11/15	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子																																																																															
8	11/22	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子																																																																															
9	11/29	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子																																																																															
10	12/6	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子																																																																															
11	12/13	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子																																																																															
12	12/20	09:00-09:50	共用講義室2	澤野 頼子																																																																															
13	1/10	09:00-09:50	共用講義室2	勝又 敏行																																																																															
14	1/17	09:00-09:50	共用講義室2	勝又 敏行																																																																															
15	1/24	09:00-09:50	共用講義室2	勝又 敏行																																																																															
<p>授業方法 主に講義形式で授業を行います。適宜、演習、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れます。</p>																																																																																			
<p>授業内容 第1週から第10週は習熟度別で生命科学に関係する生体高分子、反応速度論を学習します。 第11週から第15週は学科別で医学、歯学に関連した化学に関するトピックを学習します。</p>																																																																																			
<p>成績評価の方法 評価: 試験 100% ・レポート0% その他(授業中の回答状況等も考慮される。) 再評価: 有 再試験</p>																																																																																			
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																																																			
<p>準備学習などについての具体的な指示 予習: 授業で行う項目について教科書・参考書などをあらかじめ読んでおく。 復習: 授業で扱った項目について、教科書・参考書で確認し、演習問題などを通じて理解を深める。</p>																																																																																			
<p>試験の受験資格 定期試験(考査)・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席</p>																																																																																			
<p>教科書 生体分子化学/秋久俊博, 長田洋子 編, 秋久俊博, 長田洋子, 浅田泰男, 石塚盛雄, 小池一男, 神野英毅, 西尾俊</p>																																																																																			

幸, 宮澤三雄 著.: 共立出版, 2008

数学いらずの化学反応論 : 反応速度の基本概念を理解するために / 齋藤勝裕 著.: 化学同人, 2009

参考書

マクマリー有機化学(下) / JOHN McMURRY 著, 伊東[ショウ], 児玉三明 訳者代表.: 東京化学同人, 2013

アトキンス生命科学のための物理化学 / Peter Atkins, Julio de Paula 著, 稲葉章, 中川敦史 訳.: 東京化学同人, 2008

ライフサイエンス系の高分子化学 新版 / 宮下 徳治 (編著): 三共出版, 2010

履修上の注意事項

生命科学基礎の評価は、生物学、化学の総合評価で行う。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学について行う。試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。

連絡先

奈良 雅之:nara.las@tmd.ac.jp

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

勝又 敏行:katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

奈良 雅之:毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000505																																																																																		
科目名	生命科学基礎(生物A)																																																																																		
担当教員	伊藤 正則																																																																																		
開講時期	通年	対象年次	2																																																																																
<p>・曜日・時間:木曜1限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎 学力・思考力を身につける。</p>																																																																																			
<p>主な講義場所 3号館、医学科講義室1</p>																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスを取り上げるにより、専門教育の基礎となる部分を学習する。また、医歯学の専門と関わる教育の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。</p>																																																																																			
<p>授業の到達目標 1)医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2)生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。</p>																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/5</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>2</td><td>4/12</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>3</td><td>4/19</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>4</td><td>4/26</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>5</td><td>5/10</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>6</td><td>5/17</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>7</td><td>5/24</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>8</td><td>5/31</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>9</td><td>6/7</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>10</td><td>6/14</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>11</td><td>6/21</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>12</td><td>6/28</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>13</td><td>7/5</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>14</td><td>7/12</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> <tr><td>15</td><td>7/19</td><td>09:00-09:50</td><td>医学科講義室1</td><td>伊藤 正則</td></tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	2	4/12	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	3	4/19	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	4	4/26	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	5	5/10	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	6	5/17	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	7	5/24	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	8	5/31	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	9	6/7	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	10	6/14	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	11	6/21	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	12	6/28	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	13	7/5	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	14	7/12	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則	15	7/19	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																															
1	4/5	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
2	4/12	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
3	4/19	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
4	4/26	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
5	5/10	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
6	5/17	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
7	5/24	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
8	5/31	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
9	6/7	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
10	6/14	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
11	6/21	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
12	6/28	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
13	7/5	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
14	7/12	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
15	7/19	09:00-09:50	医学科講義室1	伊藤 正則																																																																															
<p>授業方法 基本的には講義形式による。毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。また、課題を出す。その課題に対する答えをレポートにまとめ提出する。数名の学生を指名し、指名された学生は板書などの方法を用いて答を導いた過程を含めて発表する。</p>																																																																																			
<p>授業内容 生命科学のトピックスを取り上げ、基本的な知識とその知識の発展性・応用性を説明する。</p>																																																																																			
<p>成績評価の方法 評価:試験による。生物学と化学の総合的評価による。前期の定期試験では生物学、後期の定期試験では化学の試験を行う。 試験のいずれか1つでも受験を放棄した場合、履修放棄とみなす。 再評価:有</p>																																																																																			

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 知識が体系的になるようにノートを整理する等の復習を行うこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものに試験の受験資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する。
参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, :裳華房, 2003 よくわかるゲノム医学 : ヒトゲノムの基本から個別化医療まで／服部成介, 水島-菅野純子 著, 菅野純夫 監修, :羊土社, 2016 必要に応じて紹介する。
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000506																																																																																																		
科目名	生命科学基礎(生物B)																																																																																																		
担当教員	服部 淳彦																																																																																																		
開講時期	通年	対象年次	2																																																																																																
<p>・曜日・時間:木曜1限 ・対象学科:医学科・歯学科 ・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																																																																			
<p>授業の目的、概要等 1年次の学習だけでは不十分な生物学の分野を補うとともに、生命科学のトピックスである『時間生物学・時間医療科学』を取り上げるにより、専門教育の基盤を学習する。また、医歯学の専門の基礎部分を総合的に理解することにより、専門教育へ円滑につないでいくことを目的とする。</p>																																																																																																			
<p>授業の到達目標 1) 医歯学専門教育の基礎生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。 2) 生命科学の基礎的な分野について必要に応じて自学自習を行い、理解を深めることができる。</p>																																																																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室1</td> <td>服部 淳彦</td> <td>共用講義室1に変更となります。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/7</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/14</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/21</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6/28</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/5</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/12</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室2</td> <td>服部 淳彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7/19</td> <td>09:00-09:50</td> <td>共用講義室1</td> <td>服部 淳彦</td> <td>共用講義室1に変更となります。</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	4/5	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		2	4/12	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		3	4/19	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		4	4/26	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		5	5/10	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		6	5/17	09:00-09:50	共用講義室1	服部 淳彦	共用講義室1に変更となります。	7	5/24	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		8	5/31	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		9	6/7	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		10	6/14	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		11	6/21	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		12	6/28	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		13	7/5	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		14	7/12	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦		15	7/19	09:00-09:50	共用講義室1	服部 淳彦	共用講義室1に変更となります。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																																																																														
1	4/5	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
2	4/12	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
3	4/19	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
4	4/26	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
5	5/10	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
6	5/17	09:00-09:50	共用講義室1	服部 淳彦	共用講義室1に変更となります。																																																																																														
7	5/24	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
8	5/31	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
9	6/7	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
10	6/14	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
11	6/21	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
12	6/28	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
13	7/5	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
14	7/12	09:00-09:50	共用講義室2	服部 淳彦																																																																																															
15	7/19	09:00-09:50	共用講義室1	服部 淳彦	共用講義室1に変更となります。																																																																																														
<p>授業方法 講義と一部演習形式による。</p>																																																																																																			
<p>授業内容 生命科学の中でも『時間生物学・時間医療科学』のトピックスを中心に、生命現象の背後にある『時間』という概念の基本的な知識とその発展・応用例を取り上げる。</p>																																																																																																			
<p>成績評価の方法 評価:生命現象について総合的に理解するための基礎学力をつけるために 試験 90% 授業における参加度 10% 生物学と化学の各試験の成績を元に総合評価を行う。前期は生物学の試験、後期は化学の試験を行う。試験のいずれか1つでも受験しなかった場合は履修放棄とみなす。 再評価:有(再試験の成績は60点を上限とする)</p>																																																																																																			
<p>成績評価の基準</p>																																																																																																			

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 講義の内容と関連のある書物を読むこと。
教科書 適宜関連するプリントを配布する。
参考書 時間生物学の基礎／富岡憲治, 沼田英治, 井上慎一 共著, :裳華房, 2003
連絡先 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

主題別教育(医学科・歯学科)について

【目的】

人間とは何か。これまで、偉大な先人達が、「人間」の解明にあらゆる観点からいどみ、説明を試みてきました。それらは、「知」として蓄積され、私たちをさらなる思索へと導いてくれます。

あらゆる学問は、この人間について思索をめぐらせ、理論化しようとするところから始まったといってもよいでしょう。人間とは甚だ不可思議な、得体の知れない存在です。私たちは、このよく分からない人間として、よく分からない人間が構築する世界で、よく分からない人間と一緒に生きていかねばなりません。人間をめぐる思索は、自分自身の姿、あるいは自分たちが生きる世界の構造を明らかにしようとする営みにほかならず、人間として生きていく上での必然的行為であり、人間の宿命であるともいえます。

主題別教育は、この「人間」という存在について、人間を生物的社会的存在たらしめている要素である「文化」「生命」「言語」「制度」「時間」という5つの視点から考えてみようという取り組みです。

ゴールは、3年次に行う「主題別人文社会科学セミナー」です。このセミナーでは、各主題に分かれて、担当者の指導のもと、自ら問題を設定し、調査・考察・討論を経て、一定の結論を導出します。1年次および2年次には、その準備として、視野を広げ、基礎的な知識や考え方を身につけます。

セミナー修了時には、みなさんは、自分が選択した主題の観点を中心に、「人間」という存在について、自分なりの考えを持つことになるでしょう。もちろん、それは「絶対的な正解」ではありません。しかし、各自が、3年間かけてたどりついた一つの「結論」です。

そして、この「結論」は、さらなる「新たな問い」を生みだし、「思索」を促し、「新たな結論」へとみなさんを導くでしょう。この、「問い」から「結論」へ、そして「新たな問い」へという、とどまるどころを知らない学問のダイナミズムを体験すること、そして、自ら思索する力強さを身につけること、これが主題別教育の目的です。

ここでの取り組みは、将来、「人間」そのものを対象とすることになる医学・歯学系の皆さんを支える、大きな力となるはずです。

【5つの主題】

文化と人間 生命と人間 言語と人間 制度と人間 時間と人間

各主題の目的は次の通りです。

文化と人間	文化とは、人間が創造し習得する精神的な価値の総体である。また、文化とは象徴的記号の体系である。そのような文化を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
生命と人間	人間を含むあらゆる生物には生命が宿っている。医療はその生命と常に向き合わなければならない。その生命の多様な現象と、それに対する人間の様々な認識のありようを理解することが目的である。
言語と人間	人間と動物とを区別する最大の要素は言語の使用にある。人間は言語によって、自らの世界を構築してきた。その言語に関する様々な事象を理解することによって、人間の本質を捉えようとするのが目的である。
制度と人間	社会的生物である人間は、様々な制度に取り巻かれて生きている。その制度を相対的に理解することと、制度の構造を分析することによって、人間のありようを理解することが目的である。
時間と人間	人間は時間的存在であり、時間的拘束のもとに生きている。時間を相対的に理解し、その構造を明らかにすることによって、人間存在の本質を理解することが目的である。

上の5つの主題の中から、1つ選択します。各主題とも、定員は約30名です。

3年次の「主題別人文社会科学セミナー」は、この主題に分かれて開講されます。各セミナーは、1年次の人文社会科学科目の「主題に関連の深い科目」の担当者が担当する予定です（この1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」については、次の【各学年の履修について】で説明します）。

どの主題に進むかを決定する時期は、2年進級時です。1年生の2月に「希望調査」を取り、希望を考慮しながら、各主題とも約30名になるように振り分けます。

1年生の間に、色々な科目を履修しながら、自分がどの主題を選択するかを考えておいて下さい。

【各学年の履修について】

1年生：基盤の形成

必修科目・選択科目・共通領域セミナー科目などで、さまざまな分野の科目が開講されています。それらに取り組むことにより、それぞれの学問分野における基礎的な知識や、科学的な思考方法を身につけます。

同時に、人間に関する根源的な問いに対して、これまで人間自身がどのようにアプローチし、どのように理論化してきたのかということ学びます。そして、「問いの継続と発展」という学問のありようを理解します。

1年生は、このように3年生のセミナーに向けて基礎体力を養いながら、自分がどの主題に進むかを考える期間です。

特に、人文社会科学科目には、「主題に関連の深い科目」は設けられています（下表）。自分が進むかもしれないと思う主題については、その「主題に関連の深い科目」の中にある科目を、積極的に履修しておくことをお勧めします。

主題に関連の深い科目は次の通りです。各授業の内容については、それぞれのシラバスを参照して下さい。

主題	関連の深い科目
文化と人間	文化人類学、歴史学、社会学
生命と人間	哲学、倫理学、宗教学
言語と人間	文学、哲学、文化人類学
時間と人間	歴史学、社会思想史、社会学
制度と人間	政治学、法学、社会科学特論

2・3年生前期：主題別選択科目—視点の拡充—

2・3年生では、前期の木曜日午前中に、「主題別選択科目」が開講されます。

「主題別選択科目」とは、主題について考察できる、様々な学問分野にまたがった複合的な内容の選択科目です。各科目とも、50分間の授業が7回行われます。2年生と3年生が合同で受講します。具体的には、各主題において、下表のような科目が開講されます。開講科目は、若干の変更の可能性があります。2年前期の前半8回、前期の後半7回、3年前期の前半8回、前期の後半7回にそれぞれ1科目ずつ履修します。自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から2科目以上を履修することが必要です。ただし、2年前期の前半・後半はいずれも、自分が選択した主題の「主題別選択科目」の中から履修しなければなりません。また、同一教員の科目を2回以上選択することはできません。前半8回と後半7回、合計2科目を履修して、1単位取得となります。

(例) 「言語と人間」を選択した学生

→ 2年前期の前半8回「フランス文学を読む」履修

〃 後半7回「人体・医療の物理」履修

(この2科目で1単位取得)

主題	主題別選択科目 (30年度開講)	
	2年の前期前半8回 (50分×8回)	2年の前期後半7回 (50分×7回)
文化と人間	いのちと医療の歴史学 (田中) スポーツと心 (水野) フランス文学を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 医歯系のための物理 (檜枝) 物理数学演習 (越野) 科学と疑似科学の境界 (奈良) 食品の科学 (澤野) Crazy Little Thing Called Love: Explorations in Literature and Science (チャンネル)	いのちと医療の倫理学 (田中) スポーツと健康 (水野) フランス詩を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 情報と人間 (中口) タンパク質科学の光と影 (奈良) 民主主義を再考する (藤井)
生命と人間	スポーツと心 (水野) 医歯系のための物理 (檜枝) 物理数学演習 (越野) 食品の科学 (澤野) 生物の中の糖 (勝又) 宇宙と生命 (服部) 生物間のコミュニケーション (伊藤) 医療の社会学 (藤井) ヒトの脳と言語 (時本) 学習・記憶と言語 (岩下)	スポーツと健康 (水野) 人体・医療の物理 (檜枝) タンパク質科学の光と影 (奈良) 植物の科学 (澤野) 老化と寿命 (服部) 環境への適応 (伊藤) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) 学習・記憶と老化 (岩下)
言語と人間	ディアスポラ (離散社会) の言語と文 学 (高尾) フランス文学を読む (中島) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 音声と音楽の数理 (中口) 生物間のコミュニケーション (伊藤) ヒトの脳と言語 (時本) 学習・記憶と言語 (岩下)	ディアスポラの文化 (高尾) フランス詩を読む (中島) ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 情報と人間 (中口) 人体・医療の物理 (檜枝) 微分方程式演習 (越野) 民主主義を再考する (藤井) 英語で学ぶヒトの脳と言語 (時本) Understanding Language and Society (チャンネル)
制度と人間	いのちと医療の歴史学 (田中) ドイツとヨーロッパの社会 (シンチ) 科学と疑似科学の境界 (奈良) 医療の社会学 (藤井) 音声と音楽の数理 (中口)	ドイツとヨーロッパの現在 (シンチ) 情報と人間 (中口) 人体・医療の物理 (檜枝) 微分方程式演習 (越野) 危険物の科学 (勝又) 民主主義を再考する (藤井)

時間と人間	語り（ナラティヴ）の構造（土佐） フランス文学を読む（中島） ドイツとヨーロッパの社会（シンチ） 音声と音楽の数理（中口） 医歯系のための物理（檜枝） 食品の科学（澤野） 宇宙と生命（服部） 医療の社会学（藤井）	語り（ナラティヴ）と時間（土佐） いのちと医療の倫理学（田中） フランス詩を読む（中島） ドイツとヨーロッパの現在（シンチ） 微分方程式演習（越野） タンパク質科学の光と影（奈良） 植物の科学（澤野） 老化と寿命（服部） 環境への適応（伊藤） 民主主義を再考する（藤井） 学習・記憶と老化（岩下）
-------	---	--

また、3年次に行われる主題別人文社会科学セミナーの担当者から、2年生の間にやっておくべき課題が提示される場合があります。2年生は、「主題別選択科目」を受講し、同時にその課題に取り組みながら、主題に関する視点の拡充をめざします。

3年次：主題別人文社会科学セミナー—思考の深化—

3年生では、主題ごとに、セミナーを受講します。

各主題の学生30人を、10人ずつのグループA・B・Cに分けます。セミナーは、このグループごとに、7回ずつ行われます。セミナーを担当する教員は、1年次人文社会科学の「主題に関連の深い科目」担当教員の予定です。

セミナーと平行して、「医療と法」および「医療と社会」という二つの講義科目が7回ずつ開講されます。グループごとに「セミナー」「医療と法」「医療と社会」を7回ずつ受講します。そして、学年の最後に開講される「総括セミナー」において、主題に関する自らの取り組みをレポートにまとめます。「総括セミナー」は、主題ごとに30人全員が参加し、討論を経てレポート執筆に取り組みます。

グループ (各10人)	前 期		後 期	
	前半7回	後半7回	前半7回	後半7回
グループA	セミナー	医療と社会	医療と法	総括セミナー (セミナー論文執筆)
グループB	医療と法	セミナー	医療と社会	
グループC	医療と社会	医療と法	セミナー	

1年生において基礎力を身に付け、自ら問いを見出す意識を養い、2年生「主題別選択科目」において視野を広げてきました。3年生「主題別人文社会科学セミナー」では、それらを前提にして、問題を設定し結論の導出を目指します。

問題設定は、自らの興味や関心にもとづいて、担当教員のアドバイスを受けながら、学生それぞれが設定します。その問題について、調査や考察を行い、またその結果を他の受講生と共有して、問題点を指摘しあいながら結論を導き出すのが「セミナー」です。そし

て、これらを集大成するのが、「総括セミナー（セミナー論文執筆）」です。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」、ここがこの主題別教育のゴール地点となります。

「総括セミナー（セミナー論文執筆）」までの予定

4月5日（木）：各主題でオリエンテーション。

担当者より、セミナー計画・日程・セミナー論文の問題設定の仕方などについて説明。

4月12日（木）～11月15日（木）：セミナーと講義

11月22日（木）～平成31年1月24日（木）：総括セミナー

1月31日（木）：提出締切（予定）

【今後の予定】

2年生 4月～9月 「主題別選択Ⅰ」受講

3年生 4月～9月 「主題別選択Ⅱ」受講

4月～3月 「主題別人文社会科学セミナー」受講

【成績・評価について】

主題別選択Ⅰ・Ⅱ 前半と後半をあわせてそれぞれ1単位。

原則としてレポート（80点）、授業への参加度（20点）で評価。

（筆記試験で評価する場合に、その旨を周知する。）

ただし、レポートの代替として、授業の最終日に試験を実施することがある。

主題別人文社会科学セミナーと講義 あわせて2単位

原則として講義における試験と総括セミナーにおけるセミナー論文（80点）、参加度（20点）で評価。

主題別選択 I ・ II

時間割番号	000601																																																																	
科目名	主題別選択Ⅰ（語り(ナラティブ)の構造)																																																																	
担当教員	土佐 朋子																																																																	
開講時期	前期	対象年次	2																																																															
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。</p> <p>本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。</p> <p>古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。</p>																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。</p> <p>②3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>ガイダンス</td> <td>講義開始にあたり、問題設定を行う。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>「私」は作者？</td> <td>一人称語りの特殊性を考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>「私」は誰？</td> <td>推理小説の叙述トリックを考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>夏目漱石『こころ』、二人の「私」</td> <td>名前を明かされない二人の「私」が登場する夏目漱石『こころ』について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>森鷗外『舞姫』、「私」の「嘘」</td> <td>「私」の語りを信じ込みすぎたはいないだろうか。森鷗外『舞姫』を通して「私」の語りの信憑性を考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>芥川龍之介『藪の中』、犯人は誰？</td> <td>自分が犯人だと主張する3人の「私」の語りを考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>日記文学の「私」</td> <td>平安朝における日記文学の語り手について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>「私」語りの不思議</td> <td>「私」という語り手の機能について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室2	ガイダンス	講義開始にあたり、問題設定を行う。	土佐 朋子	2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は作者？	一人称語りの特殊性を考察する。	土佐 朋子	3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は誰？	推理小説の叙述トリックを考察する。	土佐 朋子	4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室2	夏目漱石『こころ』、二人の「私」	名前を明かされない二人の「私」が登場する夏目漱石『こころ』について考察する。	土佐 朋子	5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室2	森鷗外『舞姫』、「私」の「嘘」	「私」の語りを信じ込みすぎたはいないだろうか。森鷗外『舞姫』を通して「私」の語りの信憑性を考察する。	土佐 朋子	6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室2	芥川龍之介『藪の中』、犯人は誰？	自分が犯人だと主張する3人の「私」の語りを考察する。	土佐 朋子	7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室2	日記文学の「私」	平安朝における日記文学の語り手について考察する。	土佐 朋子	8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」語りの不思議	「私」という語り手の機能について考察する。	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室2	ガイダンス	講義開始にあたり、問題設定を行う。	土佐 朋子																																																												
2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は作者？	一人称語りの特殊性を考察する。	土佐 朋子																																																												
3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は誰？	推理小説の叙述トリックを考察する。	土佐 朋子																																																												
4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室2	夏目漱石『こころ』、二人の「私」	名前を明かされない二人の「私」が登場する夏目漱石『こころ』について考察する。	土佐 朋子																																																												
5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室2	森鷗外『舞姫』、「私」の「嘘」	「私」の語りを信じ込みすぎたはいないだろうか。森鷗外『舞姫』を通して「私」の語りの信憑性を考察する。	土佐 朋子																																																												
6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室2	芥川龍之介『藪の中』、犯人は誰？	自分が犯人だと主張する3人の「私」の語りを考察する。	土佐 朋子																																																												
7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室2	日記文学の「私」	平安朝における日記文学の語り手について考察する。	土佐 朋子																																																												
8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」語りの不思議	「私」という語り手の機能について考察する。	土佐 朋子																																																												
<p>授業方法</p> <p>原則として、講義を行い、授業の最後に「学生による授業後小レポート」として、その日の講義を受けて考えたことを書いて提出する形式とする。</p> <p>講義の途中で、できるだけ学生の意見を聞く機会を設ける。</p>																																																																		
<p>授業内容</p> <p>語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之</p>																																																																		

<p>介『藪の中』などを予定している。 授業日程に記載した内容は、受講生の興味関心に即して変更する場合がある。</p>
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20% (授業への参加度・授業中の小レポート等) 再評価:有</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。</p>
<p>試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。</p>
<p>教科書 プリントを使用する。</p>
<p>参考書 『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著：中央公論新社，1979 『時間と自我』／大森荘蔵：青土社，1992 『ナラティブ・メディスン：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著]，斎藤清二，岸本寛史，宮田靖志，山本和利 訳：医学書院，2011 『ナラティブ・ベイスト・メディスン：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集，ブライアン・ハーウィッツ 編集，斎藤 清二 監訳，山本 和利 監訳，岸本 寛史 監訳：金剛出版 『臨床とことば』／河合隼雄，鷺田清一 著：朝日新聞出版，2010 『ナラティブと医療』／江口重幸，斎藤清二，野村直樹 編：金剛出版，2006 『ほんとうの構造主義：言語・権力・主体』／出口顯 著：NHK 出版，2013 物と心／大森荘蔵 著：筑摩書房，2015</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>連絡先 土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30 管理研究棟 2 階文学研究室</p>

時間割番号	000602																																												
科目名	主題別選択 I (いのちと医療の歴史学)																																												
担当教員	田中 智彦																																												
開講時期	前期	対象年次	2																																										
<p>◇ 曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>◇ 対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちの「ものの見方」は、私たちが思っている以上に、私たちの言語・文化・歴史に影響され、制約されています。「いのち」や「医学・医療」についても例外ではありません。それどころか、この二つのうちにこそ私たち現代人の「ものの見方」が典型的に映し出されている、と言っても過言ではないほどです。しかし他方で、そうした「ものの見方」はふだん「当たり前」のこととして通用しているのです。そこからは何がどのように見えているのか、そしてまた見えていないのかは、なかなか問われることがありません。</p> <p>あらためてそのような問いを立て、それを歴史の観点から考察してゆくのがこの授業です。他の人びとは別にしても、「医学・医療」を志し、「いのち」に関わることを一生の仕事にしようとするのなら、せめて一度なりともそのような問いに取り組んでみる必要があるでしょう。この授業ではそうした機会を提供するべく、「授業詳細日程」に記すような論点について検討してゆきます。</p>																																													
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 上記の試みをつうじて、近代以降の「いのち」へのまなざしの変遷とその問題点とについて理解を深めること。</p> <p>(2) それとともに、近代以降の医学・医療の展開における問題点をも省みることのできる視点を得ること。</p>																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>医師の「誕生」</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>医学と近代国家(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>医学と近代国家(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「優れた生」の思想と実践(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「優れた生」の思想と実践(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「優れた生」の思想と実践(3)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医師の「誕生」	田中 智彦	2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(1)	田中 智彦	3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(2)	田中 智彦	4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(1)	田中 智彦	5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(2)	田中 智彦	6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(3)	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																								
1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医師の「誕生」	田中 智彦																																								
2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(1)	田中 智彦																																								
3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(2)	田中 智彦																																								
4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(1)	田中 智彦																																								
5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(2)	田中 智彦																																								
6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(3)	田中 智彦																																								

			習室 5-3, 医学 科演習室 5-4	践(3)	
7	5/24	10:05-10:55	医学科演 習室 5-3, 医学 科演習室 5-4	「いのち」の歴史と日本	田中 智彦
8	5/31	10:05-10:55	医学科演 習室 5-3, 医学 科演習室 5-4	過去と未来の間で	田中 智彦
授業方法					
授業はセミナー形式で行う予定です。 教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。					
授業内容					
「授業詳細日程」にある通り					
成績評価の方法					
この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします。					
◇評価: レポート 80%					
その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など)					
◇再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。					
試験の受験資格					
◇ レポートの提出資格: 原則として 7 回中 5 回以上の出席					
教科書					
教科書はありません。毎回レジュメを配布します。					
参考書					
参考書等は授業の中で随時紹介します。					
履修上の注意事項					
出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。					
連絡先					
田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
田中 智彦: 毎週金曜日 12:30~13:30 管理研究棟 2 階 哲学研究室					

時間割番号	000633																																															
科目名	主題別選択Ⅰ(ディアスポラ(離散社会)の言語と文学)																																															
担当教員	高尾 千津子																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医・歯学科 受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数:20人</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 ディアスポラとは本国を持たない、あるいは本国から遠く離れた離散社会を意味する。ユーラシアの西の「半島」であるヨーロッパには、様々な独自の言語を持つ民族的、宗教的マイノリティが存在した。しばしば変わる国境線、人口の移動は、さらに新たなディアスポラを生み、それは社会の緊張要因ともなったが、同時に多様な社会と文化、文学を生み出した。授業では、ヨーロッパの少数派言語と多言語社会の歴史と現状を紹介し、こうしたディアスポラの言語のもつ意味を考える。</p>																																																
<p>授業の到達目標 人類と言語の多様性が持つ意味を考える。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
<p>授業方法 講義形式</p>																																																
<p>授業内容 1ディアスポラの言語 2ヨーロッパと多言語主義 3少数言語と「言語戦争」 4「ジャルゴン」蔑まれた言語 5「死語」を復活させる</p>																																																

<p>6共通言語の試み 7 에스ぺ란토語を学ぶ</p>
<p>成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価： 有(再評価方法)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。</p>
<p>教科書 授業でプリントを配布する。</p>
<p>参考書 田中克彦『エスペ란ト—異端の言語』岩波新書、2007年。 ショーレム・アレイヘム、西成彦訳『牛乳屋テヴィエ』岩波文庫。 ロバート・セントジョン、島野信宏訳『ヘブライ語の父ベン・イエフダー』ミルトス、2000年。 西成彦『イディッシュ 移動文学論』作品社、1995年。</p>
<p>履修上の注意事項 3分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。</p>

時間割番号	000603																																															
科目名	主題別選択Ⅰ(スポーツと心)																																															
担当教員	水野 哲也																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
<p>曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 2年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1-7)人間の心への理解を深める 別表1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 本授業では、競技スポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考えます。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えます。</p>																																																
<p>授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか?を実践的に学ぶことである。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
<p>授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。</p>																																																
<p>授業内容 「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマンス」などを取り上げる予定ですが、受講者の発表を優先し、共に考え、意見交換することを重視します。</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価:出席 30%、各授業時の参加度 20%、レポート 50% 再評価: 有</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体的、能動的な取り組みによって、主題(自ら選択したテーマ)について</p>																																																

<p>考える積極的な態度や姿勢が求められます。よって、発表の内容をしっかりと準備してください。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。</p>
<p>参考書</p> <p>最新スポーツ心理学：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編:大修館書店, 2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著,ジェフリー・ミグドゥ 著,小林 信也 訳:TBSブクタニカ ピークパフォーマンス／チャールズ・A・ガーフィールドほか:ベースボール・マガジン社, 1988</p>
<p>他科目との関連</p> <p>1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。</p>
<p>連絡先</p> <p>水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ~ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室</p>

時間割番号	000604					
科目名	主題別選択Ⅰ(フランス文学を読む)					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2			
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6)優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7)人間の心への理解を深める</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>16世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと考えています。</p>						
授業の到達目標						
<p>1)フランス文学のニュアンス・表現を味わう。</p> <p>2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。</p> <p>3)文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	イントロダクション パ スカル モンテーニュ	フランス文学概観 モラリスト文 学	中島 ひかる
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	モリエール・ラシーヌ	フランス古典劇	中島 ひかる
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	ラクロ	書簡体文学	中島 ひかる
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	ルソー	自伝文学	中島 ひかる
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	スタンダール パルザ ック	心理分析 社会の描写 19世紀 と小説	中島 ひかる
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	プルースト	語り 時間	中島 ひかる
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	カミュ バルト	現代文学・批評	中島 ひかる
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	まとめ	意見交換	中島 ひかる
授業方法						
<p>講義と意見交換による。</p> <p>毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。あらかじめ、作品に目を通して頂いた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。それを聞いた後、各自の感想を述べて頂き受講者の中で意見交換を行います。</p>						
授業内容						
<p>8回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。</p> <p>1)パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学)</p>						

<p>2) モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇)</p> <p>3) ラクロ(書簡体文学)</p> <p>4) ルソー(自伝文学)</p> <p>5) スタンダール、バルザック(19世紀の社会と小説)</p> <p>6) プルースト(時間の表現)</p> <p>7) カミュ(現代文学)</p> <p>8) バルト(現代批評)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度)</p> <p>再評価: 有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)</p> <p>フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。授業中に発言を求めますので、それについても20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析したレポートを高く評価します。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>プリントを配付する</p>
<p>参考書</p> <p>危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／プルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>
<p>連絡先</p> <p>中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室</p>

時間割番号	000605																																																		
科目名	主題別選択Ⅰ(ドイツとヨーロッパの社会)																																																		
担当教員	シンチンガー エミ																																																		
開講時期	前期	対象年次	2																																																
<p>・前期前半</p> <p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること</p> <p>・募集人数:3年生とあわせて20人</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>別表1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p> <p>別表3-5)国際情勢を理解する</p>																																																			
<p>主な講義場所</p> <p>湯島キャンパス</p> <p>3号棟4階演習室4-11, 12</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません!</p> <p>ドイツ政府やEUのホームページも見えていきます。時間があれば、DVDも見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。</p>																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府とEUについても学び、「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。</p>																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>休講</td> <td>休講</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>休講</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会1</td> <td>オリエンテーション:ドイツとヨーロッパに関するクイズを行ってから教科書の第1課を読んで訳してみる。今後使うプリントを配り、今後の進め方について話し合う。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>生協にて教科書を購入して持ってくること:「ドイツとドイツ語を話す国々」朝日出版社:次回に向けて:第2課を予習してこよう。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会2</td> <td>教科書の第2課を読んで訳していく。時間があればドイツ政府のホームページも見えて原文を読んで訳していく。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>次回に向けて:教科書第3課を予習しておく。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会3</td> <td>教科書の第3課を読んで訳していく。時間があればEUのホームページも見えて、原文を読んで訳していく。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>次回に向けて:教科書第4課の前半(9~10ページ)を予習しておく。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会4</td> <td>教科書第4課の前半を読んで訳していく。その後ドイツ再統一がど</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>次回に向けて:教科書第4課の続</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	休講	休講	シンチンガー エミ	休講	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会1	オリエンテーション:ドイツとヨーロッパに関するクイズを行ってから教科書の第1課を読んで訳してみる。今後使うプリントを配り、今後の進め方について話し合う。	シンチンガー エミ	生協にて教科書を購入して持ってくること:「ドイツとドイツ語を話す国々」朝日出版社:次回に向けて:第2課を予習してこよう。	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会2	教科書の第2課を読んで訳していく。時間があればドイツ政府のホームページも見えて原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第3課を予習しておく。	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会3	教科書の第3課を読んで訳していく。時間があればEUのホームページも見えて、原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第4課の前半(9~10ページ)を予習しておく。	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会4	教科書第4課の前半を読んで訳していく。その後ドイツ再統一がど	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第4課の続
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	休講	休講	シンチンガー エミ	休講																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会1	オリエンテーション:ドイツとヨーロッパに関するクイズを行ってから教科書の第1課を読んで訳してみる。今後使うプリントを配り、今後の進め方について話し合う。	シンチンガー エミ	生協にて教科書を購入して持ってくること:「ドイツとドイツ語を話す国々」朝日出版社:次回に向けて:第2課を予習してこよう。																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会2	教科書の第2課を読んで訳していく。時間があればドイツ政府のホームページも見えて原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第3課を予習しておく。																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会3	教科書の第3課を読んで訳していく。時間があればEUのホームページも見えて、原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第4課の前半(9~10ページ)を予習しておく。																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会4	教科書第4課の前半を読んで訳していく。その後ドイツ再統一がど	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第4課の続																																												

					のように始まったのかについてのドキュメンタリーのDVDを見始める。		き(10~11 ページ)を予習しておく。
6	5/17	10:05-10:55	共用セミナー室1	ドイツとヨーロッパの社会5	教科書第4課の続きを読んで訳していく。ドキュメンタリーのDVDの続きも見ていく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第4課を最後まで(12~13 ページ)予習しておく。
7	5/24	10:05-10:55	共用セミナー室1	ドイツとヨーロッパの社会6	教科書第4課を最後まで読んで訳していく。ドイツ再統一についてのドキュメンタリーのDVDも続きを見る。	シンチンガー エミ	次回に向けて:試験勉強:初回のドイツクイズを見直しておく。教科書で読んだところ、ドイツ政府とEUのホームページのプリントで読んだところをしっかりと復習しておく。
8	5/31	10:05-10:55	共用セミナー室1	ドイツとヨーロッパの社会7	試験	シンチンガー エミ	遅刻、欠席をしないこと。

授業方法

セミナー形式: 毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。

授業内容

初回:オリエンテーション、第1課(1ページ)

第2回~第3回:第2課と第3課(3ページと6ページ)

第4回~第6回:第4課(9~13ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVDも使用する予定。

第7回:理解の度合いを調べるため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。

試験が50パーセント。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時に使った文法と会話の両方の教科書をしっかりと復習しておいてください。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座など活用してみてください。

・授業時間が短いので、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

ドイツとドイツ語を話す国ぐに/Heinz Griesbach [著],松本嘉久 編:朝日出版社,1994

教科書以外にも様々なプリントなどの教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル,山本明,南原実 編:三修社,2008

アポロン独和辞典/根本道也,恒吉良隆,吉中幸平,成田克史,福元圭太,重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広,新保弼彬,本田義昭,鈴木敦典 編集執筆:同学社,2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれ

ば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

4月5日は休講となりますので、第1回目は4月12日となります。注意してください。 毎回出欠を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってきてください。毎回指定された範囲の予習をしてくること。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000607																																															
科目名	主題別選択Ⅰ(音声と音楽の数理)																																															
担当教員	中口 悦史																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1), 2-1), 2-3), 4-4)																																																
授業の目的、概要等 音は空気等の振動・波動という物理現象であるが、そこに人間にとって意味のある情報が含まれることで、人間のコミュニケーションが成立し文化が営まれる。人体から発せられる音声に言葉が載せられることによって、人間の会話が生まれる。また音楽は、音が規則的かつ調和的に構成されたものである。それらの数学的構造や数理モデルについて考察する。																																																
授業の到達目標 音の発生・伝播・記録と音声通信・会話の物理的・生理的原理を理解する。 音楽のもつ数学的構造を知る。																																																
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室1</td> <td>中口 悦史</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史	2	4/12	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史	3	4/19	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史	4	4/26	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史	5	5/10	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史	6	5/17	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史	7	5/24	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史	8	5/31	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
2	4/12	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
3	4/19	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
4	4/26	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
5	5/10	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
6	5/17	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
7	5/24	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
8	5/31	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史																																												
授業方法 講義と議論を交えながら授業を進める。																																																
授業内容 音・音声・音楽を物理的・生理的・数学的などさまざまな側面から学習する。 授業計画 (1) 音と人間の関わり (2) 音の発生・伝播・検知 (3) 人間の発声と聴音 (4) 音声信号の数学解析 (5) 音声信号のデジタル化 (6) 音楽の楽典の数理 (7) モデルとしての楽譜 (8) まとめ																																																
成績評価の方法 評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20% 再評価：有 レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。																																																

「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。
参考書 振動・波動／小形正男 著、裳華房、1999 音律と音階の科学：ドレミ…はどのようにして生まれたか／小方厚 著、講談社、2007 音のなんでも小事典：脳が音を聴くしくみから超音波顕微鏡まで／日本音響学会 編、講談社、1996 音楽の基礎／芥川也寸志 著、岩波書店 和声の歴史／オリヴィエ・アラン 著、永富正之 共訳、二宮正之 共訳、白水社、1987 音楽と言語／T.G.ゲオルギアース 著、木村敏 訳、講談社、1994 歌声の科学／ヨハン・スンドベリ 著、榎原健一 監訳、伊藤みか、小西知子、林良子 訳、東京電機大学出版局、2007 音響工学／城戸健一、コロナ社、1982 音楽入門：音楽鑑賞の立場／伊福部昭 著、全音楽譜出版社、2003
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。
連絡先 中口 悦史 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史 月・水 12:00～13:00、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000635																																																																	
科目名	主題別選択 I (医歯系のための物理)																																																																	
担当教員	檜枝 光憲																																																																	
開講時期	前期	対象年次	2																																																															
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。</p>																																																																		
<p>授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第1回</td> <td>力学</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第2回</td> <td>流体</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第3回</td> <td>熱</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第4回</td> <td>音</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第5回</td> <td>光</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第6回</td> <td>磁気</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第7回</td> <td>放射線</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第8回</td> <td>まとめ</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学	檜枝 光憲	2	4/12	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体	檜枝 光憲	3	4/19	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱	檜枝 光憲	4	4/26	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音	檜枝 光憲	5	5/10	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光	檜枝 光憲	6	5/17	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気	檜枝 光憲	7	5/24	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線	檜枝 光憲	8	5/31	10:05-10:55	医学科講義室 2	第8回	まとめ	檜枝 光憲
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/5	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学	檜枝 光憲																																																												
2	4/12	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体	檜枝 光憲																																																												
3	4/19	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱	檜枝 光憲																																																												
4	4/26	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音	檜枝 光憲																																																												
5	5/10	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光	檜枝 光憲																																																												
6	5/17	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気	檜枝 光憲																																																												
7	5/24	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線	檜枝 光憲																																																												
8	5/31	10:05-10:55	医学科講義室 2	第8回	まとめ	檜枝 光憲																																																												
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																																		
<p>授業内容 1. 医歯系のための物理 1: 力学 2. 医歯系のための物理 2: 流体 3. 医歯系のための物理 3: 熱 4. 医歯系のための物理 4: 音 5. 医歯系のための物理 5: 光 6. 医歯系のための物理 6: 磁気 7. 医歯系のための物理 7: 放射線 8. まとめ</p>																																																																		
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無</p>																																																																		
<p>成績評価の基準</p>																																																																		

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力: 共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ : 超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,:東京教学社, 2013
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。
連絡先 檜枝 光憲,hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝 光憲,毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000609																																																										
科目名	主題別選択Ⅰ(物理数学演習)																																																										
担当教員	越野 和樹																																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																																								
<p>・曜日・時間:時間割を参照のこと</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表2-1) 別表4-2)</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第1回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第2回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第3回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第4回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第5回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第6回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-</td> <td>第7回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第1回	物理数学演習	越野 和樹	2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第2回	物理数学演習	越野 和樹	3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第3回	力学演習	越野 和樹	4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第4回	力学演習	越野 和樹	5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第5回	力学演習	越野 和樹	6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹	7	5/24	10:05-10:55	医学科演習室4-	第7回	電磁気学演習	越野 和樹
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第1回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第2回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第3回	力学演習	越野 和樹																																																					
4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第4回	力学演習	越野 和樹																																																					
5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第5回	力学演習	越野 和樹																																																					
6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					
7	5/24	10:05-10:55	医学科演習室4-	第7回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					

			11, 医学科演習室 4-12				
8	5/31	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	第8回	電磁気学演習	越野 和樹	
授業方法 各講義の前半に基礎知識の確認を行い, 後半を試験とする。							
授業内容 ・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習							
成績評価の方法 評価: 試験(期末考査) 0%・レポート 0%・その他(各講義での小テスト) 100%							
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示 特別な準備は必要ないが, 講義前半の基礎知識確認に集中すること。							
参考書 「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版							
履修上の注意事項 数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。							
連絡先 越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4階							

時間割番号	000606																																																								
科目名	主題別選択 I (科学と疑似科学の境界)																																																								
担当教員	奈良 雅之																																																								
開講時期	前期	対象年次	2																																																						
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等</p> <p>巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。</p>																																																									
<p>授業の到達目標</p> <p>授業の関係したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室1</td> <td>奈良 雅之</td> <td>共用講義室1に変更となります。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>奈良 雅之</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	4/5	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之		2	4/12	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之		3	4/19	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之		4	4/26	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之		5	5/10	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之		6	5/17	10:05-10:55	共用講義室1	奈良 雅之	共用講義室1に変更となります。	7	5/24	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之		8	5/31	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之	
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																																				
1	4/5	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之																																																					
2	4/12	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之																																																					
3	4/19	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之																																																					
4	4/26	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之																																																					
5	5/10	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之																																																					
6	5/17	10:05-10:55	共用講義室1	奈良 雅之	共用講義室1に変更となります。																																																				
7	5/24	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之																																																					
8	5/31	10:05-10:55	共用講義室2	奈良 雅之																																																					
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																																									
<p>授業内容</p> <p>社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。</p>																																																									
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験0%・レポート80%</p> <p>その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)</p> <p>再評価:有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																																									
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																									

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。</p> <p>復習: 興味のある項目について、文献を調べてください。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)</p>
<p>教科書</p> <p>なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人: PHP 新書, 2016</p>
<p>参考書</p> <p>嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著.: 文藝春秋, 2014</p> <p>メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著.: 名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010</p> <p>科学と人間の不協和音／池内了 [著].: 角川書店, 2012</p> <p>活性酸素／高柳 輝夫 編大坂 武男 編大坂 武男 [ほか] 共著, 日本化学会 監修.: 丸善</p> <p>博士漂流時代: 「余った博士」はどうか?／榎木英介 [著].: ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010</p> <p>水素水とサビない身体／太田成男 著.: 小学館, 2013</p> <p>疑似科学入門／池内 了 著.: 岩波書店</p>
<p>連絡先</p> <p>nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000611																																																								
科目名	主題別選択Ⅰ(食品の科学)																																																								
担当教員	澤野 頼子																																																								
開講時期	前期	対象年次	2																																																						
<p>曜日・時間:木曜日・2時限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:24名(主題別選択Ⅱ(食品の科学)と合わせて) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等 食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。</p>																																																									
<p>授業の到達目標 食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第1回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第2回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第3回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第4回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第5回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第6回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第7回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第8回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室3	第1回	澤野 頼子	2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室3	第2回	澤野 頼子	3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室3	第3回	澤野 頼子	4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室3	第4回	澤野 頼子	5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室3	第5回	澤野 頼子	6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室3	第6回	澤野 頼子	7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室3	第7回	澤野 頼子	8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室3	第8回	澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室3	第1回	澤野 頼子																																																				
2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室3	第2回	澤野 頼子																																																				
3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室3	第3回	澤野 頼子																																																				
4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室3	第4回	澤野 頼子																																																				
5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室3	第5回	澤野 頼子																																																				
6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室3	第6回	澤野 頼子																																																				
7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室3	第7回	澤野 頼子																																																				
8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室3	第8回	澤野 頼子																																																				
<p>授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																									
<p>授業内容 食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。</p>																																																									
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有</p>																																																									
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																									
<p>準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。</p>																																																									
<p>試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席</p>																																																									

(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編:東京化学同人, 2005

食品学 : 食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編:東京化学同人, 2011

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000612																																															
科目名	主題別選択Ⅰ（生物の中の糖）																																															
担当教員	勝又 敏行																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう。</p>																																																
<p>授業の到達目標 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
<p>授業方法 講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																
<p>授業内容 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>																																																

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳:丸善, 2010

連絡先

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000613																																															
科目名	主題別選択Ⅰ(宇宙と生命)																																															
担当教員	服部 淳彦																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらおう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらおう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>宇宙環境と生物(概論)</p> <p>無(微小)重力と生物(1)</p> <p>無(微小)重力と生物(2)</p> <p>宇宙放射線と生物(1)</p> <p>宇宙放射線と生物(2)</p>																																																

宇宙医学(1) 宇宙医学(2)
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000614																																															
科目名	主題別選択 I (生物間のコミュニケーション)																																															
担当教員	伊藤 正則																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
<p>・曜日・時間:木曜 2 限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する。</p> <p>別表 2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>この授業の目的は次の1)～4)である。</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法(ヒトによる言語を含む)とその制御メカニズムを理解する。</p> <p>2)この分野における研究の現状を理解する。</p> <p>3)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得する。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>1)生物間におけるコミュニケーションの方法、その制御メカニズム、この分野における研究の現状を説明することができる。</p> <p>2)基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>3)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式で行う。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを書き、提出する。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>ヒトによる言語等の生物間におけるコミュニケーションの方法とその制御メカニズムを説明する。主に、最近の研究論文を教材として用い</p>																																																

て、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。
成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20% 再評価:有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。
準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。
試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。
教科書 必要に応じて参考資料を配布する
参考書 脳とホルモンの行動学：行動神経内分泌学への招待：カラー版／近藤保彦，小川園子，菊水健史，山田一夫，富原一哉 編：西村書店，2010 はじめて学ぶ、脳の構成細胞と情報伝達の基盤／渡辺雅彦著：羊土社，2008-12 行動の神経生物学／ギンター・K.H.ツープンク 著，山元大輔 訳：シュプリンガー・ジャパン，2007 化学受容の科学／東原和成編：化学同人，2012-02
履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。
連絡先 伊藤 正則 itohmt.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 伊藤 正則 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室

時間割番号	000615																																															
科目名	主題別選択Ⅰ(医療の社会学)																																															
担当教員	藤井 達夫																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
<p>曜日・時間: 木曜 2限 対象学科: 医・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 この授業では、医療テクノロジーの発展の中で、医療が理想とした社会像や医療が実際に可能にした社会の仕組みを取り上げ、批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18世紀から20世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との根深く暗い関係を優生学の観点から議論します。さらに、20世紀後半に登場する新しい優生学の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、優生学と障害者問題にも焦点を当てる予定です。</p>																																																
<p>授業の到達目標 (1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。</p>																																																
<p>授業内容 第1回 医療が描く理想社会 第2回 医療と優生学 第3回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第4回 健康優良者からなる社会——日本の例 第5回 現代の優生学とそのユートピア 第6回 生命が廃棄される社会における障害者 第7回 『青い芝の会』と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価: 有(再評価方法)レポート</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																

準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974年) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008年) ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006年) 横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007年) 横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000616																																															
科目名	主題別選択Ⅰ(ヒトの脳と言語)																																															
担当教員	時本 楠緒子																																															
開講時期	前期	対象年次	2																																													
<p>曜日・時間: 木曜・2限(10:05-10:55) 対象学科: 医・歯学科 募集人数: 25人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を解説します。後半は、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。</p>																																																
<p>授業の到達目標 (1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。 (2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。 (3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答</p>																																																
<p>授業内容 4月5日 ヒトの脳構造(1) 4月12日 ヒトの脳構造(2) 4月19日 言語獲得の臨界期 4月26日 母語、外国語、手話 5月10日 動物の音声コミュニケーション(1) 5月17日 動物の音声コミュニケーション(2) 5月24日 言語の生物学的起源 5月31日 総括</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 70 % ・ その他(論文紹介)30 % 再評価: 有(レポート提出)</p>																																																
<p>成績評価の基準</p>																																																

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に求めません。復習は適宜行ってください。疑問・興味のあるテーマを見つけたら、関連する文献を探してください。レポート課題に使用します。
参考書 講義中に随時紹介します。
履修上の注意事項 レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000637			
科目名	主題別選択 I (Explorations in Literature Philosophy and Science)			
担当教員	David Cannell			
開講時期	前期	対象年次	2	
<p>曜日・時間: 木曜 2 限 対象学科: 医学科歯学科 募集人数: 12 人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。別表 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>				
授業の目的、概要等 What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.				
授業の到達目標				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
7	5/24	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell

			習室 5-1, 医学 科演習室 5-2	ell	
8	5/31	10:05-10:55	医学科演 習室 5-1, 医学 科演習室 5-2	David Cann ell	

授業内容

What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who then can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.

The keywords for this course are reading, discussion, and writing. Since this is primarily a discussion-centered class, faithful attendance and participation will be critical to making it a success for each of us individually and for all of us as a group. Consequently, attendance will be recorded each time we meet.

* Note: As a rule, use of electronic devices is not permitted in the classroom.

成績評価の方法

評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%

再評価: 有(再評価方法)レポート

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

必要があれば、授業内で適宜、指示します。

教科書

Most texts will be available as email attachments or handouts.

備考

Participation

There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.

Absence policy

Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.

Journal

Notebook, A-5 size

時間割番号	000808																																						
科目名	主題別選択Ⅰ(学習・記憶と言語)																																						
担当教員																																							
開講時期	前期	対象年次	2																																				
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																							
<p>授業の目的、概要等 ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。そして、動物は言語、少なくとも「ヒトのような言語」は持たないが、ヒトは主に言語を用いて考え、コミュニケーションをとり、生活している。したがって、言語を用いた情報処理こそがヒトのヒトたる所以である、重要な能力といっても過言ではないであろう。 この授業では、これら「学習・記憶」や「言語」の処理といった脳の高次機能について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。</p>																																							
<p>授業の到達目標 学習・記憶と言語の観点から脳の機能への理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4
回	日付	時刻	講義室																																				
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答</p>																																							
<p>授業内容 第1回-第4回 学習と記憶 第5回-第7回 言語とコミュニケーション</p>																																							
<p>成績評価の方法 評価 : その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100% 再評価: 有</p>																																							
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																							

準備学習などについての具体的な指示

予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いていただきます。

教科書

プリントを配布する。

参考書

カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳 中村 克樹 監訳: 丸善出版 2013

履修上の注意事項

毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。

時間割番号	000617																																																										
科目名	主題別選択Ⅰ（語り(ナラティブ)と時間)																																																										
担当教員	土佐 朋子																																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																																								
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>文学は時間芸術であるといわれる。</p> <p>本授業の目的は、作品に展開される「語り」が「時間」をどのように編集しているのかを考察し、「時間」が人間の表現意図にもとづいて創造されるものであることを理解することである。到達目標は、3年次セミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」と「時間」という観点から養われることである。</p>																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。</p> <p>②人間の時間認識にとって、言語が重要な役割を果たすことに気づく。</p> <p>③3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業開始にあたり、問題提起を行う。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>柿本人麻呂歌に見る時間と語り</td> <td>時間を初めて文学表現に意識的に取り込んだとも言われる人麻呂の表現を考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>現在から過去へ1</td> <td>遠藤周作『海と毒薬』を時間編集に焦点をあてて考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>現在から過去へ2</td> <td>夏目漱石『こころ』を時間編集に焦点をあてて考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>文学に描かれる時間の不可逆性と宿命</td> <td>時間が不可逆的であるからこそ宿命を負うことになる。文学に繰り返し描かれるこの時間のありようについて考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>夢野久作『瓶詰地獄』に見る時間</td> <td>時と語りの関係について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>過去とは何か。</td> <td>言語と時間との密接な関係について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミナー室7	ガイダンス	授業開始にあたり、問題提起を行う。	土佐 朋子	2	6/14	10:05-10:55	共用セミナー室7	柿本人麻呂歌に見る時間と語り	時間を初めて文学表現に意識的に取り込んだとも言われる人麻呂の表現を考察する。	土佐 朋子	3	6/21	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ1	遠藤周作『海と毒薬』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子	4	6/28	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ2	夏目漱石『こころ』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子	5	7/5	10:05-10:55	共用セミナー室7	文学に描かれる時間の不可逆性と宿命	時間が不可逆的であるからこそ宿命を負うことになる。文学に繰り返し描かれるこの時間のありようについて考察する。	土佐 朋子	6	7/12	10:05-10:55	共用セミナー室7	夢野久作『瓶詰地獄』に見る時間	時と語りの関係について考察する。	土佐 朋子	7	7/19	10:05-10:55	共用セミナー室7	過去とは何か。	言語と時間との密接な関係について考察する。	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/7	10:05-10:55	共用セミナー室7	ガイダンス	授業開始にあたり、問題提起を行う。	土佐 朋子																																																					
2	6/14	10:05-10:55	共用セミナー室7	柿本人麻呂歌に見る時間と語り	時間を初めて文学表現に意識的に取り込んだとも言われる人麻呂の表現を考察する。	土佐 朋子																																																					
3	6/21	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ1	遠藤周作『海と毒薬』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子																																																					
4	6/28	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ2	夏目漱石『こころ』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子																																																					
5	7/5	10:05-10:55	共用セミナー室7	文学に描かれる時間の不可逆性と宿命	時間が不可逆的であるからこそ宿命を負うことになる。文学に繰り返し描かれるこの時間のありようについて考察する。	土佐 朋子																																																					
6	7/12	10:05-10:55	共用セミナー室7	夢野久作『瓶詰地獄』に見る時間	時と語りの関係について考察する。	土佐 朋子																																																					
7	7/19	10:05-10:55	共用セミナー室7	過去とは何か。	言語と時間との密接な関係について考察する。	土佐 朋子																																																					
<p>授業方法</p> <p>原則として、講義を行い、授業の最後に「学生による授業後小レポート」として、その日の講義を受けて考えたことを書いて提出する形式とする。</p> <p>講義の途中で、できるだけ学生の意見を聞く機会を設ける。</p>																																																											
<p>授業内容</p> <p>複数の文学作品にもとづいて、人間の語りにおける時間編集の諸相を確認する。また、「過去」という時間が、人間の言語活動によって創り上げられることを考察する。扱う作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、夏目漱石『こころ』、遠藤周作『海と毒薬』、夢野久作『瓶詰地獄』などを予定している。</p> <p>授業日程に記載した内容は、受講生の興味関心に即して変更する場合がある。</p>																																																											
<p>成績評価の方法</p>																																																											

<p>評価:試験 0%・レポート 80%</p> <p>その他 20% (授業への参加度・授業中の小レポート等)</p> <p>再評価:有</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。</p>
<p>教科書</p> <p>プリントを使用する。</p>
<p>参考書</p> <p>『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著：中央公論新社, 1979</p> <p>『時間と自我』／大森荘蔵：青土社, 1992</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>連絡先</p> <p>土佐 朋子.tosa.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30</p> <p>管理研究棟 2 階文学研究室</p>

時間割番号	000618																																						
科目名	主題別選択 I (いのちと医療の倫理学)																																						
担当教員	田中 智彦																																						
開講時期	前期	対象年次	2																																				
<p>◇ 曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>◇ 対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-9) 市民としての倫理観を養う</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>倫理と法は別のものです。しかしながら今日、「生命倫理」として語られることがらの多くにあっては、この二つがしばしば混同されがちです。日本のある著名な哲学者をして、一般に「生命倫理」と呼ばれているものは「本来なら生命倫理ではなく、生命法とでも呼ぶべきもの」である、と言わしめるゆえんです。</p> <p>では、そうした倫理と法の混同はなぜ生じるのでしょうか。どのような帰結をもたらすのでしょうか。また、名ばかりではない「生命倫理」、つまり「生命法」ではない「生命倫理」があるとしたら、そこでは「いのち」や「医学・医療」をめぐって何が語られ、そして私たちには何が求められることになるのでしょうか。</p> <p>この授業では「授業詳細日程」に記すような論点を通して、それら一連の問いを考察してゆきます。それはまた、「生命倫理」の現在を批判的に読み解き、未来を模索する試みともなるでしょう。</p>																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 上記の試みをつうじて、「医学・医療において倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。</p> <p>(2) 「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。</p>																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>倫理と法、科学技術の境界(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>倫理と法、科学技術の境界(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「いのち」へのまなざしと現代社会(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「いのち」へのまなざしと現代社会(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「いのち」へのまなざしと現代社会(3)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(1)	田中 智彦	2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(2)	田中 智彦	3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(1)	田中 智彦	4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(2)	田中 智彦	5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(3)	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																		
1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(1)	田中 智彦																																		
2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(2)	田中 智彦																																		
3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(1)	田中 智彦																																		
4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(2)	田中 智彦																																		
5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(3)	田中 智彦																																		

6	7/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」をめぐる問いの転回(1)	田中 智彦
7	7/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」をめぐる問いの転回(2)	田中 智彦
授業方法					
<p>授業はセミナー形式で行う予定です。</p> <p>教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。</p>					
授業内容					
「授業詳細日程」にある通り					
成績評価の方法					
<p>この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします。</p> <p>◇評価: レポート 80%</p> <p> その他 20% (授業への参加度)</p> <p>◇再評価: 有 (レポート)</p>					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
<p>授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。</p>					
試験の受験資格					
◇ レポートの提出資格: 原則として7回中5回以上の出席					
教科書					
教科書はありません。毎回レジュメを配布します。					
参考書					
参考書等は授業の中で随時紹介します。					
履修上の注意事項					
出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。					
連絡先					
田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
田中 智彦: 毎週金曜日 12:30~13:30 管理研究棟2階 哲学研究室					

時間割番号	000634																																										
科目名	主題別選択Ⅰ(ディアスポラの文化)																																										
担当教員	高尾 千津子																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																								
曜日・時間:木曜2限 対象学科: 医・歯学科 受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数:20人																																											
授業の目的、概要等 現代のグローバルな人間の移動は、世界各地に新しいディアスポラ文化を生み出している。国を追われた亡命者や難民だけでなく、国際的な労働力の移動という形での移民たちが、この新たな文化の担い手となっている。授業では移民社会とその文化を紹介し、多文化社会が投げかける問題点を考える。																																											
授業の到達目標 人の移動にともなう文化変容と異文化間の相互理解を重要性を考える。																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
授業方法 講義形式																																											
授業内容 1ディアスポラの歴史 2古典的なディアスポラ 1 3古典的なディアスポラ 2 4現代のディアスポラ 1 5現代のディアスポラ 2 6アメリカの移民と文化 7ヨーロッパの移民と文化																																											
成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有(再評価方法)																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																											
準備学習などについての具体的な指示 授業ごとにプリントを配布し、次回の参考文献を提示するので復習と予習をしておくこと。																																											
教科書																																											

授業でプリントを配布する。

参考書

駒井洋編『ヨーロッパ・ロシア・アメリカのディアスポラ』明石書店、2009年。

有賀夏紀『アメリカの歴史 テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣、2003年。

綾部恒雄編『アメリカの民族 ルツボからサラダボウルへ』弘文堂、1992年。

内藤正典『ヨーロッパとイスラーム——共生は可能か』岩波新書、2004年。

履修上の注意事項

3分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

時間割番号	000610																																										
科目名	主題別選択Ⅰ(スポーツと健康)																																										
担当教員	水野 哲也																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																								
<p>曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 2年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1-4)異なる空間の文化を理解する 別表1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か?、を原点に立ち返って、今一度考えてみたいと思います。授業では、私(水野)の考える「スポーツとは?」、「健康とは?」を述べますが、これは私論です。よって、授業では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは? を発表し、その本質について共に考えたいと思います。</p>																																											
<p>授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか?を実践的に学ぶことです。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
<p>授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。</p>																																											
<p>授業内容 「スポーツとは?」、「健康とは?」、そして「文化とは?」について考え、その後「スポーツは文化か?」、「健康づくりは文化か?」などについて事例やデータを基にも考えます。受講者の主体的な発表が重要で、そのをもとに意見交換をします。</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価:出席30%、各授業時の参加度20%、レポート50% 再評価:有</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性。能動的に主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められます。発表の内容をしっかりと準備してください。</p>																																											
<p>試験の受験資格 本授業は、原則全授業の2/3(全7回のうち5回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。</p>																																											
<p>参考書</p>																																											

痛快みんなのスポーツ学／辻秀一 著：集英社インターナショナル, 2001

病気になるらない暮らし事典／本間真二郎：セブン&アイ出版, 2016

健康生成力SOCと人生・社会／山崎喜比古山崎ほか：有信堂, 2017

他科目との関連

1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ~ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000620					
科目名	主題別選択 I (フランス詩を読む)					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	2			
<p>・曜日・時間: 木曜2限</p> <p>・対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6) 優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7) 人間の心への理解を深める</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。</p> <p>詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解がたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。</p>						
授業の到達目標						
<p>1) フランス詩のニュアンス・表現を味わう。</p> <p>2) 文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	序論(概要の説明) ジャック・プレヴェール	中島 ひかる
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ランボー、ボードレール	中島 ひかる
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ロンサール、アポリネール	中島 ひかる
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	マラルメ、ヴァレリー	中島 ひかる
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	現代詩、意見交換	中島 ひかる
授業方法						
<p>講義と演習による。</p> <p>毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。</p>						
授業内容						
<p>ロンサール、ラシーヌ、ボードレール、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。</p> <p>おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。</p> <p>1 回目: 授業の概要説明、ジャック・プレヴェール</p> <p>2 回目: ヴェルレーヌ等</p> <p>3 回目: ランボー、ボードレール</p>						

<p>4 回目: ロンサール、アポリネール 5 回目: マラルメ、ヴァレリー 6 回目: ロマン派 7 回目: 現代詩、意見交換</p>
<p>成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価: 有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)</p> <p>授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 フランス名詩選/安藤元雄, 入沢康夫, 渋谷孝輔 編: 岩波書店, 1998 プリントを配付する</p>
<p>参考書 珊瑚集: 仏蘭西近代抒情詩選/永井 荷風 訳: 岩波書店 上田敏全訳詩集/山内 義雄・矢野峰人 編: 岩波書店 悪の華/ボードレール 著, 鈴木信太郎 著: 集英社 ヴァレリー詩集/ヴァレリー/著, 鈴木 信太郎/訳: 岩波書店, 1979 月下の一群: 訳詩集/堀口大學 訳: 岩波書店, 2013 ロンサール詩集/ピエール・ド・ロンサール/[著], 井上究一郎/訳: 岩波書店, 1989 ランボオ詩集/ランボオ [著], 中原中也 訳: 岩波書店, 2013 地獄の季節/ランボー /作, 小林秀雄/訳: 岩波書店, 2008 ヴェルレーヌ詩集/ヴェルレーヌ [著], 堀口 大学 訳: 新潮社 アポリネール詩集/アポリネール/[著], 堀口大学/訳: 新潮社, 1985</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>
<p>連絡先 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月曜 16:30~18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室</p>

時間割番号	000621																																										
科目名	主題別選択 I (ドイツとヨーロッパの現在)																																										
担当教員	シンチンガー エミ																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																								
<p>・前期後半</p> <p>・曜日・時間:木曜 2 限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること</p> <p>・募集人数:3 年生とあわせて 20 人</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表1-6)優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7)人間の心への理解を深める</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p>																																											
<p>主な講義場所</p> <p>湯島キャンパス</p> <p>3号棟4階演習室4-11, 12</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986 年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の 4 単位を持っていない方は受講できません！</p> <p>毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在1</td> <td>オリエンテーション:ベルリンについて:教員から説明後、プリントを読んで訳していく。その後戯曲のプリントを配り、一つ目の詩を読んで訳し始める。次回からどの詩をどの順番で読んでいか話し合う。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>毎回独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。次回に向けて:予習してくる範囲が指定される。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在2</td> <td>一つ目の詩を最後まで読んで訳したら、二つ目の詩を読んで訳していく。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在3</td> <td>二つ目の詩を最後まで読んで訳したら、三つ目の詩を読んで訳していく。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 4-11, 医学科演習室</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在4</td> <td>三つ目の詩を最後まで読んで訳したら、四つ目の詩を読んで訳していく。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在1	オリエンテーション:ベルリンについて:教員から説明後、プリントを読んで訳していく。その後戯曲のプリントを配り、一つ目の詩を読んで訳し始める。次回からどの詩をどの順番で読んでいか話し合う。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。次回に向けて:予習してくる範囲が指定される。	2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在2	一つ目の詩を最後まで読んで訳したら、二つ目の詩を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。	3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在3	二つ目の詩を最後まで読んで訳したら、三つ目の詩を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。	4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室	ドイツとヨーロッパの現在4	三つ目の詩を最後まで読んで訳したら、四つ目の詩を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																				
1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在1	オリエンテーション:ベルリンについて:教員から説明後、プリントを読んで訳していく。その後戯曲のプリントを配り、一つ目の詩を読んで訳し始める。次回からどの詩をどの順番で読んでいか話し合う。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。次回に向けて:予習してくる範囲が指定される。																																				
2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在2	一つ目の詩を最後まで読んで訳したら、二つ目の詩を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。																																				
3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在3	二つ目の詩を最後まで読んで訳したら、三つ目の詩を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。																																				
4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室	ドイツとヨーロッパの現在4	三つ目の詩を最後まで読んで訳したら、四つ目の詩を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習																																				

			4-12				してくる。
5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在5	四つ目の詩を最後まで読んで訳したら、五つ目の詩を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	独和辞典、あれば電子辞書を持ってくる。指定された範囲を予習してくる。
6	7/12	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在6	五つ目の詩を最後まで読んで訳したら、六つ目の詩を読んで最後まで訳していく。	シンチンガー エミ	試験準備:今まで読んだ詩をすべてしっかり復習しておく。ベルリンという町と「地下鉄1号線」というお芝居についても考えておく。
7	7/19	10:05-10:55	医学科演習室 4-11, 医学科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現在7	試験	シンチンガー エミ	遅刻、欠席をしないこと。

授業方法

セミナー形式; 初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。

授業内容

初回:ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布

第2回～第6回:「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。

第7回:到達したところまでの内容について、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。

試験が50パーセント。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中にたくさん原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習しておくといいです。他の参考書、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いので、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

1回目にプリントを配布します。

参考書

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆,有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆:同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000623			
科目名	主題別選択Ⅰ(情報と人間)			
担当教員	中口 悦史			
開講時期	前期	対象年次	2	
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1), 2-1), 2-3), 4-4)				
授業の目的、概要等				
<p>情報化社会と呼ばれる現代において人々は、多種多様な情報に曝され、その扱いに戸惑いながら、それらを受け止めつつ、日々の暮らしを営んでいる。では現代の人々は、溢れる情報からどのように影響を受け、順応しようとしているのか。そもそも情報やコミュニケーションの本質は何か。情報について人文社会科学や工学などさまざまな観点から考察する。</p>				
授業の到達目標				
<p>情報に対して自分なりの視点や立場を持ち、それを他人に説明し、互いに議論することができる。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/7	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
2	6/14	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
3	6/21	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
4	6/28	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
5	7/5	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
6	7/12	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
7	7/19	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
授業方法				
<p>講義と議論を交えながら授業を進める。</p>				
授業内容				
<p>前半は講義と演習により、情報の理論的基礎を学習する。 後半は、配付資料を基に、互いに議論しながら、各自の視点で考察を加える。</p>				
<p>授業計画</p> <p>(1) 人間・人間社会にとっての情報 (2) 情報伝達のモデル(シャノン, ソシュール) (3) 言語の役割と、非言語情報 (4) 最広義の情報の定義(西垣, 吉田) (5) ネットはリアルかバーチャルか (6) うわさやデマはなぜ広まるか (7) まとめ・情報とは何か</p>				
成績評価の方法				
<p>評価: 試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20%</p> <p>再評価: 有</p> <p>レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。 「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による</p>				

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数3分の2以上の出席。</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。</p>
<p>参考書</p> <p>情報理論／甘利俊一 著、筑摩書房、2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン、ワレン・ウィーバー 著、植松友彦 訳、筑摩書房、2009 ソシュールと言語学：コトバはなぜ通じるのか／町田健 著、講談社、2004 基礎情報学：生命から社会へ／西垣 通、NTT 出版、2004 心と認知の情報学／石川幹人著、勁草書房、2006-04 ウェブ社会のゆくえ：〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著、NHK 出版、2013 ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之、松田美佐 編、有斐閣、2012 うわさとは何か：ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著、中央公論新社、2014 絶版の参考書： 吉田民人『情報と自己組織性の理論』東京大学出版会、1990年。ISBN: 9784130092142 西垣通『こころの情報学』筑摩書房、1999年。ISBN: 9784480058041 西垣通『ネットとリアルのあいだ』筑摩書房、2009年。ISBN: 9784480688255</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。</p>
<p>連絡先</p> <p>中口 悦史 nakaguti.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>中口 悦史:月・水 12:00～13:00、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける</p>

時間割番号	000636																																																										
科目名	主題別選択Ⅰ(人体・医療の物理)																																																										
担当教員	檜枝 光憲																																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																																								
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や歯医学に関係した物理を学んでいきます。</p>																																																											
<p>授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第1回</td> <td>力学と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第2回</td> <td>流体と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第3回</td> <td>熱と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第4回</td> <td>音と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第5回</td> <td>光と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第6回</td> <td>磁気と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第7回</td> <td>放射線と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	医学科講義室2	第1回	力学と人体・医療	檜枝 光憲	2	6/14	10:05-10:55	医学科講義室2	第2回	流体と人体・医療	檜枝 光憲	3	6/21	10:05-10:55	医学科講義室2	第3回	熱と人体・医療	檜枝 光憲	4	6/28	10:05-10:55	医学科講義室2	第4回	音と人体・医療	檜枝 光憲	5	7/5	10:05-10:55	医学科講義室2	第5回	光と人体・医療	檜枝 光憲	6	7/12	10:05-10:55	医学科講義室2	第6回	磁気と人体・医療	檜枝 光憲	7	7/19	10:05-10:55	医学科講義室2	第7回	放射線と人体・医療	檜枝 光憲
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/7	10:05-10:55	医学科講義室2	第1回	力学と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
2	6/14	10:05-10:55	医学科講義室2	第2回	流体と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
3	6/21	10:05-10:55	医学科講義室2	第3回	熱と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
4	6/28	10:05-10:55	医学科講義室2	第4回	音と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
5	7/5	10:05-10:55	医学科講義室2	第5回	光と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
6	7/12	10:05-10:55	医学科講義室2	第6回	磁気と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
7	7/19	10:05-10:55	医学科講義室2	第7回	放射線と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																											
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 力学と人体・医療 2. 流体と人体・医療 3. 熱と人体・医療 4. 音と人体・医療 5. 光と人体・医療 6. 磁気と人体・医療 7. 放射線と人体・医療 																																																											
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。</p> <p>評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20%</p> <p>再評価: 無</p>																																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																											

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力,共立出版, 2015
物理学入門から医用物理へ : 超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,ブイツーソリューション, 2013
医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,東京教学社, 2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取ると出欠を優先させる。

連絡先

檜枝 光憲 hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲:毎週金曜日 16:30～17:30 ヒボ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000625																																																										
科目名	主題別選択 I (微分方程式演習)																																																										
担当教員	越野 和樹																																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																																								
<p>・曜日・時間: 時間割を参照のこと</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表2-1)</p> <p>別表4-2)</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第1回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第2回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第3回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第4回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第5回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第6回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第7回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第1回	物理数学演習	越野 和樹	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第2回	物理数学演習	越野 和樹	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第3回	力学演習	越野 和樹	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第4回	力学演習	越野 和樹	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第5回	力学演習	越野 和樹	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第7回	電磁気学演習	越野 和樹
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第1回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第2回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第3回	力学演習	越野 和樹																																																					
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第4回	力学演習	越野 和樹																																																					
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第5回	力学演習	越野 和樹																																																					
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第7回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					
<p>授業方法</p> <p>各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。</p>																																																											
<p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習 																																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験(期末考査) 0%・レポート 0%・その他(各講義での小テスト) 100%</p>																																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。</p>																																																											

参考書 「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版
履修上の注意事項 数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている.
連絡先 越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 越野 和樹:毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000626																																										
科目名	主題別選択 I (タンパク質科学の光と影)																																										
担当教員	奈良 雅之																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																								
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>21世紀はタンパク質の時代ともてはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験0%・レポート 80%</p> <p>その他(授業への参加度 20%)</p> <p>再評価:有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																											

<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>予習: 配付資料に目を通してください。</p> <p>復習: 興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)</p>
<p>参考書</p> <p>タンパク質の生命科学: ポスト・ゲノム時代の主役/池内俊彦 著.: 中央公論新社, 2001</p> <p>ポストゲノム時代のタンパク質科学: 構造・機能・ゲノミクス/Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳.: 化学同人, 2007</p> <p>入門構造生物学: 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く/高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編.: 共立出版, 2010</p> <p>タンパク質の構造と機能: カラー図説/グレゴリー A. ペツコ/著,ダグマール リンゲ/著,横山 茂之/監訳,宮島 郁子/訳.: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005</p>
<p>連絡先</p> <p>nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000619																																																								
科目名	主題別選択Ⅰ(植物の科学)																																																								
担当教員	澤野 頼子																																																								
開講時期	前期	対象年次	2																																																						
<p>曜日・時間:木曜日・2時限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20名(主題別選択Ⅱ(植物の科学)と合わせて) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。</p>																																																									
<p>授業の到達目標 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第1回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第2回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第3回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第4回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第5回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第6回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第7回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>予備日</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第1回	澤野 頼子	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第2回	澤野 頼子	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第3回	澤野 頼子	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第4回	澤野 頼子	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第5回	澤野 頼子	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第6回	澤野 頼子	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第7回	澤野 頼子	8	7/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	予備日	澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第1回	澤野 頼子																																																				
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第2回	澤野 頼子																																																				
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第3回	澤野 頼子																																																				
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第4回	澤野 頼子																																																				
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第5回	澤野 頼子																																																				
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第6回	澤野 頼子																																																				
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第7回	澤野 頼子																																																				
8	7/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	予備日	澤野 頼子																																																				
<p>授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																									
<p>授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。</p>																																																									
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有</p>																																																									
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																									
<p>準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。</p>																																																									
<p>試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)</p>																																																									

参考書

植物生理学／三村徹郎, 鶴見誠二 編著.: 化学同人, 2009

ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編.: オーム社, 2009

連絡先

澤野 頼子: sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子: 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000628																																										
科目名	主題別選択Ⅰ(危険物の科学)																																										
担当教員	勝又 敏行																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																								
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。</p>																																											
<p>授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
<p>授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																											
<p>授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 第1類～第3類の性質 4. 第4類～第6類の性質 5. 火事の事例 6. 消火法について 7. グループ討論</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。</p>																																											
<p>参考書</p>																																											

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳: 共立出版, 2009

連絡先

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000629																																										
科目名	主題別選択 I (老化と寿命)																																										
担当教員	服部 淳彦																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																								
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてははじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>老化現象と老化の原因(概要)</p> <p>骨の老化</p> <p>皮膚の老化</p> <p>脳の老化</p> <p>血管の老化</p> <p>老化と遺伝子</p> <p>抗加齢医学</p>																																											

<p>成績評価の方法</p> <p>評価:その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。</p>
<p>連絡先</p> <p>服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)</p>

時間割番号	000608																																																		
科目名	主題別選択Ⅰ(環境への適応)																																																		
担当教員	伊藤 正則																																																		
開講時期	前期	対象年次	2																																																
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。</p> <p>別表2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。</p>																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。</p> <p>3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。</p>																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室1</td> <td>伊藤 正則</td> <td>共用講義室1に変更となります。</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	6/7	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		2	6/14	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		3	6/21	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		4	6/28	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		5	7/5	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		6	7/12	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		7	7/19	10:05-10:55	共用講義室1	伊藤 正則	共用講義室1に変更となります。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																														
1	6/7	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
2	6/14	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
3	6/21	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
4	6/28	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
5	7/5	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
6	7/12	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
7	7/19	10:05-10:55	共用講義室1	伊藤 正則	共用講義室1に変更となります。																																														
<p>授業方法</p> <p>基本的には講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。必要であれば、その場で、インターネットにより情報検索を行う。疑問点を抽出する能力を向上させるために、毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。</p>																																																			
<p>授業内容</p> <p>生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>																																																			
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価:有</p>																																																			
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																																			

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>資料を配布する。</p>
<p>参考書</p> <p>Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt. : Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015</p> <p>ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳. : 医学書院, 2005</p> <p>はじめの一歩のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編. : 羊土社, 2012</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先</p> <p>伊藤 正則 itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000631																																										
科目名	主題別選択Ⅰ（民主主義を再考する）																																										
担当教員	藤井 達夫																																										
開講時期	前期	対象年次	2																																								
曜日・時間：木曜 2限 対象学科：医・歯学科 募集人数：25人 科目を履修して得られる能力（コンピテンシー）1-1）、1-2）、1-3）、1-4）、1-5）、1-7）、1-9）、2-4）																																											
授業の目的、概要等 この授業では、民主主義の歴史をたどりながら、現在の民主主義の閉塞状況を批判的に検討します。この検討を手掛かりにして、これからの社会をどのように作り上げていくのか履修生の皆さんと一緒に考えます。誰もが民主主義は私たちの社会のあり方——医療制度を含め——を決定する重要な政治の原理であり、制度であると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかりと理解している人はどれほどいるのでしょうか。今年度は、憲法改正の発議と平成の終焉を前にして、戦後民主主義とは何であったのか、そしてポスト平成の時代の政治はどうあるべきかについて考えます。																																											
授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																							
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。																																											
授業内容 第1回 現代の民主主義の諸問題 第2回 民主主義の起源——古代アテナイの民主主義 第3回 近代民主主義の本質①——国民主権 第4回 近代民主主義の本質②——代表制度 第5回 ポピュリズム化する民主主義——その特徴と条件 第6回 平成と戦後民主主義——その終焉 第7回 憲法改正とポスト平成の時代の政治の行方 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。																																											
成績評価の方法 評価：レポート 80%・その他(授業での取り組み) 20% 再評価：有(再評価方法)レポート																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																											

準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 ジョージ・オーウェル『一九八四年』(ハヤカワ epi 文庫、2009 年) 齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017 年) 水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016 年) 小熊英二編『平成史』(河出書房新社、2014 年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000632																																					
科目名	主題別選択 I (英語で学ぶヒトの脳と言語)																																					
担当教員	時本 楠緒子																																					
開講時期	前期	対象年次	2																																			
<p>曜日・時間: 木曜・2限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科: 医・歯学科</p> <p>募集人数: 25人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行います。</p>																																						
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。 (2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。 (3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p>																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	6	7/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																		
1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
6	7/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		

7	7/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	
授業方法					
前半は講義形式。後半は学生による論文紹介と討論。					
授業内容					
6月7日 Overview of the human brain					
6月14日 Language circuits in the brain					
6月21日 Critical period for language learning					
6月28日 Second-language and sign language					
7月5日 Animal behavior similar to language					
7月12日 Comparison between bird song and human language					
7月19日 Comparison between behavior of primates and human language					
成績評価の方法					
評価：試験 0%・レポート(英語) 70%・その他(論文紹介) 30%					
再評価：有(レポート提出)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
予習は特に求めませんが、最初に配布する文献には目を通しておいください。。前半の講義で疑問・興味のあるテーマを見つけたら、関連する文献を探してください。後半の論文紹介と討論に使用します。					
参考書					
Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2013 McGraw-Hill					
履修上の注意事項					
レポート提出の資格は、原則として授業回数の2/3以上の出席とします。出欠は、出席カードの提出により確認します。					

時間割番号	000638			
科目名	主題別選択 I (Understanding Language and Society)			
担当教員	David Cannell			
開講時期	前期	対象年次	2	
<p>曜日・時間: 木曜 2限 対象学科: 医学科歯学科 募集人数: 12人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。別表 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>				
授業の目的、概要等				
<p>What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
授業方法				
<p>There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation. *Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.</p>				
授業内容				
<p>Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn, such as speaking a foreign language. Modern thinkers have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of such thinkers, which enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.</p>				
成績評価の方法				
<p>評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価: 有(再評価方法)レポート</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
準備学習などについての具体的な指示				
<p>必要があれば、授業内で適宜、指示します。</p>				
教科書				
<p>Most texts will be available as email attachments or handouts.</p>				
履修上の注意事項				

Notebook, A-5 size

備考

クラス討論は英語

教材は英語

時間割番号	000809		
科目名	主題別選択 I (学習・記憶と老化)		
担当教員			
開講時期	前期	対象年次	2
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表1-7)人間の心への理解を深める 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>			
授業の目的、概要等			
<p>ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。しかしながら、「学習・記憶」を含む認知機能は加齢ともなう様々な要因に影響される。平均寿命の著しい伸びとともに、高齢化率が急速に増加しているわが国において、認知症患者数の増加が社会に与える影響は大きいであろう。この授業では、「学習・記憶」に関係する脳の機能と、そこに与える老化の影響について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。</p>			
授業の到達目標			
<p>学習・記憶の観点から脳の機能への理解を深め、そこに与える老化の影響を学ぶ。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>			
授業計画			
回	日付	時刻	講義室
1	6/7	10:05-10:55	共用セミナー室 11
2	6/14	10:05-10:55	共用セミナー室 11
3	6/21	10:05-10:55	共用セミナー室 11
4	6/28	10:05-10:55	共用セミナー室 11
5	7/5	10:05-10:55	共用セミナー室 11
6	7/12	10:05-10:55	共用セミナー室 11
7	7/19	10:05-10:55	共用セミナー室 11
授業方法			
<p>講義形式と授業内での質疑応答</p>			
授業内容			
<p>第1回-第4回 学習と記憶 第5回-第7回 学習・記憶の老化</p>			
成績評価の方法			
<p>評価 : その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100%</p>			

再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いていただきます。
教科書 プリントを配布する。
参考書 カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳 中村 克樹 監訳: 丸善出版, 2013 老年医学系統講義テキスト/ 日本老年医学会 編: 西村書店, 2013
履修上の注意事項 毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。

時間割番号	000701																																																																	
科目名	主題別選択Ⅱ(語り(ナラティブ)の構造)																																																																	
担当教員	土佐 朋子																																																																	
開講時期	前期	対象年次	3																																																															
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人間は、自らを存在させるために「語り」を必要とする生き物である。</p> <p>本授業の目的は、人間の「語り」の構造について、基本的な考え方を学び、理解を深めることである。到達目標は、3年次のセミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」という観点から養われることである。</p> <p>古典から近現代までの複数の文学作品を用いながら、それぞれの語りの特徴を指摘し、そのことがどのような効果を発揮し得るかを考察する。</p>																																																																		
<p>授業の到達目標</p> <p>①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。</p> <p>②3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>ガイダンス</td> <td>講義開始にあたり、問題設定を行う。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>「私」は作者?</td> <td>一人称語りの特殊性を考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>「私」は誰?</td> <td>推理小説の叙述トリックを考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>夏目漱石『こころ』、二人の「私」</td> <td>名前を明かされない二人の「私」が登場する夏目漱石『こころ』について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>森鷗外『舞姫』、「私」の「嘘」</td> <td>「私」の語りを信じ込みすぎたはいないだろうか。森鷗外『舞姫』を通して「私」の語りの信憑性を考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>芥川龍之介『藪の中』、犯人は誰?</td> <td>自分が犯人だと主張する3人の「私」の語りを考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>日記文学の「私」</td> <td>平安朝における日記文学の語り手について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>「私」語りの不思議</td> <td>「私」という語り手の機能について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室2	ガイダンス	講義開始にあたり、問題設定を行う。	土佐 朋子	2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は作者?	一人称語りの特殊性を考察する。	土佐 朋子	3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は誰?	推理小説の叙述トリックを考察する。	土佐 朋子	4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室2	夏目漱石『こころ』、二人の「私」	名前を明かされない二人の「私」が登場する夏目漱石『こころ』について考察する。	土佐 朋子	5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室2	森鷗外『舞姫』、「私」の「嘘」	「私」の語りを信じ込みすぎたはいないだろうか。森鷗外『舞姫』を通して「私」の語りの信憑性を考察する。	土佐 朋子	6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室2	芥川龍之介『藪の中』、犯人は誰?	自分が犯人だと主張する3人の「私」の語りを考察する。	土佐 朋子	7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室2	日記文学の「私」	平安朝における日記文学の語り手について考察する。	土佐 朋子	8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」語りの不思議	「私」という語り手の機能について考察する。	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室2	ガイダンス	講義開始にあたり、問題設定を行う。	土佐 朋子																																																												
2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は作者?	一人称語りの特殊性を考察する。	土佐 朋子																																																												
3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」は誰?	推理小説の叙述トリックを考察する。	土佐 朋子																																																												
4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室2	夏目漱石『こころ』、二人の「私」	名前を明かされない二人の「私」が登場する夏目漱石『こころ』について考察する。	土佐 朋子																																																												
5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室2	森鷗外『舞姫』、「私」の「嘘」	「私」の語りを信じ込みすぎたはいないだろうか。森鷗外『舞姫』を通して「私」の語りの信憑性を考察する。	土佐 朋子																																																												
6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室2	芥川龍之介『藪の中』、犯人は誰?	自分が犯人だと主張する3人の「私」の語りを考察する。	土佐 朋子																																																												
7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室2	日記文学の「私」	平安朝における日記文学の語り手について考察する。	土佐 朋子																																																												
8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室2	「私」語りの不思議	「私」という語り手の機能について考察する。	土佐 朋子																																																												
<p>授業方法</p> <p>原則として、講義を行い、授業の最後に「学生による授業後小レポート」として、その日の講義を受けて考えたことを書いて提出する形式とする。</p> <p>講義の途中で、できるだけ学生の意見を聞く機会を設ける。</p>																																																																		
<p>授業内容</p> <p>語りが成立するために必要な要素の確認から始め、それらがどのように機能して、どのような構造を作っているかを、作品を通して具体的に考察する。とりあげる作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、江戸川乱歩『人間椅子』、夏目漱石『こころ』、森鷗外『舞姫』、芥川龍之介『藪の中』などを予定している。</p>																																																																		

<p>授業日程に記載した内容は、受講生の興味関心に即して変更する場合がある。</p>
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80% その他 20%(授業への参加度・授業中の小レポート等) 再評価:有</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。</p>
<p>試験の受験資格 レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。</p>
<p>教科書 プリントを使用する。</p>
<p>参考書 『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著、中央公論新社、1979 『時間と自我』／大森荘蔵、青土社、1992 『ナラティブ・メディスン：物語能力が医療を変える』／Rita Charon [著]、斎藤清二、岸本寛史、宮田靖志、山本和利 訳、医学書院、2011 『ナラティブ・ベイスト・メディスン：臨床における物語りと対話』／トリシャ・グリーンハル 編集、ブライアン・ハーウィッツ 編集、斎藤 清二 監訳、山本 和利 監訳、岸本 寛史 監訳、金剛出版 『臨床とことば』／河合隼雄、鷺田清一 著、朝日新聞出版、2010 『ナラティブと医療』／江口重幸、斎藤清二、野村直樹 編、金剛出版、2006 『ほんとうの構造主義：言語・権力・主体』／出口顯 著、NHK 出版、2013 物と心／大森荘蔵 著、筑摩書房、2015</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>連絡先 土佐 朋子:tosa.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30 管理研究棟 2 階文学研究室</p>

時間割番号	000702																																												
科目名	主題別選択Ⅱ(いのちと医療の歴史学)																																												
担当教員	田中 智彦																																												
開講時期	前期	対象年次	3																																										
<p>◇ 曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>◇ 対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																													
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちの「ものの見方」は、私たちが思っている以上に、私たちの言語・文化・歴史に影響され、制約されています。「いのち」や「医学・医療」についても例外ではありません。それどころか、この二つのうちにこそ私たち現代人の「ものの見方」が典型的に映し出されている、と言っても過言ではないほどです。しかし他方で、そうした「ものの見方」はふだん「当たり前」のこととして通用しているのです、そこからは何がどのように見えているのか、そしてまた見えていないのかは、なかなか問われることがありません。</p> <p>あらためてそのような問いを立て、それを歴史の観点から考察してゆくのがこの授業です。他の人びとは別にしても、「医学・医療」を志し、「いのち」に関わることを一生の仕事にしようとするのなら、せめて一度なりともそのような問いに取り組んでみる必要があるでしょう。この授業ではそうした機会を提供するべく、「授業詳細日程」に記すような論点について検討してゆきます。</p>																																													
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)上記の試みをつうじて、近代以降の「いのち」へのまなざしの変遷とその問題点とについて理解を深めること。</p> <p>(2)それとともに、近代以降の医学・医療の展開における問題点をも省みることのできる視点を得ること。</p>																																													
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>医師の「誕生」</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>医学と近代国家(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>医学と近代国家(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「優れた生」の思想と実践(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「優れた生」の思想と実践(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「優れた生」の思想と実践(3)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医師の「誕生」	田中 智彦	2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(1)	田中 智彦	3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(2)	田中 智彦	4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(1)	田中 智彦	5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(2)	田中 智彦	6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(3)	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																								
1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医師の「誕生」	田中 智彦																																								
2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(1)	田中 智彦																																								
3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	医学と近代国家(2)	田中 智彦																																								
4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(1)	田中 智彦																																								
5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(2)	田中 智彦																																								
6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「優れた生」の思想と実践(3)	田中 智彦																																								

			習室 5-3, 医学 科演習室 5-4	践(3)	
7	5/24	10:05-10:55	医学科演 習室 5-3, 医学 科演習室 5-4	「いのち」の歴史と日本	田中 智彦
8	5/31	10:05-10:55	医学科演 習室 5-3, 医学 科演習室 5-4	過去と未来の間で	田中 智彦
授業方法					
<p>授業はセミナー形式で行う予定です。</p> <p>教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。</p>					
授業内容					
「授業詳細日程」にある通り					
成績評価の方法					
この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします。					
◇評価: レポート 80%					
その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など)					
◇再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。					
試験の受験資格					
◇ レポートの提出資格: 原則として7回中5回以上の出席					
教科書					
教科書はありません。毎回レジュメを配布します。					
参考書					
参考書等は授業の中で随時紹介します。					
履修上の注意事項					
出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。					
連絡先					
田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
田中 智彦: 毎週金曜日 12:30~13:30 管理研究棟 2階 哲学研究室					

時間割番号	000734																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(ディアスポラ(離散社会)の言語と文学)																																															
担当教員	高尾 千津子																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医・歯学科 受講資格:「文化と人間」言語と人間」選択者 募集人数:20人</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 ディアスポラとは本国を持たない、あるいは本国から遠く離れた離散社会を意味する。ユーラシアの西の「半島」であるヨーロッパには、様々な独自の言語を持つ民族的、宗教的マイノリティが存在した。しばしば変わる国境線、人口の移動は、さらに新たなディアスポラを生み、それは社会の緊張要因ともなったが、同時に多様な社会と文化、文学を生み出した。授業では、ヨーロッパの少数派言語と多言語社会の歴史と現状を紹介し、こうしたディアスポラの言語のもつ意味を考える。</p>																																																
<p>授業の到達目標 人類の言語の多様性が持つ意味を知る。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 11</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 11	高尾 千津子																																												
<p>授業方法 講義形式</p>																																																
<p>授業内容 1ディアスポラの言語 2ヨーロッパと多言語主義 3少数言語と「言語戦争」 4「ジャルゴン」 蔑まれた言語 5「死語」を復活させる</p>																																																

<p>6共通言語の試み 7 에스ペ란토語を学ぶ</p>
<p>成績評価の方法 評価：試験 0% ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有(再評価方法)</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。</p>
<p>教科書 授業でプリントを配布する。</p>
<p>参考書 田中克彦『エスペ란ト—異端の言語』岩波新書、2007年。 ショーレム・アレイヘム、西成彦訳『牛乳屋テヴィエ』岩波文庫。 ロバート・セントジョン、島野信宏訳『ヘブライ語の父ベン・イエフダー』ミルトス、2000年。 西成彦『イディッシュ 移動文学論』作品社、1995年。</p>
<p>履修上の注意事項 3分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。</p>

時間割番号	000703																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(スポーツと心)																																															
担当教員	水野 哲也																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
<p>曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 3年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1-7)人間の心への理解を深める 別表1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 本授業では、競技スポーツにおける心をテーマにいくつかの視点からこれまでに提示された理論を紹介し、スポーツにおける心の問題を考えます。また、授業の後半では受講者各自が考える「スポーツと心」について発表し、その中身について共に考えます。</p>																																																
<p>授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか?を実践的に学ぶことです。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと心」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																												
<p>授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その中で実習形式の内容がいくつかある。また後半は、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。</p>																																																
<p>授業内容 「スポーツと心の関係性」、「リラックスと集中」、「メンタルタフネス」、「動機づけ」、「ピークパフォーマンス」などを取り上げる予定ですが、受講者の発表を優先し、共に考え、意見交換することを重視します。</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価:出席30%、各授業時の参加度20%、レポート50% 再評価:有</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																
<p>準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体的、能動的な取り組みによって、主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められます。よって、発表の内容をしっかりと準備してください。</p>																																																

<p>試験の受験資格</p> <p>本授業は、原則全授業の 2/3(全 7 回のうち 5 回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。</p>
<p>参考書</p> <p>最新スポーツ心理学：その軌跡と展望／日本スポーツ心理学会 編：大修館書店, 2004 実践メンタルタフネス／ジム・レーヤー 著、ジェフリー・ミグドゥ 著、小林 信也 訳：TBSブクタニカ ピークパフォーマンス／チャールズ・A・ガーフィールドほか：ベースボール・マガジン社, 1988</p>
<p>他科目との関連</p> <p>1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。</p>
<p>連絡先</p> <p>水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ~ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室</p>

時間割番号	000704					
科目名	主題別選択Ⅱ(フランス文学を読む)					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	3			
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通した人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6)優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7)人間の心への理解を深める</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>16世紀から現代に至るまでのフランス文学から、幾つかの作品の抜粋を読んでいます。フランス語の原文と共に、日本語訳を配付して解説しますので、フランス語履修者でなくても、文学やフランス文化に興味があれば受講できます。文学には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、言語活動が現実の「再現」である以上、そこに「自然」のままの現実の表現はありません。語り、時間、空間等に関する、時代や文化によっても変わるさまざまな約束事の中で、言語表現は成立します。また、どの「現実」を切り取り、言語として表現するかも時代によって変化します。この授業では、文学作品を通して文化や時代の中での「言語表現」を意識していただきたいと思います。</p>						
授業の到達目標						
<p>1)フランス文学のニュアンス・表現を味わう。</p> <p>2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。</p> <p>3)文学作品の、時代や文化による表現の違いを意識する。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	イントロダクション パ スカル モンテーニュ	フランス文学概観 モラリスト文 学 文学と哲学	中島 ひかる
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	モリエール ラシーヌ	フランス古典劇	中島 ひかる
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	スタンダール バルザ ック	心理分析 社会の描写 19世紀 と小説	中島 ひかる
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	ラクロ	書簡体文学	中島 ひかる
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	ルソー	自伝文学	中島 ひかる
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	プルースト	語り 時間	中島 ひかる
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	カミュ バルト	現代文学・批評	中島 ひかる
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	まとめ	意見交換	中島 ひかる
授業方法						
<p>講義と意見交換による。</p> <p>毎回、幾つかの文学作品の抜粋を講読します。あらかじめ、作品に目を通して頂いた後、教員が作品の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説します。それを聞いた後、各自の感想を述べて頂き受講者の中で意見交換を行います。</p>						
授業内容						
<p>8回の授業ですので、フランス文学を網羅的に扱うことはできませんが、フランス文学の概要がわかるように代表的な文学作品とりあげます。以下の予定は受講者の興味により変更することもあります。</p> <p>1)パスカル、モンテーニュ(モラリスト文学)</p>						

<p>2) モリエール、ラシーヌ(フランス古典劇)</p> <p>3) ラクロ(書簡体文学)</p> <p>4) ルソー(自伝文学)</p> <p>5) スタンダール、バルザック(19世紀の社会と小説)</p> <p>6) プルースト(時間の表現)</p> <p>7) カミュ(現代文学)</p> <p>8) バルト(現代批評)</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価: 試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度)</p> <p>再評価: 有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがって下さい)</p> <p>フランス文学の中から作品を選び、授業で扱った内容を参考にしながら、自分なりに分析して頂くことで成績を評価します。授業中に発言を求めますので、それについても20%まで評価します。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、解説記事を写すのではなく、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析したレポートを高く評価します。</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>初回の導入以外は、毎回、次回に扱う教材をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書</p> <p>プリントを配付する</p>
<p>参考書</p> <p>危険な関係／ラクロ 失われた時を求めて／プルースト 異邦人／カミュ 赤と黒／スタンダール 告白／ルソー パンセ／パスカル ペルシャ人の手紙／モンテスキュー エッセー／モンテーニュ ゴリオ爺さん／バルザック 嫉妬／アラン・ロブ＝グリエ</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>
<p>連絡先</p> <p>中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>中島 ひかる:毎週月曜 16:30～18:00 教養部管理研究棟3階フランス語研究室</p>

時間割番号	000705																																																		
科目名	主題別選択Ⅱ(ドイツとヨーロッパの社会)																																																		
担当教員	シンチンガー エミ																																																		
開講時期	前期	対象年次	3																																																
<p>・前期前半</p> <p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d4 単位を持っていること</p> <p>・募集人数:2年生とあわせて20人</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する</p> <p>別表1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p> <p>別表3-5)国際情勢を理解する</p>																																																			
<p>主な講義場所</p> <p>湯島キャンパス</p> <p>3号棟4階演習室4-11, 12</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ドイツ語で書かれた教科書を読みながら、ドイツとヨーロッパの社会について学んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません!</p> <p>ドイツ政府やEUのホームページも見えていきます。時間があれば、DVDも見ます。毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。</p>																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>ドイツの地理と社会について教科書で読んでから、ドイツ政府とEUについても学び、「ドイツ再統一」に至った経緯について学ぶことが目標です。</p>																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>休講</td> <td>休講</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>休講</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会1</td> <td>オリエンテーション:ドイツとヨーロ ッパについてのクイズをやってから、教科書第1課を読んで訳して いきます。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>生協で教科書を 購入しておくこと: 「ドイツとドイツ語 を話す国々」朝日 出版;次回に向け て:教科書第2課 を予習しておく。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会2</td> <td>教科書第2課を読んで訳していく。 ドイツ政府のホームページを見 て、原文を読んで訳していく。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>次回に向けて:教 科書第3課を予習 しておく。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会3</td> <td>教科書第3課を読んで訳していく。 EUのホームページを見て、原文 を読んで訳していく。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>次回に向けて:教 科書第4課の前 半(9~10ペー ジ)を予習しておく。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナー室1</td> <td>ドイツとヨーロッパの社 会4</td> <td>教科書第4課の前半を読んで訳し ていく。ドイツ再統一がどのように 始まったのかについてのドキュメ ンタリーのDVDも見始める。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>次回に向けて:教 科書第4課の続 き(10~11ペー ジ?)を予習して</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	休講	休講	シンチンガー エミ	休講	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会1	オリエンテーション:ドイツとヨーロ ッパについてのクイズをやってから、教科書第1課を読んで訳して いきます。	シンチンガー エミ	生協で教科書を 購入しておくこと: 「ドイツとドイツ語 を話す国々」朝日 出版;次回に向け て:教科書第2課 を予習しておく。	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会2	教科書第2課を読んで訳していく。 ドイツ政府のホームページを見 て、原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教 科書第3課を予習 しておく。	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会3	教科書第3課を読んで訳していく。 EUのホームページを見て、原文 を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教 科書第4課の前 半(9~10ペー ジ)を予習しておく。	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会4	教科書第4課の前半を読んで訳し ていく。ドイツ再統一がどのように 始まったのかについてのドキュメ ンタリーのDVDも見始める。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教 科書第4課の続 き(10~11ペー ジ?)を予習して
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	休講	休講	シンチンガー エミ	休講																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会1	オリエンテーション:ドイツとヨーロ ッパについてのクイズをやってから、教科書第1課を読んで訳して いきます。	シンチンガー エミ	生協で教科書を 購入しておくこと: 「ドイツとドイツ語 を話す国々」朝日 出版;次回に向け て:教科書第2課 を予習しておく。																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会2	教科書第2課を読んで訳していく。 ドイツ政府のホームページを見 て、原文を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教 科書第3課を予習 しておく。																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会3	教科書第3課を読んで訳していく。 EUのホームページを見て、原文 を読んで訳していく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教 科書第4課の前 半(9~10ペー ジ)を予習しておく。																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナー室1	ドイツとヨーロッパの社 会4	教科書第4課の前半を読んで訳し ていく。ドイツ再統一がどのように 始まったのかについてのドキュメ ンタリーのDVDも見始める。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教 科書第4課の続 き(10~11ペー ジ?)を予習して																																												

							おく。
6	5/17	10:05-10:55	共用セミナー室1	ドイツとヨーロッパの社会5	教科書第4課の続きを読んで訳していく。ドキュメンタリーのDVDの続きも見っていく。	シンチンガー エミ	次回に向けて:教科書第4課を最後まで(12~13ページ)予習しておく。
7	5/24	10:05-10:55	共用セミナー室1	ドイツとヨーロッパの社会6	教科書第4課を最後まで読んで訳していく。ドキュメンタリーのDVDの続きも見られるところまで見る。	シンチンガー エミ	試験準備:初回の「ドイツクイズ」を見直しておく。教科書とプリントで読んだところを復習しておく。ドイツ再統一に至る経緯についても考えておく。
8	5/31	10:05-10:55	共用セミナー室1	ドイツとヨーロッパの社会7	試験	シンチンガー エミ	遅刻・欠席をしないこと。

授業方法

セミナー形式; 毎回教科書を読んで訳してから、ドイツ政府や EU のホームページの内容を読みます。時間があればドキュメンタリー映像も見ます。

授業内容

初回:オリエンテーション、第1課 (1ページ)

第2回~第3回:第2課と第3課 (3ページと6ページ)

第4回~第6回:第4課(9~13ページ)を読みながら、ドイツ再統一に至った経緯を考えます。インターネット、DVDも使用する予定。

第7回:理解の度合いを調べるため、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。

試験が50パーセント。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時に使った文法と会話の教科書を復習しておくとういことです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

ドイツとドイツ語を話す国々に/Heinz Griesbach [著]松本嘉久 編:朝日出版社, 1994

教科書のほかに独自のプリントなど様々な教材を使用します。

それらは授業中に配布されますので注意してください。

参考書

新現代独和辞典/ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008

アポロン独和辞典/根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆:同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いため、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

4月5日は休講となりますので、第1回目は4月12日となります。注意してください。 毎回出欠を取ります。 毎回教科書と電子辞書か独和辞典を持ってきてください。毎回決められた範囲を予習してきてください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000707			
科目名	主題別選択Ⅱ(音声と音楽の数理)			
担当教員	中口 悦史			
開講時期	前期	対象年次	3	
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):1-1), 2-1), 2-3), 4-4)				
授業の目的、概要等				
音は空気等の振動・波動という物理現象であるが、そこに人間にとって意味のある情報が含まれることで、人間のコミュニケーションが成立し文化が営まれる。人体から発せられる音声に言葉が載せられることによって、人間の会話が生まれる。また音楽は、音が規則的かつ調和的に構成されたものである。それらの数学的構造や数理モデルについて考察する。				
授業の到達目標				
音の発生・伝播・記録と音声通信・会話の物理的・生理的原理を理解する。 音楽のもつ数学的構造を知る。				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/5	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
2	4/12	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
3	4/19	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
4	4/26	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
5	5/10	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
6	5/17	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
7	5/24	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
8	5/31	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
授業方法				
講義と議論を交えながら授業を進める。				
授業内容				
音・音声・音楽を物理的・生理的・数学的などさまざまな側面から学習する。				
授業計画				
(1) 音と人間の関わり				
(2) 音の発生・伝播・検知				
(3) 人間の発声と聴音				
(4) 音声信号の数学解析				
(5) 音声信号のデジタル化				
(6) 音楽の楽典の数理				
(7) モデルとしての楽譜				
(8) まとめ				
成績評価の方法				
評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20%				
再評価：有				
レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。				

「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業回数の3分の2回以上の出席。
教科書 教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。
参考書 振動・波動／小形正男 著、裳華房、1999 音律と音階の科学：ドレミ…はどのようにして生まれたか／小方厚 著、講談社、2007 音のなんでも小事典：脳が音を聴くしくみから超音波顕微鏡まで／日本音響学会 編、講談社、1996 音楽の基礎／芥川也寸志 著、岩波書店 和声の歴史／オリヴィエ・アラン 著、永富正之 共訳、二宮正之 共訳、白水社、1987 音楽と言語／T.G.ゲオルギアース 著、木村敏 訳、講談社、1994 歌声の科学／ヨハン・スンドベリ 著、榎原健一 監訳、伊藤みか、小西知子、林良子 訳、東京電機大学出版局、2007 音響工学／城戸健一、コロナ社、1982 音楽入門：音楽鑑賞の立場／伊福部昭 著、全音楽譜出版社、2003
履修上の注意事項 出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。
連絡先 中口 悦史 nakaguti.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 中口 悦史 月・水 12:00～13:00、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける

時間割番号	000736																																																																	
科目名	主題別選択Ⅱ(医歯系のための物理)																																																																	
担当教員	檜枝 光憲																																																																	
開講時期	前期	対象年次	3																																																															
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																																		
<p>授業の目的、概要等 医療は物理学と大いに関係しています。例えば、人体の動きや歯の矯正治療は力学が関係しており、医療でお馴染みの X 線、MRI、レーザーなど現代医療技術は物理学者によって発見されました。本授業は講義形式で進め、医歯学に関係した物理について理解を深めていきます。</p>																																																																		
<p>授業の到達目標 医歯学に関係した物理を習得する。</p>																																																																		
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第1回</td> <td>力学</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第2回</td> <td>流体</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第3回</td> <td>熱</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第4回</td> <td>音</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第5回</td> <td>光</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第6回</td> <td>磁気</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第7回</td> <td>放射線</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室 2</td> <td>第8回</td> <td>まとめ</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学	檜枝 光憲	2	4/12	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体	檜枝 光憲	3	4/19	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱	檜枝 光憲	4	4/26	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音	檜枝 光憲	5	5/10	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光	檜枝 光憲	6	5/17	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気	檜枝 光憲	7	5/24	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線	檜枝 光憲	8	5/31	10:05-10:55	医学科講義室 2	第8回	まとめ	檜枝 光憲
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																												
1	4/5	10:05-10:55	医学科講義室 2	第1回	力学	檜枝 光憲																																																												
2	4/12	10:05-10:55	医学科講義室 2	第2回	流体	檜枝 光憲																																																												
3	4/19	10:05-10:55	医学科講義室 2	第3回	熱	檜枝 光憲																																																												
4	4/26	10:05-10:55	医学科講義室 2	第4回	音	檜枝 光憲																																																												
5	5/10	10:05-10:55	医学科講義室 2	第5回	光	檜枝 光憲																																																												
6	5/17	10:05-10:55	医学科講義室 2	第6回	磁気	檜枝 光憲																																																												
7	5/24	10:05-10:55	医学科講義室 2	第7回	放射線	檜枝 光憲																																																												
8	5/31	10:05-10:55	医学科講義室 2	第8回	まとめ	檜枝 光憲																																																												
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																																		
<p>授業内容 1. 医歯系のための物理 1:力学 2. 医歯系のための物理 2:流体 3. 医歯系のための物理 3:熱 4. 医歯系のための物理 4:音 5. 医歯系のための物理 5:光 6. 医歯系のための物理 6:磁気 7. 医歯系のための物理 7:放射線 8. まとめ</p>																																																																		
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらう演習内容(小レポート)によって評価する。 評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20% 再評価: 無</p>																																																																		
<p>成績評価の基準</p>																																																																		

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。
参考書 生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著,曾我部正博 監訳,吉村建二郎 編集協力: 共立出版, 2015 物理学入門から医用物理へ : 超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著,:ブイツーソリューション, 2013 医療系のための物理／佐藤幸一, 藤城敏幸 著,:東京教学社, 2013
履修上の注意事項 原則 2/3 以上の出席が必要。 出欠管理システムより、教員自身が取る出欠を優先させる。
連絡先 檜枝 光憲,hieda.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 檜枝 光憲,毎週金曜日 16:30～17:30 ヒポ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000709																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(物理数学演習)																																																										
担当教員	越野 和樹																																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																																								
<p>・曜日・時間:時間割を参照のこと</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表2-1)</p> <p>別表4-2)</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第1回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第2回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第3回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第4回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第5回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>第6回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学</td> <td>第7回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第1回	物理数学演習	越野 和樹	2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第2回	物理数学演習	越野 和樹	3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第3回	力学演習	越野 和樹	4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第4回	力学演習	越野 和樹	5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第5回	力学演習	越野 和樹	6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹	7	5/24	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学	第7回	電磁気学演習	越野 和樹
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第1回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第2回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第3回	力学演習	越野 和樹																																																					
4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第4回	力学演習	越野 和樹																																																					
5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第5回	力学演習	越野 和樹																																																					
6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					
7	5/24	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学	第7回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					

			科演習室 4-12				
8	5/31	10:05-10:55	医学科演 習室4- 11, 医学 科演習室 4-12	第8回	電磁気学演習	越野 和樹	
授業方法							
各講義の前半に基礎知識の確認を行い, 後半を試験とする。							
授業内容							
<ul style="list-style-type: none"> ・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習 							
成績評価の方法							
評価: 試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%							
成績評価の基準							
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による							
準備学習などについての具体的な指示							
特別な準備は必要ないが, 講義前半の基礎知識確認に集中すること。							
参考書							
「詳解物理応用数学演習」後藤憲一ほか 共立出版							
履修上の注意事項							
数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。							
連絡先							
越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
越野 和樹: 毎週月曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 4階							

時間割番号	000706																																																								
科目名	主題別選択Ⅱ(科学と疑似科学の境界)																																																								
担当教員	奈良 雅之																																																								
開講時期	前期	対象年次	3																																																						
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-2)社会制度や仕組みについて基本を理解する</p> <p>1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>4-2) 生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等</p> <p>巷には「プラズマクラスターイオン」、「パワーストーン」、「活性水素水」「ホメオパシー」など科学的な根拠がないもの、曖昧なもので溢れています。大学生の科学的な知識があれば、このようなニセ科学(疑似科学)に属するものには絶対だまされるはずはないと過信しがちですが、科学とニセ科学の間に明確な境界線があるわけではなく、白黒がはっきりつかないことがしばしばです。この授業では、社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。受講者にはできるだけ授業に参加できるように、発言、発表する機会を設けたいと思います。</p>																																																									
<p>授業の到達目標</p> <p>授業の関連したテーマを見つけて、そのテーマの基づいて理解を深める</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>越野 和樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>越野 和樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>越野 和樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>越野 和樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>越野 和樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室1</td> <td>越野 和樹</td> <td>共用講義室1に変更となります。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>越野 和樹</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>越野 和樹</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	4/5	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹		2	4/12	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹		3	4/19	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹		4	4/26	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹		5	5/10	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹		6	5/17	10:05-10:55	共用講義室1	越野 和樹	共用講義室1に変更となります。	7	5/24	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹		8	5/31	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹	
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																																				
1	4/5	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹																																																					
2	4/12	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹																																																					
3	4/19	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹																																																					
4	4/26	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹																																																					
5	5/10	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹																																																					
6	5/17	10:05-10:55	共用講義室1	越野 和樹	共用講義室1に変更となります。																																																				
7	5/24	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹																																																					
8	5/31	10:05-10:55	共用講義室2	越野 和樹																																																					
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加して頂き、2年生を引っ張ってほしいと思います。</p>																																																									
<p>授業内容</p> <p>社会問題としてインパクトの強かった疑似科学のトピックをいくつか選び、科学と疑似科学のグレーゾーンについて理解を深めます。科学的な側面から基礎事項を確認するとともに、文化、制度の面からも考えていきます。</p>																																																									
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験0%・レポート80%</p> <p>その他20%(授業への参加度・授業中の回答状況)</p> <p>再評価:有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																																									
<p>成績評価の基準</p>																																																									

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習: 配付資料、関連資料に目を通してください。 復習: 興味のある項目について、文献を調べてください。
試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)
教科書 なぜ疑似科学が社会を動かすか／石川幹人: PHP 新書, 2016
参考書 嘘と絶望の生命科学／榎木英介 著.: 文藝春秋, 2014 メディア・バイアス あやしい健康情報とニセ科学／松永和紀 著.: 名古屋市鶴舞中央図書館点字文庫, 2010 科学と人間の不協和音／池内了 [著].: 角川書店, 2012 活性酸素／高柳 輝夫 編,大坂 武男 編,大坂 武男 [[ほか]共著,日本化学会 監修.: 丸善 博士漂流時代: 「余った博士」はどうか?／榎木英介 [著].: ディスカヴァー・トゥエンティワン, 2010 水素水とサビない身体／太田成男 著.: 小学館, 2013 疑似科学入門／池内 了 著.: 岩波書店, 2008
連絡先 nara.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000711																																																								
科目名	主題別選択Ⅱ(食品の科学)																																																								
担当教員	澤野 頼子																																																								
開講時期	前期	対象年次	3																																																						
<p>曜日・時間:木曜日・2時限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:24名(主題別選択Ⅰ(食品の科学)と合わせて) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表2-1)自然現象を科学的に探究するための方法論を知る。</p>																																																									
<p>授業の目的、概要等 食品は私たちの健康や生命を維持するために欠かすことのできない大切なものである。人間にとって食品とは、身体の形成やエネルギー供給源として働く「栄養素」を与えるだけのものではない。「おいしさ」や「安全性」を兼ね備え、健康の維持や疾病の予防に有効な「機能性(生体調節機能)」をもたらすものでもある。そして、「食生活」、「食文化」という言葉が表すように、食は人類の進化の歴史の中で、生活環境や文化と密接に関連し、変遷を遂げてきた。本授業では、食の歴史的背景、食品成分の化学的性質を学び、食品の様々な側面についての理解を深めることを目的とする。</p>																																																									
<p>授業の到達目標 食品を文化的、歴史的、および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。</p>																																																									
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第1回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第2回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第3回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第4回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第5回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第6回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第7回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>第8回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室3	第1回	澤野 頼子	2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室3	第2回	澤野 頼子	3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室3	第3回	澤野 頼子	4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室3	第4回	澤野 頼子	5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室3	第5回	澤野 頼子	6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室3	第6回	澤野 頼子	7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室3	第7回	澤野 頼子	8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室3	第8回	澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																																				
1	4/5	10:05-10:55	大学院講義室3	第1回	澤野 頼子																																																				
2	4/12	10:05-10:55	大学院講義室3	第2回	澤野 頼子																																																				
3	4/19	10:05-10:55	大学院講義室3	第3回	澤野 頼子																																																				
4	4/26	10:05-10:55	大学院講義室3	第4回	澤野 頼子																																																				
5	5/10	10:05-10:55	大学院講義室3	第5回	澤野 頼子																																																				
6	5/17	10:05-10:55	大学院講義室3	第6回	澤野 頼子																																																				
7	5/24	10:05-10:55	大学院講義室3	第7回	澤野 頼子																																																				
8	5/31	10:05-10:55	大学院講義室3	第8回	澤野 頼子																																																				
<p>授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																									
<p>授業内容 食の歴史的背景および食品成分の化学的性質について学ぶ。</p>																																																									
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有</p>																																																									
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																									
<p>準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について参考書やインターネット等により知識の拡充・整理を行い、自分なりの考えをまとめる。</p>																																																									
<p>試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席</p>																																																									

(レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)

参考書

食品の科学／上野川修一, 田之倉優 編:東京化学同人, 2005

食品学：食品成分と機能性／久保田紀久枝, 森光康次郎 編:東京化学同人, 2011

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000712																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(生物の中の糖)																																															
担当教員	勝又 敏行																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 糖は生物の中で構造体、エネルギー源をはじめとして、タンパク質、核酸、脂質などと結合して重要な機能を担っている物質である。糖の化学的性質および生体内での機能を、疾病との関連等最新の知見を交えながら講義形式で紹介していく。最後に自分の興味を持った事柄について調べ、プレゼンテーションを行ってもらう。</p>																																																
<p>授業の到達目標 糖の性質と機能について基礎的な知識を身につける。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	勝又 敏行																																												
<p>授業方法 講義形式および一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																
<p>授業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 糖とは何か 2. 糖の種類、および構造、性質 3. 糖の分析法 4. 植物における糖 5. 人の中の糖1 6. 人の中の糖2 7. 糖と疾病 																																																
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(発表を含む)等 50% アクティブラーニングを取り入れ以上の通りとする。</p>																																																
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																

準備学習などについての具体的な指示

講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。

参考書

コールドスプリングハーバー糖鎖生物学/Ajit Varki [ほか編]鈴木康夫, 木全弘治 監訳:丸善, 2010

連絡先

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000713																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(宇宙と生命)																																															
担当教員	服部 淳彦																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>日本人が次々と宇宙に飛び立つ光景を見て、宇宙がますます身近な存在として感じられた学生さんも多いのではないだろうか。この授業では、宇宙環境、例えば「無(微小)重量状態」や「宇宙放射線」などが、さまざまな生物(ヒトも含めて)に与える影響について簡単に解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらおう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 10	服部 淳彦																																												
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらおう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																																
<p>授業内容</p> <p>宇宙環境と生物(概論)</p> <p>無(微小)重力と生物(1)</p> <p>無(微小)重力と生物(2)</p> <p>宇宙放射線と生物(1)</p> <p>宇宙放射線と生物(2)</p>																																																

宇宙医学(1) 宇宙医学(2)
成績評価の方法 評価:その他 100% 平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。 再評価: 有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。
連絡先 服部 淳彦 ahattori.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)

時間割番号	000714																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(生物間のコミュニケーション)																																															
担当教員	伊藤 正則																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。</p> <p>別表2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物では特定の刺激に対してほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。</p>																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。</p> <p>3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>伊藤 正則</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	伊藤 正則																																												
<p>授業方法</p> <p>講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。</p>																																																
<p>授業内容</p>																																																

<p>生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20% 再評価:有</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。</p>
<p>教科書 資料を配布する。</p>
<p>参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt; Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳; 医学書院, 2005 はじめの一歩のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編; 羊土社, 2012</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先 伊藤 正則, itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 伊藤 正則, 毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000715																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(医療の社会学)																																															
担当教員	藤井 達夫																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
<p>曜日・時間: 木曜 2限 対象学科: 医・歯学科 募集人数: 25人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)、2-4)</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 この授業では、医療テクノロジーの発展の中で、医療が理想とした社会像や医療が実際に可能にした社会の仕組みを取り上げ、批判的に検討します。その上で、医療との関係において、現在の社会がどこに向かおうとしているのかを考えます。具体的には、18世紀から20世紀にかけての近代社会の形成と医療の発展との根深く暗い関係を優生学の観点から議論します。さらに、20世紀後半に登場する新しい優生学の影響下で現代の医療が目指す社会像を検討します。今年度は、優生学と障害者問題にも焦点を当てる予定です。</p>																																																
<p>授業の到達目標 (1)人文科学・社会科学的な考察から得られる医療に対する知見を深めることができる。 (2)社会のあり方やその仕組みに位置付けて医療の抱える問題を発見し、解決を模索するための視座を得ることができる。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室5	藤井 達夫																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。</p>																																																
<p>授業内容 第1回 医療が描く理想社会 第2回 医療と優生学 第3回 健康優良者からなる社会——ナチス・ドイツの例 第4回 健康優良者からなる社会——日本の例 第5回 現代の優生学とそのユートピア 第6回 生命が廃棄される社会における障害者 第7回 『青い芝の会』と障害者の自己決定権 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価: 有(再評価方法)レポート</p>																																																
<p>成績評価の基準</p>																																																

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。
教科書 教科書は使用しません。
参考書 ハクスレー『素晴らしい新世界』(講談社文庫、1974年) カズオ・イシグロ『わたしを離さないで』(ハヤカワ epi 文庫、2008年) ジグムント・バウマン『近代とホロコースト』(大月書店、2006年) 横塚晃一『母よ！殺すな』(生活書院、2007年) 横田弘『障害者殺しの思想』(現代書館、2015年)
履修上の注意事項 出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000716																																															
科目名	主題別選択Ⅱ(ヒトの脳と言語)																																															
担当教員	時本 楠緒子																																															
開講時期	前期	対象年次	3																																													
<p>曜日・時間: 木曜・2限(10:05-10:55) 対象学科: 医・歯学科 募集人数: 25人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>																																																
<p>授業の目的、概要等 なぜヒトだけが言語を持つのでしょうか。授業の前半では、言語を可能にするヒトの脳構造と心的機能を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を解説します。後半は、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。</p>																																																
<p>授業の到達目標 (1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。 (2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。 (3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p>																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室7</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																												
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室7	時本 楠緒子																																												
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答</p>																																																
<p>授業内容 4月5日 ヒトの脳構造(1) 4月12日 ヒトの脳構造(2) 4月19日 言語獲得の臨界期 4月26日 母語、外国語、手話 5月10日 動物の音声コミュニケーション(1) 5月17日 動物の音声コミュニケーション(2) 5月24日 言語の生物学的起源 5月31日 総括</p>																																																
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 70 % ・ その他(論文紹介)30 % 再評価: 有(レポート提出)</p>																																																

成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に求めません。復習は適宜行ってください。疑問・興味のあるテーマを見つけたら、関連する文献を探してください。レポート課題に使用します。
参考書 講義中に随時紹介します。
履修上の注意事項 レポート提出の資格は、原則として授業回数の2/3以上の出席とします。出欠は、リアクションペーパーの提出により確認します。

時間割番号	000867		
科目名	主題別選択Ⅱ (Explorations in Literature Philosophy and Science)		
担当教員	David Cannell		
開講時期	前期	対象年次	3

曜日・時間: 木曜 2限

対象学科: 医学科歯学科

募集人数: 12人

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):

別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。別表 2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。

授業の目的、概要等

What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
2	4/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
3	4/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
4	4/26	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
5	5/10	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
6	5/17	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
7	5/24	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学	David Cannell

			科演習室 5-2	
8	5/31	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	David Cannell
<p>授業内容</p> <p>What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who then can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.</p> <p>The keywords for this course are reading, discussion, and writing. Since this is primarily a discussion-centered class, faithful attendance and participation will be critical to making it a success for each of us individually and for all of us as a group. Consequently, attendance will be recorded each time we meet.</p> <p>* Note: As a rule, use of electronic devices is not permitted in the classroom.</p>				
<p>成績評価の方法</p> <p>評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%</p> <p>再評価: 有(再評価方法)レポート</p>				
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>必要があれば、授業内で適宜、指示します。</p>				
<p>教科書</p> <p>Most texts will be available as email attachments or handouts.</p>				
<p>備考</p> <p>Participation</p> <p>There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation.</p> <p>Absence policy</p> <p>Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.</p> <p>Journal</p> <p>Notebook, A-5 size</p>				

時間割番号	000810																																						
科目名	主題別選択Ⅱ(学習・記憶と言語)																																						
担当教員																																							
開講時期	前期	対象年次	3																																				
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する 別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																							
<p>授業の目的、概要等 ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。そして、動物は言語、少なくとも「ヒトのような言語」は持たないが、ヒトは主に言語を用いて考え、コミュニケーションをとり、生活している。したがって、言語を用いた情報処理こそがヒトのヒトたる所以である、重要な能力といっても過言ではないであろう。 この授業では、これら「学習・記憶」や「言語」の処理といった脳の高次機能について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。</p>																																							
<p>授業の到達目標 学習・記憶と言語の観点から脳の機能への理解を深める。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4
回	日付	時刻	講義室																																				
1	4/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
2	4/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
3	4/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
4	4/26	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
5	5/10	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
6	5/17	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
7	5/24	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
8	5/31	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4																																				
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答</p>																																							
<p>授業内容 第1回-第4回 学習と記憶 第5回-第7回 言語とコミュニケーション</p>																																							
<p>成績評価の方法 評価 : その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100% 再評価: 有</p>																																							
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																							

準備学習などについての具体的な指示

予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いていただきます。

教科書

プリントを配布する。

参考書

カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳 中村 克樹 監訳: 丸善出版 2013

履修上の注意事項

毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。

時間割番号	000717																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(語り(ナラティブ)と時間)																																																										
担当教員	土佐 朋子																																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																																								
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:「言語と人間」「時間と人間」の主題であること</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>文学は時間芸術であるといわれる。</p> <p>本授業の目的は、作品に展開される「語り」が「時間」をどのように編集しているのかを考察し、「時間」が人間の表現意図にもとづいて創造されるものであることを理解することである。到達目標は、3年次セミナーにおいて、自らの主題にもとづいて問題設定をし解決していくために必要な思考力が、「語り」と「時間」という観点から養われることである。</p>																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>①人間が語る生き物であることの意味を考える土台を築く。</p> <p>②人間の時間認識にとって、言語が重要な役割を果たすことに気づく。</p> <p>③3年次のセミナー論文における問題設定の糸口をつかむ。</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業の開始にあたり、問題提起を行う。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>柿本人麻呂歌に見る時間と語り</td> <td>時間を初めて文学表現に意識的に取り込んだとも言われる人麻呂の表現を考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>現在から過去へ1</td> <td>遠藤周作『海と毒薬』を時間編集に焦点をあてて考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>現在から過去へ2</td> <td>夏目漱石『こころ』を時間編集に焦点をあてて考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>文学に描かれる時間の不可逆性と宿命</td> <td>時間が不可逆的であるからこそ宿命を負うことになる。文学に繰り返し描かれるこの時間のありようについて考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>夢野久作『瓶詰地獄』に見る時間</td> <td>時と語りの関係について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室7</td> <td>過去とは何か。</td> <td>言語と時間との密接な関係について考察する。</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミナー室7	ガイダンス	授業の開始にあたり、問題提起を行う。	土佐 朋子	2	6/14	10:05-10:55	共用セミナー室7	柿本人麻呂歌に見る時間と語り	時間を初めて文学表現に意識的に取り込んだとも言われる人麻呂の表現を考察する。	土佐 朋子	3	6/21	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ1	遠藤周作『海と毒薬』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子	4	6/28	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ2	夏目漱石『こころ』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子	5	7/5	10:05-10:55	共用セミナー室7	文学に描かれる時間の不可逆性と宿命	時間が不可逆的であるからこそ宿命を負うことになる。文学に繰り返し描かれるこの時間のありようについて考察する。	土佐 朋子	6	7/12	10:05-10:55	共用セミナー室7	夢野久作『瓶詰地獄』に見る時間	時と語りの関係について考察する。	土佐 朋子	7	7/19	10:05-10:55	共用セミナー室7	過去とは何か。	言語と時間との密接な関係について考察する。	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/7	10:05-10:55	共用セミナー室7	ガイダンス	授業の開始にあたり、問題提起を行う。	土佐 朋子																																																					
2	6/14	10:05-10:55	共用セミナー室7	柿本人麻呂歌に見る時間と語り	時間を初めて文学表現に意識的に取り込んだとも言われる人麻呂の表現を考察する。	土佐 朋子																																																					
3	6/21	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ1	遠藤周作『海と毒薬』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子																																																					
4	6/28	10:05-10:55	共用セミナー室7	現在から過去へ2	夏目漱石『こころ』を時間編集に焦点をあてて考察する。	土佐 朋子																																																					
5	7/5	10:05-10:55	共用セミナー室7	文学に描かれる時間の不可逆性と宿命	時間が不可逆的であるからこそ宿命を負うことになる。文学に繰り返し描かれるこの時間のありようについて考察する。	土佐 朋子																																																					
6	7/12	10:05-10:55	共用セミナー室7	夢野久作『瓶詰地獄』に見る時間	時と語りの関係について考察する。	土佐 朋子																																																					
7	7/19	10:05-10:55	共用セミナー室7	過去とは何か。	言語と時間との密接な関係について考察する。	土佐 朋子																																																					
<p>授業方法</p> <p>原則として、講義を行い、授業の最後に「学生による授業後小レポート」として、その日の講義を受けて考えたことを書いて提出する形式とする。</p> <p>講義の途中で、できるだけ学生の意見を聞く機会を設ける。</p>																																																											
<p>授業内容</p> <p>複数の文学作品にもとづいて、人間の語りにおける時間編集の諸相を確認する。また、「過去」という時間が、人間の言語活動によって創り上げられることを考察する。扱う作品は、『古事記』『万葉集』などの古典、夏目漱石『こころ』、遠藤周作『海と毒薬』、夢野久作『瓶詰地獄』などを予定している。</p> <p>授業日程に記載した内容は、受講生の興味関心に即して変更する場合がある。</p>																																																											
<p>成績評価の方法</p>																																																											

<p>評価:試験 0%・レポート 80%</p> <p>その他 20% (授業への参加度・授業中の小レポート等)</p> <p>再評価:有</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>作品を自分でよく読むこと。授業で扱う作品に限らず、幅広く作品を読むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>レポート提出には、原則として3分の2以上の出席が必要。</p>
<p>教科書</p> <p>プリントを使用する。</p>
<p>参考書</p> <p>『対象喪失：悲しむということ』／小此木 啓吾／著、中央公論新社、1979</p> <p>『時間と自我』／大森荘蔵、青土社、1992</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。</p>
<p>連絡先</p> <p>土佐 朋子.tosa.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30</p> <p>管理研究棟 2 階文学研究室</p>

時間割番号	000718																																						
科目名	主題別選択Ⅱ(いのちと医療の倫理学)																																						
担当教員	田中 智彦																																						
開講時期	前期	対象年次	3																																				
<p>◇ 曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>◇ 対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-9)市民としての倫理観を養う</p> <p>別表 1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																							
<p>授業の目的、概要等</p> <p>倫理と法は別のものです。しかしながら今日、「生命倫理」として語られることがらの多くにあっては、この二つがしばしば混同されがちです。日本のある著名な哲学者をして、一般に「生命倫理」と呼ばれているものは「本来なら生命倫理ではなく、生命法とでも呼ぶべきもの」である、と言わしめるゆえんです。</p> <p>では、そうした倫理と法の混同はなぜ生じるのでしょうか。どのような帰結をもたらすのでしょうか。また、名ばかりではない「生命倫理」、つまり「生命法」ではない「生命倫理」があるとしたら、そこでは「いのち」や「医学・医療」をめぐる何が語られ、そして私たちには何が求められることになるのでしょうか。</p> <p>この授業では「授業詳細日程」に記すような論点を通して、それら一連の問いを考察してゆきます。それはまた、「生命倫理」の現在を批判的に読み解き、未来を模索する試みともなるでしょう。</p>																																							
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)上記の試みをつうじて、「医学・医療において倫理的であるとはどういうことか」について理解を深めること。</p> <p>(2)「人間の尊厳」「いのちの尊厳」およびそれらに関連する論点について基本的な理解を得ること。</p>																																							
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>倫理と法、科学技術の境界(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>倫理と法、科学技術の境界(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「いのち」へのまなざしと現代社会(1)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「いのち」へのまなざしと現代社会(2)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4</td> <td>「いのち」へのまなざしと現代社会(3)</td> <td>田中 智彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(1)	田中 智彦	2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(2)	田中 智彦	3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(1)	田中 智彦	4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(2)	田中 智彦	5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(3)	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																		
1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(1)	田中 智彦																																		
2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	倫理と法、科学技術の境界(2)	田中 智彦																																		
3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(1)	田中 智彦																																		
4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(2)	田中 智彦																																		
5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」へのまなざしと現代社会(3)	田中 智彦																																		

6	7/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」をめぐる問いの転回(1)	田中 智彦
7	7/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-3, 医学科演習室 5-4	「いのち」をめぐる問いの転回(2)	田中 智彦
授業方法					
<p>授業はセミナー形式で行う予定です。</p> <p>教科書は使用せず、そのつどレジュメを配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。</p>					
授業内容					
「授業詳細日程」にある通り					
成績評価の方法					
この授業はセミナー形式をとり、受講者にみずから考えることを求めます。そのことから、成績評価の方法は次の通りとします。					
◇評価: レポート 80%					
その他 20% (出席状況、コメントシートへの回答など)					
◇再評価: 有(レポート)					
成績評価の基準					
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による					
準備学習などについての具体的な指示					
授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。					
試験の受験資格					
◇ レポートの提出資格: 原則として7回中5回以上の出席					
教科書					
教科書はありません。毎回レジュメを配布します。					
参考書					
参考書等は授業の中で随時紹介します。					
履修上の注意事項					
出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。					
連絡先					
田中 智彦: tanaka.las@tmd.ac.jp					
オフィスアワー					
田中 智彦: 毎週金曜日 12:30~13:30 管理研究棟2階 哲学研究室					

時間割番号	000735																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(ディアスポラの文化)																																										
担当教員	高尾 千津子																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科: 医・歯学科 受講資格:「文化と人間」「言語と人間」選択者 募集人数:20人</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 現代のグローバルな人間の移動は、世界各地に新しいディアスポラ文化を生み出している。国を追われた亡命者や難民だけでなく、国際的な労働力の移動という形での移民たちが、この新たな文化の担い手となっている。授業では、移民社会とその文化を紹介し、多文化社会が投げかける問題点を考える。</p>																																											
<p>授業の到達目標 人の移動こともなう文化変容と異文化間の相互理解を重要性を考える。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室3</td> <td>高尾 千津子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子	7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室3	高尾 千津子																																							
<p>授業方法 講義形式</p>																																											
<p>授業内容 1ディアスポラの歴史 2古典的なディアスポラ 1 3古典的なディアスポラ 2 4現代のディアスポラ 1 5現代のディアスポラ 2 6アメリカの移民と文化 7ヨーロッパの移民と文化</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0 % ・ レポート 80 % ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有(再評価方法)</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 授業ごとに参考文献を提示するので読んでおくこと。</p>																																											
<p>教科書 授業でプリントを配布する。</p>																																											

参考書

駒井洋編『ヨーロッパ・ロシア・アメリカのディアスポラ』明石書店、2009年。
有賀夏紀『アメリカの歴史 テーマで読む多文化社会の夢と現実』有斐閣、2003年。
綾部恒雄編『アメリカの民族 ルツボからサラダボウルへ』弘文堂、1992年。
内藤正典『ヨーロッパとイスラーム——共生は可能か』岩波新書、2004年。

履修上の注意事項

3分の2以上の欠席はレポート提出資格を失う。教員による出欠確認を優先する。

時間割番号	000710																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(スポーツと健康)																																										
担当教員	水野 哲也																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
<p>曜日・時間:木曜 対象学科:医学科・歯学科 3年 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1-4)異なる空間の文化を理解する 別表1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 本授業では、生活の身近にある「スポーツ」また「健康」とは何か?、を原点に立ち返って、今一度考えてみたいと思います。授業では、私(水野)の考える「スポーツとは?」、「健康とは?」を述べますが、これは私論です。よって、授業では受講者各自が考える「スポーツ」また「健康」とは? を発表し、その本質について共に考えたいと思います。</p>																																											
<p>授業の到達目標 本授業の最終到達目標は、主題別選択授業のテーマでもある偏らない思考や物の見方をどのようにして身に付けてゆくか?を実践的に学ぶことです。よって、学生各自が本授業の題目である「スポーツと健康」に関する独自のテーマを設定し、それぞれの私論を述べるとともに意見交換し、授業終了後にそれらを基に2000字程度のレポートをまとめることを具体的な到達目標とします。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室6</td> <td>水野 哲也</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室6	水野 哲也																																							
<p>授業方法 授業は発表形式で実施しますが、その学習効果を上げるために学生による発表、討議型の授業を行います。</p>																																											
<p>授業内容 「スポーツとは?」、「健康とは?」、そして「文化とは?」について考え、その後「スポーツは文化か?」、「健康づくりは文化か?」などについて事例やデータを基にも考えます。受講者の主体的な発表が重要で、そのをもとに意見交換をします。</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価:出席30%、各授業時の参加度20%、レポート50% 再評価:有</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 本授業では単に授業に出席して講義を聴くというだけでなく、主体性。能動的に主題(自ら選択したテーマ)について考える積極的な態度や姿勢が求められます。発表の内容をしっかりと準備してください。</p>																																											
<p>試験の受験資格 本授業は、原則全授業の2/3(全7回のうち5回)以上の出席を受験(評価対象)の資格とします。</p>																																											
<p>参考書</p>																																											

痛快みんなのスポーツ学／辻秀一 著：集英社インターナショナル，2001

病気になるらない暮らし事典／本間真二郎：セブン&アイ出版，2016

健康生成力SOCと人生・社会／山崎喜比古山崎ほか：有信堂，2017

他科目との関連

1年次のスポーツ・健康科学並びに保健体育学分野の S 科目との有機的な連携を図ることでより効果が上がるように設計されています。

連絡先

水野 哲也:mizuno.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

水野 哲也:毎週金曜日 AM. 10:30 ~ 12:00 管理研究棟 2階 水野研究室

時間割番号	000720					
科目名	主題別選択Ⅱ(フランス詩を読む)					
担当教員	中島 ひかる					
開講時期	前期	対象年次	3			
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-6)優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7)人間の心への理解を深める</p>						
主な講義場所						
湯島						
授業の目的、概要等						
<p>ルネサンス期から現代にいたるまでのフランスの代表的な詩を講読します。授業では、フランス語の原文と共に、できる限り日本語訳を配付して、言葉のニュアンスや詩の構造を解説していきますので、フランス語履修者でなくても、詩や文学に興味があれば受講できます。フランス語を学習した人は、原語で、使われている単語・表現のニュアンスをできるだけ味わって下さい。</p> <p>詩(文学)には、普遍的な人間の感性が表現されていますが、また一方で、その感性の表現は、時代・文化の刻印を受けて変化もします。現代の若い皆さんの感性で、共感できる部分、理解がたい部分を正直に受け止めることが、詩を味わう出発点となると考えます。その共感や違和感をもとに文化・時代の差を考えていただくこともこの授業の目的です。</p>						
授業の到達目標						
<p>1)フランス詩のニュアンス・表現を味わう。</p> <p>2)文化・時代による感性の表現を自らの感性や表現と比較し、自らを相対化する。</p>						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	序論(概要の説明) ジャック・プレヴェール	中島 ひかる
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ヴェルレーヌ等	中島 ひかる
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ランボー、ボードレー、	中島 ひかる
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ロンサー、アポリネール	中島 ひかる
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	マラルメ、ヴァレリー	中島 ひかる
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	ロマン派	中島 ひかる
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室2	フランス詩を読む	現代詩、意見交換	中島 ひかる
授業方法						
<p>講義と演習による。</p> <p>毎回、2、3篇の詩を講読します。最初に各自に簡単な解釈や感想を述べていただいた後、教員が詩の内容や言葉のニュアンス、時代背景等を解説し、それを聞いた後、どのように感じ方が変わったかを再び話していただきます。</p>						
授業内容						
<p>ロンサー、ラシーヌ、ボードレー、ヴェルレーヌ、ランボー、マラルメ、アポリネール等、できるだけ日本語訳のあるフランス詩を、各時代から幅広く選んで読んでいきます。</p> <p>おおよその予定は以下の通りですが、受講者の反応や希望によって取り上げる詩と順序は変更します。</p> <p>1回目:授業の概要説明、ジャック・プレヴェール</p> <p>2回目:ヴェルレーヌ等</p> <p>3回目:ランボー、ボードレー</p>						

<p>4 回目: ロンサール、アポリネール 5 回目: マラルメ、ヴァレリー 6 回目: ロマン派 7 回目: 現代詩、意見交換</p>
<p>成績評価の方法 評価: 試験(期末考査)0%・レポート80%・ その他 20%(授業への参加度) 再評価: 有(再評価方法 主題別教育運営委員会の指示にしたがってください)</p> <p>授業中のコメント、並びに期末レポートで評価します。レポートは、自分の興味を持った詩(授業中に取り上げた詩でも、それ以外の詩でも構いません)を選び、分析して頂きます。フランス文学への教養も大事ですが、知識の蓄積を目的とする授業ではありませんので、レポート作成にあたっては解説記事を写すのではなく、授業中の教員の解説や他の人のコメントも参考にしながら、選んだ作品に対して、何を感じ、なぜ自分がそう感じたのかを分析して下さい。</p>
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 初回の導入以外は、毎回、次回に扱う詩をあらかじめ配付するので、事前に目を通して、自分なりの解釈や感想をまとめておくこと。</p>
<p>試験の受験資格 2/3以上出席したものに、レポート提出の資格を与える。</p>
<p>教科書 フランス名詩選/安藤元雄, 入沢康夫, 渋谷孝輔 編: 岩波書店, 1998 プリントを配付する</p>
<p>参考書 珊瑚集: 仏蘭西近代抒情詩選/永井 荷風 訳: 岩波書店 上田敏全訳詩集/山内 義雄・矢野峰人 編: 岩波書店 悪の華/ボードレール 著, 鈴木信太郎 著: 集英社 ヴァレリー詩集/ヴァレリー/著, 鈴木 信太郎/訳: 岩波書店, 1979 月下の一群: 訳詩集/堀口大學 訳: 岩波書店, 2013 ロンサール詩集/ピエール・ド・ロンサール/[著], 井上究一郎/訳: 岩波書店, 1989 ランボオ詩集/ランボオ [著], 中原中也 訳: 岩波書店, 2013 地獄の季節/ランボー /作, 小林秀雄/訳: 岩波書店, 2008 ヴェルレーヌ詩集/ヴェルレーヌ [著], 堀口 大学 訳: 新潮社 アポリネール詩集/アポリネール/[著], 堀口大学/訳: 新潮社, 1985</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムの端末がない部屋がほとんどと思われるので、教員が出欠をとります。</p>
<p>連絡先 中島 ひかる:nakashima.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 中島 ひかる:毎週月曜 16:30~18:00 教養部管理研究棟 3階フランス語研究室</p>

時間割番号	000721																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(ドイツとヨーロッパの現在)																																										
担当教員	シンチンガー エミ																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
<p>・前期後半</p> <p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:ドイツ語 a,b,c,d,4 単位を持っていること</p> <p>・募集人数:2年生とあわせて20人</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-3)人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表1-4)異なる空間の文化を理解する</p> <p>別表1-6)優れた芸術作品に触れて感性を高める</p> <p>別表1-7)人間の心への理解を深める</p> <p>別表3-4)外国文化を理解する</p>																																											
<p>主な講義場所</p> <p>湯島キャンパス</p> <p>3号棟4階演習室4-11, 12</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>ベルリンという特別な町について学ぶことによって、ドイツとヨーロッパの現在について考えていきます。具体的には、1986年に初演されてから現在までベルリンで再演され続けている「Linie 1」という、ベルリンの地下鉄を題材にした音楽劇の中から、抜粋した箇所を読んでいきます。原文を読む授業ですので、ドイツ語の4単位を持っていない方は受講できません！</p> <p>毎回予習してきてもらって、ドイツ語を訳していきますので、予習をすることが受講の条件です。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>ベルリンについて学んでから、現代の演劇作品から多くの抜粋箇所を読むことが目標です。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在1</td> <td>オリエンテーション:ベルリンとこの作品について:教員の説明の後、プリントを読んで訳していく。その後作品のプリントから、最初の詩を読んで訳していく。どの詩をどの順番で読むか話し合う。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってきてください。毎回予習する範囲が指定されます。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在2</td> <td>一つ目の詩を読み終わったら、二つ目の詩を読んで訳し始める。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。指定された範囲を予習しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在3</td> <td>二つ目の詩を読み終わったら、三つ目の詩を読んで訳し始める。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。指定された範囲を予習しておくこと。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室4-11, 医学</td> <td>ドイツとヨーロッパの現在4</td> <td>三つ目の詩を読み終わったら、四つ目の詩を読んで訳し始める。</td> <td>シンチンガー エミ</td> <td>毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考	1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	ドイツとヨーロッパの現在1	オリエンテーション:ベルリンとこの作品について:教員の説明の後、プリントを読んで訳していく。その後作品のプリントから、最初の詩を読んで訳していく。どの詩をどの順番で読むか話し合う。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってきてください。毎回予習する範囲が指定されます。	2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	ドイツとヨーロッパの現在2	一つ目の詩を読み終わったら、二つ目の詩を読んで訳し始める。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。指定された範囲を予習しておくこと。	3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	ドイツとヨーロッパの現在3	二つ目の詩を読み終わったら、三つ目の詩を読んで訳し始める。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。指定された範囲を予習しておくこと。	4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学	ドイツとヨーロッパの現在4	三つ目の詩を読み終わったら、四つ目の詩を読んで訳し始める。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考																																				
1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	ドイツとヨーロッパの現在1	オリエンテーション:ベルリンとこの作品について:教員の説明の後、プリントを読んで訳していく。その後作品のプリントから、最初の詩を読んで訳していく。どの詩をどの順番で読むか話し合う。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってきてください。毎回予習する範囲が指定されます。																																				
2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	ドイツとヨーロッパの現在2	一つ目の詩を読み終わったら、二つ目の詩を読んで訳し始める。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。指定された範囲を予習しておくこと。																																				
3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学科演習室4-12	ドイツとヨーロッパの現在3	二つ目の詩を読み終わったら、三つ目の詩を読んで訳し始める。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。指定された範囲を予習しておくこと。																																				
4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室4-11, 医学	ドイツとヨーロッパの現在4	三つ目の詩を読み終わったら、四つ目の詩を読んで訳し始める。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、できれば電子辞書を持ってくること。																																				

			科演習室 4-12				指定された範囲 を予習しておくこ と。
5	7/5	10:05-10:55	医学科演 習室 4- 11, 医学 科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現 在5	四つ目の詩を読み終わったら、五 つ目の詩を読んで訳し始める。	シンチンガー エミ	毎回独和辞典、で きれば電子辞書 を持っていくこと。 指定された範囲 を予習しておくこ と。
6	7/12	10:05-10:55	医学科演 習室 4- 11, 医学 科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現 在6	五つ目の詩を読み終わったら、六 つ目の詩を読んで最後まで訳す。	シンチンガー エミ	試験準備:今まで 読んで訳した詩 を、全部しっかり 復習しておくこ と。ベルリンと「地 下鉄1号線」につ いて復習しておく こと。
7	7/19	10:05-10:55	医学科演 習室 4- 11, 医学 科演習室 4-12	ドイツとヨーロッパの現 在7	試験	シンチンガー エミ	遅刻、欠席をしな いこと。

授業方法

セミナー形式; 初回はベルリンについてのオリエンテーションで、インターネットのページなど読みます。その次からは作品の一部を原文で読んで訳していきます。

授業内容

初回:ベルリンについてのオリエンテーション、プリント配布

第2回～第6回:「Linie 1」より抜粋を読んでいきます。毎回予習が必要です。1年生で習ったドイツ語より格段に難しいので覚悟が必要です。

第7回:到達したところまでの内容について、試験を行います。

成績評価の方法

毎回予習をしてきて積極的に授業に参加することによる平常点が50パーセント。

試験が50パーセント。

再評価:無

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

・授業中に沢山原文、ドイツ語を読みますので、1年で学んだドイツ語の内容を、授業が始まる前に復習しておいてください。1年生の時の文法と会話の両方の教科書を復習するとよいです。他の参考書や、ラジオやテレビのドイツ語講座も活用するとよいです。

・授業時間が短いため、必ず毎回自宅で作辞書を使い、指定された範囲を予習してきてください。

試験の受験資格

原則3分の2以上出席

教科書

第1回目にプリントを配布

参考書

新現代独和辞典／ロベルト・シンチンゲル, 山本明, 南原実 編:三修社, 2008

アポロン独和辞典／根本道也, 恒吉良隆, 吉中幸平, 成田克史, 福元圭太, 重竹芳江 責任編集執筆, 有村隆広, 新保弼彬, 本田義昭, 鈴木敦典 編集執筆:同学社, 2010

代表的な独和辞典を挙げておきましたが、授業時間が短いので、授業中は電子辞書の方が早く使えるので便利です。もしできるのであれば電子辞書を用意してください。これからもドイツ語を使うのであれば、カシオ Ex-word XD-U7100 がおすすめです。

履修上の注意事項

毎回出欠を取ります。 毎回プリントと電子辞書か独和辞典を持ってきてください。 毎回指定された範囲を予習してきてください。

連絡先

シンチンガー エミ:schinzinger.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

シンチンガー エミ:毎週月曜日 16:30 - 18:00 管理研究棟 3 階研究室

時間割番号	000724			
科目名	主題別選択Ⅱ(情報と人間)			
担当教員	中口 悦史			
開講時期	前期	対象年次	3	
科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-1), 2-1), 2-3), 4-4)				
授業の目的、概要等				
<p>情報化社会と呼ばれる現代において人々は、多種多様な情報に曝され、その扱いに戸惑いながら、それらを受け止めつつ、日々の暮らしを営んでいる。では現代の人々は、溢れる情報からどのように影響を受け、順応しようとしているのか。そもそも情報やコミュニケーションの本質は何か。情報について人文社会科学や工学などさまざまな観点から考察する。</p>				
授業の到達目標				
<p>情報に対して自分なりの視点や立場を持ち、それを他人に説明し、互いに議論することができる。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	6/7	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
2	6/14	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
3	6/21	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
4	6/28	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
5	7/5	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
6	7/12	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
7	7/19	10:05-10:55	医学科講義室1	中口 悦史
授業方法				
<p>講義と議論を交えながら授業を進める。</p>				
授業内容				
<p>前半は講義と演習により、情報の理論的基礎を学習する。 後半は、配付資料を基に、互いに議論しながら、各自の視点で考察を加える。</p>				
授業計画				
<p>(1) 人間・人間社会にとっての情報 (2) 情報伝達のモデル(シャノン, ソシュール) (3) 言語の役割と、非言語情報 (4) 最広義の情報の定義(西垣, 吉田) (5) ネットはリアルかバーチャルか (6) うわさやデマはなぜ広まるか (7) まとめ・情報とは何か</p>				
成績評価の方法				
<p>評価：試験 0%・レポート 80%・その他(授業への参加度) 20% 再評価：有</p> <p>レポートと授業への参加度を総合して成績評価を行う。授業への参加度は、質疑応答や議論への参加の積極性、演習への取り組み具合などにより測る。期末にレポートを課し、この授業の内容に即したテーマに沿って、学生個々の考えを問う。 「試験の受験資格」を満たし、かつレポートを提出したもののみを、評価の対象とする。</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則別表2」による</p>				

<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>毎回の授業計画にあるトピックについて、疑問点などを事前にまとめて、授業に臨むこと。</p>
<p>試験の受験資格</p> <p>授業回数3分の2以上の出席。</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は特に指定しない。資料は適宜配付する。</p>
<p>参考書</p> <p>情報理論／甘利俊一 著、筑摩書房、2011 通信の数学的理論／クロード・E.シャノン、ワレン・ウィーバー 著、植松友彦 訳、筑摩書房、2009 ソシュールと言語学：コトバはなぜ通じるのか／町田健 著、講談社、2004 基礎情報学：生命から社会へ／西垣 通、NTT 出版、2004 心と認知の情報学／石川幹人著、勁草書房、2006-04 ウェブ社会のゆくえ：〈多孔化〉した現実のなかで／鈴木謙介 著、NHK 出版、2013 ケータイ社会論 = Understanding Keitai Society／岡田朋之、松田美佐 編、有斐閣、2012 うわさとは何か：ネットで変容する「最も古いメディア」／松田美佐 著、中央公論新社、2014 絶版の参考書： 吉田民人『情報と自己組織性の理論』東京大学出版会、1990年。ISBN: 9784130092142 西垣通『こころの情報学』筑摩書房、1999年。ISBN: 9784480058041 西垣通『ネットとリアルのあいだ』筑摩書房、2009年。ISBN: 9784480688255</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠確認は出欠管理システムと、授業中の点呼を併用する。</p>
<p>連絡先</p> <p>中口 悦史 nakaguti.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>中口 悦史:月・水 12:00～13:00、いずれも国府台・ヒポ4階研究室にて対応／M2・D2・OE2 には湯島にて担当授業終了後に対応する／電子メールによる質問等は随時受け付ける</p>

時間割番号	000737																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(人体・医療の物理)																																																										
担当教員	檜枝 光憲																																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																																								
<p>曜日・時間:木曜2限 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表2-1)別表2-2)別表2-4) 別表4-2)</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等 生命も含め物質現象は物理学の原理と大いに関係しています。例えば人体の動きや歯の矯正治療は力学、血流の流れは流体力学、また体内に取り込み消費するエネルギーは熱力学の原理に従っています。また、X線、MRI、重粒子線治療など多くの現代医療測定技術は物理学の成果です。本授業は講義形式で進め、人体や歯医学に関係した物理を学んでいきます。</p>																																																											
<p>授業の到達目標 人体・医療に関係した物理を習得する。</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第1回</td> <td>力学と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第2回</td> <td>流体と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第3回</td> <td>熱と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第4回</td> <td>音と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第5回</td> <td>光と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第6回</td> <td>磁気と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科講義室2</td> <td>第7回</td> <td>放射線と人体・医療</td> <td>檜枝 光憲</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	医学科講義室2	第1回	力学と人体・医療	檜枝 光憲	2	6/14	10:05-10:55	医学科講義室2	第2回	流体と人体・医療	檜枝 光憲	3	6/21	10:05-10:55	医学科講義室2	第3回	熱と人体・医療	檜枝 光憲	4	6/28	10:05-10:55	医学科講義室2	第4回	音と人体・医療	檜枝 光憲	5	7/5	10:05-10:55	医学科講義室2	第5回	光と人体・医療	檜枝 光憲	6	7/12	10:05-10:55	医学科講義室2	第6回	磁気と人体・医療	檜枝 光憲	7	7/19	10:05-10:55	医学科講義室2	第7回	放射線と人体・医療	檜枝 光憲
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/7	10:05-10:55	医学科講義室2	第1回	力学と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
2	6/14	10:05-10:55	医学科講義室2	第2回	流体と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
3	6/21	10:05-10:55	医学科講義室2	第3回	熱と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
4	6/28	10:05-10:55	医学科講義室2	第4回	音と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
5	7/5	10:05-10:55	医学科講義室2	第5回	光と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
6	7/12	10:05-10:55	医学科講義室2	第6回	磁気と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
7	7/19	10:05-10:55	医学科講義室2	第7回	放射線と人体・医療	檜枝 光憲																																																					
<p>授業方法 講義と演習</p>																																																											
<p>授業内容 1. 人体・医療と力学 2. 人体・医療と流体 3. 人体・医療と熱 4. 人体・医療と音 5. 人体・医療と光 6. 人体・医療と磁気 7. 人体・医療と放射線</p>																																																											
<p>成績評価の方法 授業の到達目標の達成度を主に授業毎に提出してもらった演習内容(小レポート)によって評価する。</p> <p>評価 : レポート 80 % その他(授業の参加度) 20%</p> <p>再評価: 無</p>																																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 予習として関連の参考書や他の関連図書を探して読むこと。</p>																																																											

参考書

生物学と医学のための物理学／Paul Davidovits 著、曾我部正博 監訳、吉村建二郎 編集協力、共立出版、2015

物理学入門から医用物理へ：超音波、磁気共鳴、X線理解のために／本間康浩 著、ブイツーソリューション、2013

医療系のための物理／佐藤幸一、藤城敏幸 著、東京教学社、2013

履修上の注意事項

原則 2/3 以上の出席が必要。出欠管理システムより、教員自身が取るとる出欠を優先させる。

連絡先

檜枝 光憲 hieda.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

檜枝 光憲 毎週金曜日 16:30～17:30 ヒボ 4F 教員研究室 3

時間割番号	000726																																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(微分方程式演習)																																																										
担当教員	越野 和樹																																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																																								
<p>・曜日・時間:時間割を参照のこと</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表2-1)</p> <p>別表4-2)</p>																																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>私たちはみな、毎日の暮らしの中で物理法則に従って生きています。例えば、自動車の停止距離はスピードの2乗に比例しますが、このことは物理理論によって明快に説明することができます。物理法則は数学(特に微分方程式)を用いて記述されています。本講義では、微分方程式などの物理数学を演習形式で学習します。</p>																																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>問題演習をとおして、数理科学的能力を高めること</p>																																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第1回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第2回</td> <td>物理数学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第3回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第4回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第5回</td> <td>力学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第6回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室 12</td> <td>第7回</td> <td>電磁気学演習</td> <td>越野 和樹</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第1回	物理数学演習	越野 和樹	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第2回	物理数学演習	越野 和樹	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第3回	力学演習	越野 和樹	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第4回	力学演習	越野 和樹	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第5回	力学演習	越野 和樹	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第7回	電磁気学演習	越野 和樹
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																					
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第1回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第2回	物理数学演習	越野 和樹																																																					
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第3回	力学演習	越野 和樹																																																					
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第4回	力学演習	越野 和樹																																																					
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第5回	力学演習	越野 和樹																																																					
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第6回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室 12	第7回	電磁気学演習	越野 和樹																																																					
<p>授業方法</p> <p>各講義の前半に基礎知識の確認を行い、後半を試験とする。</p>																																																											
<p>授業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理数学演習 ・電磁気学演習 ・力学演習 																																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験(期末考査)0%・レポート0%・その他(各講義での小テスト)100%</p>																																																											
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>特別な準備は必要ないが、講義前半の基礎知識確認に集中すること。</p>																																																											

参考書 「詳解物理応用数学演習」 後藤憲一ほか 共立出版
履修上の注意事項 数学・物理学の双方に十分な能力を有することを前提としている。
連絡先 越野 和樹 ikuzak.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 越野 和樹:毎週月曜日 12:00—13:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000727																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(タンパク質科学の光と影)																																										
担当教員	奈良 雅之																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>1-3)人間の歴史的営みを理解する。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p> <p>2-1)自然現象を科学的に理解するための方法論を知る</p> <p>4-2)生命現象・自然現象について総合的に理解するための基礎学力・思考力を身につける</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>我々の生存を支えている生命現象はきわめて複雑で、それにはタンパク質、糖質、脂質、核酸などの多種類の物質が関わっています。それらの物質の中で生命現象の直接的な担い手であるタンパク質に注目が集まっています。21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されました。この授業ではタンパク質研究におけるX線、核磁気共鳴(NMR)、赤外線という電磁波の活用に焦点を当てます。これらの光を活用するために、フーリエ変換という数学的な手法について知り、タンパク質科学の「光と影」について理解を深めます。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>授業に関するテーマを見つけて、そのテーマについて理解を深める</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室3</td> <td>奈良 雅之</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室3	奈良 雅之																																							
<p>授業方法</p> <p>講義形式を予定していますが、履修人数が少ない場合は、希望に応じて、セミナー形式に変更することができます。履修人数が多い場合にも、文献や指定課題について事前に調べてディスカッションするなど、アクティブラーニングを取り入れます。特に3年生の皆さんには積極的に参加してほしいと思います。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>21世紀はタンパク質の時代ともはやされて、この10年間で大型のプロジェクトが活発に推進されましたが、その光と影に迫ってみたいと考えます。科学的な知識として、タンパク質構造解析の概略を勉強しますが、実際にこの研究に携わったポスドクの問題など、社会的な視点からも理解を深めます。</p>																																											
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験0%・レポート80%</p> <p>その他(授業への参加度20%)</p> <p>再評価:有</p> <p>授業で習得したことをレポートにまとめることを重視します。</p>																																											

<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示 予習: 配付資料に目を通してください。 復習: 興味のあるテーマを見つけたら、それに関する文献や本を調べてください。</p>
<p>試験の受験資格 ・定期試験・再試験の受験資格: 原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)</p>
<p>参考書 タンパク質の生命科学: ポスト・ゲノム時代の主役/池内俊彦 著.: 中央公論新社, 2001 ポストゲノム時代のタンパク質科学: 構造・機能・ゲノミクス/Arthur M.Lesk 著,高木淳一 訳.: 化学同人, 2007 入門構造生物学: 放射光 X 線と中性子で最新の生命現象を読み解く/高エネルギー加速器研究機構構造生物学研究センター, 加藤龍一 編.: 共立出版, 2010 タンパク質の構造と機能: カラー図説/グレゴリー A. ペソコ/著,ダグマール リンゲ/著,横山 茂之/監訳,宮島 郁子/訳.: メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005</p>
<p>連絡先 nara.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 毎週水曜日 PM.0:00-PM.2:00, 毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階</p>

時間割番号	000719																																																		
科目名	主題別選択Ⅱ(植物の科学)																																																		
担当教員	澤野 頼子																																																		
開講時期	前期	対象年次	3																																																
<p>曜日・時間:木曜日・2時限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20名(主題別選択Ⅱ(植物の科学)と合わせて) 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-3)人間の歴史的営みを理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等 植物は地球上のあらゆる生物の生存を支えている。動物の食物として役立つだけでなく、光合成によって大気圏の二酸化炭素を吸収して酸素を供給し、大気環境を保持する役割をもつ。また、人間は、太古に繁殖していた植物の遺体を化石燃料として、医療現場では植物中の有効成分から誘導された医薬品を利用している。本授業では、植物の構造・成長・代謝などに関する基礎的な知識を講義を通して学び、人類と植物との関わりについて考える。</p>																																																			
<p>授業の到達目標 植物を歴史的および科学的側面からとらえ、自分の考えをレポートにまとめる。</p>																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第1回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第2回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第3回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第4回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第5回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第6回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室4</td> <td>第7回</td> <td>澤野 頼子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第1回	澤野 頼子	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第2回	澤野 頼子	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第3回	澤野 頼子	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第4回	澤野 頼子	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第5回	澤野 頼子	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第6回	澤野 頼子	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第7回	澤野 頼子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	担当教員																																														
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第1回	澤野 頼子																																														
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第2回	澤野 頼子																																														
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第3回	澤野 頼子																																														
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第4回	澤野 頼子																																														
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第5回	澤野 頼子																																														
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第6回	澤野 頼子																																														
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室4	第7回	澤野 頼子																																														
<p>授業方法 主に講義形式で行うが、適宜、ディスカッションなどアクティブラーニングを取り入れる。</p>																																																			
<p>授業内容 植物の構造・成長・代謝や人類との関わりについて学ぶ。</p>																																																			
<p>成績評価の方法 評価 : 試験 0% ・ レポート 80% ・ その他(授業への参加度) 20% 再評価: 有</p>																																																			
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																																			
<p>準備学習などについての具体的な指示 授業で扱った事項について参考書やインターネット等で知識を整理し、自分なりの考えをまとめる。</p>																																																			
<p>試験の受験資格 定期試験・再試験の受験資格:原則3分の2以上出席 (レポートでもって、定期試験・再試験の代替とする。)</p>																																																			
<p>参考書 植物生理学／三村徹郎、鶴見誠二 編著.:化学同人, 2009</p>																																																			

ベーシックマスター 植物生理学／塩井祐三, 井上弘, 近藤矩朗 共編:オーム社, 2009

連絡先

澤野 頼子:sawano.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

澤野 頼子:毎週金曜日 PM.0:00-PM.1:00 ヒポクラテス 4 階

時間割番号	000729																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(危険物の科学)																																										
担当教員	勝又 敏行																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
<p>曜日・時間:木曜日 2限 対象学科:医学科、歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-2)社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 化学物質を扱うために、安全や環境保護など様々な理由から法による規制が行われている。その中で火災予防を目的として危険物が消防法により規定され、その取り扱いの監督者には資格が必要となる。危険物の化学的性質やその火災事例、消火法などを講義形式で紹介していく。最後にグループ討論を行い安全について議論してもらう。</p>																																											
<p>授業の到達目標 危険物の安全な取扱方法を理解する。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>大学院講義室2</td> <td>勝又 敏行</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行	7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
2	6/14	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
3	6/21	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
4	6/28	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
5	7/5	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
6	7/12	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
7	7/19	10:05-10:55	大学院講義室2	勝又 敏行																																							
<p>授業方法 講義形式一部アクティブラーニングを取り入れる。</p>																																											
<p>授業内容 1. 関係法令 2. 危険物とは何か 3. 第1類～第3類の性質 4. 第4類～第6類の性質 5. 火事の事例 6. 消火法について 7. グループ討論</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価:試験 0%、レポート 50%、出席、授業への参加度(グループ討論などを含む)等 50% レポートの内容および授業への参加度を考慮し、以上の通りとする。</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 講義で興味を持った項目について調べ、次の授業に臨んでください。</p>																																											
<p>参考書</p>																																											

基礎火災現象原論／James G.Quintiere 著,大宮喜文, 若月薫 訳:共立出版, 2009

連絡先

勝又 敏行katsumata.las@tmd.ac.jp

オフィスアワー

勝又 敏行:毎週木曜日 12:00-13:00 ヒポクラテス 2 階化学実験準備室

時間割番号	000730																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(老化と寿命)																																										
担当教員	服部 淳彦																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る。</p> <p>1-10)現代社会における科学の責任を意識できるようになる。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等</p> <p>「生あるものは必ず死を迎える」というが、果たして本当であろうか。生物学的に言えば、NOである。細菌などの原核生物は無限に分裂を繰り返し、生き延びることができるのである。一方、我々ヒトを含めた有性生殖を行う動物は、どんなに環境を整えても必ず死が訪れる。この授業では、「老化」に焦点を当て、老化の原因と老化に関連した病気についてははじめに解説した後、セミナー形式で各自に発表してもらう。なお、発表内容に関しては、適宜アドバイスを行う。</p>																																											
<p>授業の到達目標</p> <p>生命科学のトピックスについて理解し、説明することができる。</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室 10</td> <td>服部 淳彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室 10	服部 淳彦																																							
<p>授業方法</p> <p>セミナー形式による(各自に発表してもらう)。したがって、募集人数は15名をMAXとする。</p>																																											
<p>授業内容</p> <p>老化現象と老化の原因(概要)</p> <p>骨の老化</p> <p>皮膚の老化</p> <p>脳の老化</p> <p>血管の老化</p> <p>老化と遺伝子</p> <p>抗加齢医学</p>																																											

<p>成績評価の方法</p> <p>評価:その他 100%</p> <p>平常点(参加度)と発表点による。病気以外では、全出席を前提とする。</p> <p>再評価: 有</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>主題科目の内容と関連のある書物を多数読むこと。</p>
<p>連絡先</p> <p>服部 淳彦:ahattori.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー</p> <p>服部 淳彦:毎週 水曜:12:30~14:00 金曜:10:30~12:30 ヒポ 4F 教員研究室(A2)</p>

時間割番号	000708																																																		
科目名	主題別選択Ⅱ(環境への適応)																																																		
担当教員	伊藤 正則																																																		
開講時期	前期	対象年次	3																																																
<p>・曜日・時間:木曜2限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表1-8)自己の心と体を管理する能力を獲得する。</p> <p>別表2-4)自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																																			
<p>授業の目的、概要等</p> <p>外部環境から刺激を受容したとき、同種の生物ではほぼ定型的な反応を示す。この授業では、刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで理解することを目的とする。また、基本的な知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明する技術を向上させることと、研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を立案する技術を習得することを目指す。主に、生物の環境適応を対象とする最近の研究論文を教材として用いる。</p>																																																			
<p>授業の到達目標</p> <p>1)生体の基本構造を説明することができる。</p> <p>2)生体の構造と関連させて、基本的な機能を説明することができる。</p> <p>3)知識を活用して論理的に考え、その考えを解り易く説明することができる。</p> <p>4)研究テーマと目的を設定し、目的を達成するための実験を計画することができる。</p>																																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室2</td> <td>伊藤 正則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用講義室1</td> <td>伊藤 正則</td> <td>共用講義室1に変更になります。</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考	1	6/7	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		2	6/14	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		3	6/21	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		4	6/28	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		5	7/5	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		6	7/12	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則		7	7/19	10:05-10:55	共用講義室1	伊藤 正則	共用講義室1に変更になります。
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考																																														
1	6/7	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
2	6/14	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
3	6/21	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
4	6/28	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
5	7/5	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
6	7/12	10:05-10:55	共用講義室2	伊藤 正則																																															
7	7/19	10:05-10:55	共用講義室1	伊藤 正則	共用講義室1に変更になります。																																														
<p>授業方法</p> <p>講義形式による。ただし、履修者の希望によってはセミナー形式等で行う。毎回、コメントシートに疑問点などを記述し、提出する。</p>																																																			
<p>授業内容</p> <p>生物が刺激を受容してから反応が起こるまでの過程とその反応を制御するメカニズムを器官、組織、細胞、分子レベルで説明する。主に、最近の研究論文(生物の環境適応に関する論文)を教材として用いて、発想から目的の設定、目的を達成するための実験計画の立案、結果を整理する方法及び考察での論理展開を重視して説明する。</p>																																																			
<p>成績評価の方法</p> <p>評価:試験 0%・レポート 80%・授業への参加度 20%</p> <p>再評価:有</p>																																																			
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。</p>																																																			
<p>準備学習などについての具体的な指示</p>																																																			

<p>予習では予め配布した参考資料を読んでおくこと。復習では授業内容を参考にして、研究テーマを設定し、研究目的を達成するための実験計画を立案すること。</p>
<p>試験の受験資格 2/3 以上出席したものにレポートを提出することができる資格を与える。</p>
<p>教科書 資料を配布する。</p>
<p>参考書 Molecular biology of the cell／Bruce Alberts, Alexander Johnson, Julian Lewis, David Morgan, Martin Raff, Keith Roberts, Peter Walter,with problems by John Wilson, Tim Hunt.: Garland Science, Taylor and Francis Group, 2015 ヒューマンバイオロジー：人体と生命／シルビア・S.メイダー 著,坂井建雄, 岡田隆夫 監訳,坂井建雄, 橋本尚詞, 小林靖, 渡邊卓, 貞森直樹, 岡田隆夫, 中谷敬 訳.: 医学書院, 2005 はじめの一步のイラスト生理学：はじめて学ぶ人のための目で見える教科書／照井直人 編.: 羊土社, 2012</p>
<p>履修上の注意事項 出欠管理システムで出欠を記録する。</p>
<p>連絡先 伊藤 正則:itohmt.las@tmd.ac.jp</p>
<p>オフィスアワー 伊藤 正則:毎週月曜日 AM.10:00-PM.2:00 ヒポクラテスホール4階生物学教員研究室</p>

時間割番号	000732																																										
科目名	主題別選択Ⅱ(民主主義を再考する)																																										
担当教員	藤井 達夫																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
曜日・時間: 木曜 2限 対象学科: 医・歯学科 募集人数: 25人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)1-1)、1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-7)、1-9)、2-4)																																											
授業の目的、概要等 この授業では、民主主義の歴史をたどりながら、現在の民主主義の閉塞状況を批判的に検討します。この検討を手掛かりにして、これからの社会をどのように作り上げていくのか履修生の皆さんと一緒に考えます。誰もが民主主義は私たちの社会のあり方——医療制度を含め——を決定する重要な政治の原理であり、制度であると認めます。しかしながら、民主主義の内実をしっかりと理解している人はどれほどいるのでしょうか。今年度は、憲法改正の発議と平成の終焉を前にして、戦後民主主義とは何であったのか、そしてポスト平成の時代の政治はどうあるべきかについて考えます。																																											
授業の到達目標 (1)民主主義理論の基本的な理解を習得し、現代の社会が抱える問題について議論することができる。 (2)人権、社会的公正さといった規範的な視点から現代社会のあるべき姿について検討し、議論することができる。																																											
授業計画 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ 十一室5</td> <td>藤井 達夫</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ 十一室5	藤井 達夫																																							
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。																																											
授業内容 講義形式と授業内での質疑応答。ただし、履修者の人数によっては、セミナー形式をとる場合もあります。																																											
成績評価の方法 評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価: 有(再評価方法)レポート																																											
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による																																											
準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。																																											
教科書 教科書は使用しません。																																											
参考書 ジョージ・オーウェル『一九八四年』(ハヤカワ epi 文庫、2009年) 齋藤純一『不平等を考える』(ちくま新書、2017年)																																											

水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016年)

小熊英二編『平成史』(河出書房新社、2014年)

履修上の注意事項

出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。

時間割番号	000733																																					
科目名	主題別選択Ⅱ(英語で学ぶヒトの脳と言語)																																					
担当教員	時本 楠緒子																																					
開講時期	前期	対象年次	3																																			
<p>曜日・時間: 木曜・2限(10:05-10:55)</p> <p>対象学科: 医・歯学科</p> <p>募集人数: 25人</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):別表 1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表 1-7) 人間の心への理解を深める。別表 2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。</p>																																						
<p>授業の目的、概要等</p> <p>地球上でヒトだけが言語を持ちます。この講義では、世界で使用されている代表的な神経科学の教科書を資料として、言語を可能にするヒトの脳構造を概観し、子どもの言語獲得と発達から臨界期仮説を学びます。また、様々な動物の音声コミュニケーションとヒト言語の比較研究から得られた、言語の生物学的起源についての知見を紹介します。講義は英語資料に基づき、日本語と英語で行います。</p>																																						
<p>授業の到達目標</p> <p>(1) 言語機能を担うヒトの脳構造について理解する。 (2) 言語の生物学的起源に関する知見に触れる。 (3) 言語脳科学研究における研究手法を学ぶ。</p>																																						
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>医学科演習室 5-1, 医学科演習室</td> <td>時本 楠緒子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子	6	7/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室	時本 楠緒子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																		
1	6/7	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
2	6/14	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
3	6/21	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
4	6/28	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
5	7/5	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子																																		
6	7/12	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室	時本 楠緒子																																		

			5-2	
7	7/19	10:05-10:55	医学科演習室 5-1, 医学科演習室 5-2	時本 楠緒子
授業方法				
前半は講義形式。後半は学生による論文紹介と討論。				
授業内容				
6月7日 Overview of the human brain				
6月14日 Language circuits in the brain				
6月21日 Critical period for language learning				
6月28日 Second-language and sign language				
7月5日 Animal behavior similar to language				
7月12日 Comparison between bird song and human language				
7月19日 Comparison between behavior of primates and human language				
成績評価の方法				
評価 : 試験 0 % ・ レポート(英語) 70 % ・ その他(論文紹介) 30 %				
再評価: 有(レポート提出)				
成績評価の基準				
「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による				
準備学習などについての具体的な指示				
予習は特に求めませんが、最初に配布する文献には目を通しておいてください。。前半の講義で疑問・興味のあるテーマを見つけたら、関連する文献を探してください。後半の論文紹介と討論に使用します。				
参考書				
Principles of Neural Science, Fifth Edition, Eric R. Kandel et al., 2013 McGraw-Hill				
履修上の注意事項				
レポート提出の資格は、原則として授業回数の 2/3 以上の出席とします。出欠は、出席カードの提出により確認します。				

時間割番号	000868																																										
科目名	主題別選択Ⅱ (Understanding Language and Society)																																										
担当教員	David Cannell																																										
開講時期	前期	対象年次	3																																								
<p>曜日・時間: 木曜 2限 対象学科: 医学科歯学科 募集人数: 12人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表1-1) 言語を通じた人間の創造的営みを理解する。別表1-7) 人間の心への理解を深める。別表2-3) 言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法を知る。別表2-4) 自己問題提起・解決型の学習方法を身につける。</p>																																											
<p>授業の目的、概要等 What exactly is love? Is love madness, or a kind of sickness? Is it a form of blindness? Why does love feel so real and vital, and yet illusory and even ridiculous? Supposing that such baffling questions are not ultimately beyond us, who can we turn to for guidance and insight? In this course, we will appeal to a group of philosophers, poets and scientists to help guide our thinking and judgment on such matters of love.</p>																																											
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室1</td> <td>David Cannell</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室1</td> <td>David Cannell</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室1</td> <td>David Cannell</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室1</td> <td>David Cannell</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室1</td> <td>David Cannell</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室1</td> <td>David Cannell</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミ ナ一室1</td> <td>David Cannell</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell	2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell	3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell	4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell	5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell	6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell	7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																							
1	6/7	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell																																							
2	6/14	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell																																							
3	6/21	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell																																							
4	6/28	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell																																							
5	7/5	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell																																							
6	7/12	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell																																							
7	7/19	10:05-10:55	共用セミ ナ一室1	David Cannell																																							
<p>授業方法 There is a strong expectation that each student will make every effort to contribute to class discussion. This is critical to the success of the whole course. Please come prepared to be a part of the conversation. *Each unexcused absence will affect the student's overall course grade.</p>																																											
<p>授業内容 Language is more than just a tool to communicate ideas or a skill to learn, such as speaking a foreign language. Modern thinkers have shown that language is primarily responsible for the creation of the social realities and imaginative worlds we live in. In this course we will read and discuss the writings of such thinkers, which enlarge our conception of language and the role it plays in modern life.</p>																																											
<p>成績評価の方法 評価 : レポート 80% ・ その他(授業での取り組み) 20% 再評価: 有(再評価方法)レポート</p>																																											
<p>成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>																																											
<p>準備学習などについての具体的な指示 必要があれば、授業内で適宜、指示します。</p>																																											
<p>教科書 Most texts will be available as email attachments or handouts.</p>																																											
<p>履修上の注意事項</p>																																											

Notebook, A-5 size

備考

クラス討論は英語

教材は英語

時間割番号	000811																																		
科目名	主題別選択Ⅱ(学習・記憶と老化)																																		
担当教員																																			
開講時期	前期	対象年次	3																																
<p>曜日・時間:木曜2限 対象学科:医学科・歯学科 募集人数:20人 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る 別表1-7)人間の心への理解を深める 別表2-1)自然現象を科学的に探求するための方法論を知る</p>																																			
<p>授業の目的、概要等 ヒトを含め、動物は過去の経験を記憶し、学習することで行動を変化させ、環境の変化に適応しながら生存している。そのため、「学習・記憶」は動物にとって重要な能力である。しかしながら、「学習・記憶」を含む認知機能は加齢ともなう様々な要因に影響される。平均寿命の著しい伸びとともに、高齢化率が急速に増加しているわが国において、認知症患者数の増加が社会に与える影響は大きいであろう。この授業では、「学習・記憶」に関係する脳の機能と、そこに与える老化の影響について、生物学的な視点から講義を行い、理解を深めることを目的とする。</p>																																			
<p>授業の到達目標 学習・記憶の観点から脳の機能への理解を深め、そこに与える老化の影響を学ぶ。また、当該分野における研究手法を学ぶ。</p>																																			
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/7</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室 11</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/14</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室 11</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室 11</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/28</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室 11</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/5</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室 11</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/12</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室 11</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/19</td> <td>10:05-10:55</td> <td>共用セミナー室 11</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	1	6/7	10:05-10:55	共用セミナー室 11	2	6/14	10:05-10:55	共用セミナー室 11	3	6/21	10:05-10:55	共用セミナー室 11	4	6/28	10:05-10:55	共用セミナー室 11	5	7/5	10:05-10:55	共用セミナー室 11	6	7/12	10:05-10:55	共用セミナー室 11	7	7/19	10:05-10:55	共用セミナー室 11
回	日付	時刻	講義室																																
1	6/7	10:05-10:55	共用セミナー室 11																																
2	6/14	10:05-10:55	共用セミナー室 11																																
3	6/21	10:05-10:55	共用セミナー室 11																																
4	6/28	10:05-10:55	共用セミナー室 11																																
5	7/5	10:05-10:55	共用セミナー室 11																																
6	7/12	10:05-10:55	共用セミナー室 11																																
7	7/19	10:05-10:55	共用セミナー室 11																																
<p>授業方法 講義形式と授業内での質疑応答</p>																																			
<p>授業内容 第1回-第4回 学習と記憶 第5回-第7回 学習・記憶の老化</p>																																			
<p>成績評価の方法 評価 : その他(各講義での小テスト・授業への参加度) 100%</p>																																			

再評価：有
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による
準備学習などについての具体的な指示 予習は特に必要ありません。毎回、前回と当日の講義内容について小テストを行うとともに、質問やコメントを書いていただきます。
教科書 プリントを配布する。
参考書 カールソン神経科学テキスト 脳と行動/ NEIL R.CARLSON 著, 泰羅 雅登 監訳 中村 克樹 監訳: 丸善出版, 2013 老年医学系統講義テキスト/ 日本老年医学会 編: 西村書店, 2013
履修上の注意事項 毎回の講義における小テスト等を出欠確認に用います。また、3分の2以上の出席を前提とし、評価の対象とする。

主題別人文社会科学セミナー・講義

● 医学科・歯学科(3年生): 主題別人文社会科学セミナー・講義スケジュール

		3時限(11:10~12:00)																					
		文化			生命			言語			制度			時間									
月日	曜日	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C							
4月5日	木	オリエンテーション(医学科講義室2)			オリエンテーション(大学院講義室2)			オリエンテーション(第4ゼミナール室)			オリエンテーション(大学院講義室3)			オリエンテーション(共用講義室2)									
4月12日	木	(共用セミナー⑪)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(大学院講義室②)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑦)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑩)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑫)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)							
4月19日	木																2	3	4	5	6	7	8
4月26日	木																4	5	6	7	8	1	2
5月10日	木																5	6	7	8	1	2	3
5月17日(※)	木																6	7	8	1	2	3	4
5月24日	木	7	8	1	2	3	4	5															
5月31日	木	8	1	2	3	4	5	6															
6月7日	木	1	2	3	4	5	6	7															
6月14日	木	2	3	4	5	6	7	8															
6月21日	木	3	4	5	6	7	8	1															
6月28日	木	4	5	6	7	8	1	2															
7月5日	木	5	6	7	8	1	2	3															
7月12日	木	6	7	8	1	2	3	4															
7月19日(※)	木	7	8	1	2	3	4	5															
9月6日	木	予備日(1限:9:00~9:50)																					
9月27日	木	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑪)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑥)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑦)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑩)	(大学院講義室③)	(共用講義室②)	(共用セミナー⑫)							
10月4日	木																1	2	3	4	5	6	7
10月11日	木																3	4	5	6	7	8	1
10月25日(※)	木																4	5	6	7	8	1	2
11月1日	木																5	6	7	8	1	2	3
11月8日	木	6	7	8	1	2	3	4															
11月15日	木	7	8	1	2	3	4	5															
11月22日	木	総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									
11月29日	木	合同総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									
12月6日	木	総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									
12月13日	木	総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			合同総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									
12月20日	木	総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									
1月10日	木	総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									
1月17日	木	総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									
1月24日	木	総括セミナー(医学科講義室2)			総括セミナー(大学院講義室2)			総括セミナー(第4ゼミナール室)			総括セミナー(アクティブラーニングルーム)			総括セミナー(共用講義室2)									

(※)5月17日、7月19日、10月25日の「医療と社会」は、共用講義室2から共用講義室1(M&Dタワー2階)に変更します。

時間割番号	000801				
科目名	人文社会科学講義(医療と社会)				
担当教員	藤井 達夫				
開講時期	通年	対象年次	3		
<p>曜日・時間: 木曜 3限 対象学科: 医・歯学科 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-2)、1-3)、1-4)、1-5)、1-9)、1-10)</p>					
授業の目的、概要等 <p>巨大化し複雑化した現代の社会は、政治や経済、教育など、相対的に自律した諸システムから構成され、それらの相互作用によって機能しています。この授業では、医療およびそれを支える制度を社会システムの一つとして理解することで、その特徴や、それが抱える問題について検討します。今年度は引き続き、日本の病院制度や医療保険制度の歴史に加え、脱病院時代の医療に焦点を当てます。</p>					
授業の到達目標 <p>(1)社会を構成する諸システムの一つとして医療を理解し、政治や経済などの他の諸システムとの関係からそのあり方を分析することができる。 (2)社会システムとしての医療およびそれを支える諸制度の歴史と仕組みを理解した上で、現在の医療が抱える問題点・課題を発見し、その解決策について議論することができる。 (3)これまでに学んだ知識や獲得した視野と、総括セミナーでの思考の深化とを架橋することができる。</p>					
授業計画					
回	日付	時刻	講義室	担当教員	備考
1	4/5	11:10-12:00	医学科講義室2 大学院講義室2, 第4ゼミナル室 大学院講義室3, 共用講義室2	藤井 達夫	
2	4/12	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
3	4/19	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
4	4/26	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
5	5/10	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
6	5/17	11:10-12:00	共用講義室1	藤井 達夫	共用講義室1に変更となります。
7	5/24	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
8	5/31	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
9	6/7	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
10	6/14	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	
11	6/21	11:10-12:00	共用講義室2	藤井 達夫	

12	6/28	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
13	7/5	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
14	7/12	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
15	7/19	11:10-12:00	共用講義 室1	藤井 達夫	共用講義室1に 変更となります。
16	9/27	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
17	10/4	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
18	10/11	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
19	10/25	11:10-12:00	共用講義 室1	藤井 達夫	共用講義室1に 変更となります。
20	11/1	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
21	11/8	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
22	11/15	11:10-12:00	共用講義 室2	藤井 達夫	
23	11/22	11:10-12:00	医学科講 義室2, 大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	藤井 達夫	
24	11/29	11:10-12:00	大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	藤井 達夫	
25	12/6	11:10-12:00	大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室	藤井 達夫	

			共用講義 室2		
26	12/13	11:10-12:00	大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	藤井 達夫	
27	12/20	11:10-12:00	大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	藤井 達夫	
28	1/10	11:10-12:00	大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	藤井 達夫	
29	1/17	11:10-12:00	大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	藤井 達夫	
30	1/24	11:10-12:00	大学院講 義室2, 第4ゼミ ナル室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	藤井 達夫	
授業方法 講義形式と授業内での質疑応答					

<p>授業内容</p> <p>第1回 医療化された社会とその批判——医原病と脱医療化社会の試み 第2回 社会システムとしての医療——パーソンズを中心に 第3回 病院医学の誕生——フーコーおよびアッカークネヒトを中心に 第4回 日本の医療制度の特徴(1)——病院 第5回 日本の医療制度の特徴(2)——医療保険 第6回 脱病院時代の医療——地域包括ケアシステム 第7回 まとめと試験 ※以上の授業計画には、変更の可能性があります。</p>
<p>成績評価の方法</p> <p>評価： 試験 80% ・ その他(授業での取り組み) 20%</p> <p>再評価： 有(再評価方法)レポート</p>
<p>成績評価の基準</p> <p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>
<p>準備学習などについての具体的な指示</p> <p>必要があれば、授業内で適宜、指示します。</p>
<p>教科書</p> <p>教科書は使用しません。</p>
<p>参考書</p> <p>イヴァン・イリイチ『脱病院化社会』(晶文社、1998年) ミシェル・フーコー『臨床医学の誕生』(みすず書房、1969年) E.H.アッカークネヒト『パリ、病院医学の誕生』(みすず書房、2012年) J.C.キャンベル、池上直己『日本の医療』(中公新書、1996年) 広井良典『医療保険改革の構想』(日本経済新聞社、1997年) 猪飼周平『病院の世紀の理論』(有斐閣、2010年) 真野俊樹『比較医療政策』(ミネルヴァ書房、2013年) 島崎謙治『日本の医療——制度と政策——』(東京大学出版会、2011年) 二木 立『地域包括ケアと地域医療連携』(勁草書房、2015年)</p>
<p>履修上の注意事項</p> <p>出欠・遅刻の扱いについては、該当する規則に従います。ただし、教員自身が出欠を取る場合もあります。</p>

時間割番号	000802																																																														
科目名	人文社会科学講義(医療と法)																																																														
担当教員	飛田 綾子																																																														
開講時期	通年	対象年次	3																																																												
<p>曜日・時間: 木曜 3限(11時10分から12時)</p> <p>対象学科: 医学部医学科・歯学部歯学科</p> <p>科目を履修して得られる能力(コンピテンシー):</p> <p>別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する。1-4)異なる空間の文化を理解する。1-9)市民としての倫理観を養う。</p>																																																															
<p>授業の目的、概要等</p> <p>いま日本の社会保障は重大な岐路に立っています。増大する医療費、年金制度への不安、生活保護の縮小、労働環境の悪化、待機児童の増加など様々な問題が指摘される一方で、社会保障の財源不足や財政状況の悪化も度々ニュースになっています。こうした問題への適切な処方箋とはいかなるもののでしょうか。その答えを導き出すための知識をこの授業では提示したいと思います。具体的には、そもそも社会保障の目的や機能とはなにか、といった議論からはじめ、日本の社会保障の具体的制度の概要、現在政府が推進している社会保障改革の概要などを説明し、アメリカやドイツなど他国との比較的視点も盛り込みつつ、日本の抱える問題点について考えます。</p>																																																															
<p>授業の到達目標</p> <p>(1)国民皆保険・皆年金を実現している日本の社会保障制度と、日本国憲法とのつながりを理解する。</p> <p>(2)各々の社会保障制度が抱えている問題を、財政や制度内の不平等など多角的側面から考察し、説明できるようになる。</p>																																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>11:10-12:00</td> <td>医学科講義室2 大学院講義室2, 第4ゼミナル室 大学院講義室3, 共用講義室2</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/7</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/14</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/21</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室3</td> <td>飛田 綾子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	11:10-12:00	医学科講義室2 大学院講義室2, 第4ゼミナル室 大学院講義室3, 共用講義室2	飛田 綾子	2	4/12	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	3	4/19	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	4	4/26	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	5	5/10	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	6	5/17	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	7	5/24	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	8	5/31	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	9	6/7	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	10	6/14	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子	11	6/21	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																											
1	4/5	11:10-12:00	医学科講義室2 大学院講義室2, 第4ゼミナル室 大学院講義室3, 共用講義室2	飛田 綾子																																																											
2	4/12	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
3	4/19	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
4	4/26	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
5	5/10	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
6	5/17	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
7	5/24	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
8	5/31	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
9	6/7	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
10	6/14	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											
11	6/21	11:10-12:00	大学院講義室3	飛田 綾子																																																											

12	6/28	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
13	7/5	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
14	7/12	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
15	7/19	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
16	9/27	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
17	10/4	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
18	10/11	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
19	10/25	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
20	11/1	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
21	11/8	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
22	11/15	11:10-12:00	大学院講 義室 3	飛田 綾子
23	11/22	11:10-12:00	医学科講 義室 2, 大学院講 義室 2, 第 4 セミ ナール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室 2	飛田 綾子
24	11/29	11:10-12:00	医学科講 義室 2, 大学院講 義室 2, 第 4 セミ ナール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室 2	飛田 綾子
25	12/6	11:10-12:00	医学科講 義室 2, 大学院講 義室 2, 第 4 セミ	飛田 綾子

			ール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	
26	12/13	11:10-12:00	医学科講 義室2 大学院講 義室2, 第4ゼミ ール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	飛田 綾子
27	12/20	11:10-12:00	医学科講 義室2 大学院講 義室2, 第4ゼミ ール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	飛田 綾子
28	1/10	11:10-12:00	医学科講 義室2 大学院講 義室2, 第4ゼミ ール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	飛田 綾子
29	1/17	11:10-12:00	医学科講 義室2 大学院講 義室2, 第4ゼミ ール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	飛田 綾子

			室2	
30	1/24	11:10-12:00	医学科講 義室2 大学院講 義室2, 第4ゼミ ール室 ア クティブ ラーニン グ教室 共用講義 室2	飛田 綾子
授業方法				
<p>教員が作成したレジュメをもとに、講義形式で行います。ニュースで伝えられている話題を授業ではより詳しく、時に批判的に取り上げます。そうした情報を踏まえ、社会保障や税金の負担のあり方など、具体的問題への自らの考えを述べてもらうアクティブラーニング形式を適宜行います。</p>				
授業内容				
<p>第1回 社会保障制度の概要（憲法とのかかわり、戦後史の中での制度の変遷、海外との比較からみた日本の社会保障の達成度など） 第2回 医療保険（制度の概要、強制加入の理由、財政状況など） 第3回 年金保険（制度の概要、年金の世代間格差論について） 第4回 社会福祉サービス（児童・障害者福祉の概要、子育て支援の具体策、児童虐待における医療者の義務など） 第5回 公的扶助（生活保護の受給資格、給付内容、不正受給者対策の問題点など） 第6回 労働保険（雇用保険と労働災害保険の内容、日本の労働環境の抱える問題点など） 第7回 テスト</p>				
成績評価の方法				
<p>評価：試験 65 % ・ レポート 0 % ・ その他(アクティブラーニング形式を取り入れた、具体的問題への解決策の論述等) 35%</p> <p>再評価： 有(再評価方法 レポート)</p>				
成績評価の基準				
<p>「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による</p>				
準備学習などについての具体的な指示				
<p>社会保障に関するニュースは、財政状況や保険料の引き上げなど、日々ニュースに取り上げられています。そうしたニュースに敏感になり、授業内容と関連付ける癖をつけてください。これが予習復習となります。こうしたニュースに関しては、リアクションペーパー等で簡単に記述してもらおうと考えています。レジュメを読み直すことも有用です。</p>				
教科書				
<p>特に指定しません。</p>				
参考書				
<p>権文善一『ちょっと気になる社会保障 知識補給増補版』勁草書房、2017年。同『ちょっと気になる医療と介護』勁草書房、2016年。井出英策『日本財政 転換の指針』岩波新書、2013年。</p>				
履修上の注意事項				
<p>①出欠管理システムの記録と教員の出欠調査を併用します。 ②教員の出欠調査は、出席調査票やリアクションペーパーの提出で行います。 ③3分の2以上の出席を満たさなければ、原則、テストの受験資格を得られません。 ④代返などの不正行為には厳正に対処します。 ⑤授業中の教員の発言は積極的にメモを取ってください。</p>				
備考				
<p>キーワード: 社会保障 生存権 税 財源</p>				

時間割番号	000803			
科目名	主題別人文社会科学セミナー(文化と人間)			
担当教員	高尾 千津子			
開講時期	通年	対象年次	3	
<p>曜日・時間:木曜3限 受講資格:「文化と人間」選択者 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー) 別表 1-2) 社会制度や仕組みについての基本を理解する 別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p>				
<p>授業の目的、概要等 セミナーでは「歩いて学ぶ歴史と文化」をテーマに、履修者の関心のある博物館や美術館、フィルム・アーカイブ、各種メディア、町並みなどを紹介してもらい、その文化的、歴史的な背景を考える。 後期の総括セミナーでは「文化と人間」という大枠のなかから、各自の関心のあるテーマを自由に探して調べ、討論し、最終的にセミナー論文を仕上げてもらおう。</p>				
授業計画				
回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/5	11:10-12:00	医学科講義室2	高尾 千津子
2	4/12	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
3	4/19	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
4	4/26	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
5	5/10	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
6	5/17	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
7	5/24	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
8	5/31	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
9	6/7	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
10	6/14	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
11	6/21	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子
12	6/28	11:10-12:00	共用セミナー室11	高尾 千津子

			十一室 11	
13	7/5	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
14	7/12	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
15	7/19	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
16	9/27	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
17	10/4	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
18	10/11	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
19	10/25	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
20	11/1	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
21	11/8	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
22	11/15	11:10-12:00	共用セミ 十一室 11	高尾 千津子
23	11/22	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
24	11/29	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
25	12/6	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
26	12/13	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
27	12/20	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
28	1/10	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
29	1/17	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
30	1/24	11:10-12:00	医学科講 義室 2	高尾 千津子
授業方法				

演習形式
授業内容 前期および後期前半の各 A~C 班セミナーでは、最初の授業で「東京の失われた風景と文化遺産」、「町に残る記念碑とその由来」「日本映画に見る異文化」などの大きなテーマを設定するので、各自の関心に基づきテーマを設定し、インターネットや文献資料などでの映像、文字情報の他に、「歩いて」発見したものも加えて発表してもらう。 後期の総括セミナーでは、全員が論文の構想を発表するほか、複数の討論者を指名し、コメントや討論を行う。
成績評価の基準 セミナー論文 60%、発表と討論 20%、授業への参加度 20%
準備学習などについての具体的な指示 配布したプリントを必ず読んでおくこと。報告と討論のための下準備をしておくこと。
教科書 歴史を社会に活かす：楽しむ・学ぶ・伝える・観る／歴史学研究会 編：東京大学出版会、2017 プリントを配布する。

時間割番号	000804																																																																			
科目名	主題別人文社会科学セミナー(生命と人間)																																																																			
担当教員	田中 智彦																																																																			
開講時期	通年	対象年次	3																																																																	
<p>◇ 曜日・時間: 木曜 2 限</p> <p>◇ 対象学科: 医学科・歯学科</p> <p>◇ 受講資格: 「生命と人間」の主題であること</p> <p>◇ 科目を履修して得られる能力(コンピテンシー)</p> <p>別表 1-3) 人間の歴史的営みを理解する</p> <p>別表 1-5) 人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表 1-10) 現代社会における科学の責任を意識できるようになる</p>																																																																				
<p>授業の目的、概要等</p> <p>「生命」という概念をもつ生物は、おそらく人間だけでしょう。そしてそれゆえに、人間だけが自分の生命に「終わり」のあることを意識し、自分に生命が「ある」ことの意味を問う。あるいはそうせざるをえない。またそれゆえに人間だけが、生命とは何かを探究し、ついには生命を操作しようとしさえする。もっともこうしたことは、何も現代に特有のことではなく、人間が「人間」として言語と文化を獲得し、社会を築くようになって以来、連続と続けられてきたことでした。</p> <p>このことは他方で、私たちが生命について何ごとかを認識し、考え、語るときにはそこに、私たちの言語・文化・社会が色濃く影を落としていることを示唆します。そしてそうであるとするならば、そのような「影」にどれほど自覚的でありうるかは、私たちが生命について、また人間の生と死について、どれほど深く認識し、考え、語りうるかを左右することになるでしょう。そこでこのセミナーでは、そうした「自覚」や「深さ」へと接近する手立てとして、さまざまな論点について考察していきます。</p>																																																																				
<p>授業の到達目標</p> <p>セミナーでとりあげられる論点について理解するとともに、それらと各人がこれまでに学んできたことを結びつけ、そして「セミナー論文」のための適切な問題設定を見いだすこと。</p>																																																																				
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/7</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/14</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/21</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6/28</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 2</td> <td>田中 智彦</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	2	4/12	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	3	4/19	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	4	4/26	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	5	5/10	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	6	5/17	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	7	5/24	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	8	5/31	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	9	6/7	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	10	6/14	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	11	6/21	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦	12	6/28	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																																
1	4/5	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
2	4/12	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
3	4/19	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
4	4/26	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
5	5/10	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
6	5/17	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
7	5/24	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
8	5/31	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
9	6/7	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
10	6/14	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
11	6/21	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																
12	6/28	11:10-12:00	大学院講義室 2	田中 智彦																																																																

13	7/5	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
14	7/12	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
15	7/19	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
16	9/27	11:10-12:00	共用セミ 十一室 6	田中 智彦
17	10/4	11:10-12:00	共用セミ 十一室 6	田中 智彦
18	10/11	11:10-12:00	共用セミ 十一室 6	田中 智彦
19	10/25	11:10-12:00	共用セミ 十一室 6	田中 智彦
20	11/1	11:10-12:00	共用セミ 十一室 6	田中 智彦
21	11/8	11:10-12:00	共用セミ 十一室 6	田中 智彦
22	11/15	11:10-12:00	共用セミ 十一室 6	田中 智彦
23	11/22	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
24	11/29	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
25	12/6	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
26	12/13	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
27	12/20	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
28	1/10	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
29	1/17	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦
30	1/24	11:10-12:00	大学院講 義室 2	田中 智彦

授業方法

授業はセミナー形式で行う予定です。

教科書は使用せず、そのつどレジュメや資料を配布します。参考文献は授業の中で随時紹介していきます。

授業内容

第1-2回 生命・身体と言語・文化・社会との関係性をめぐって

第3-4回 生命とは何か、生きているとはどういうことかをめぐって

第5-6回 「病む」とは、「老いる」とはどういうことかをめぐって

第7回 セミナー論文の構想について

成績評価の方法

◇評価: セミナー論文 70%

その他 30%(授業への参加度)

◇再評価: 有(レポート)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表 2」による
準備学習などについての具体的な指示 授業で学んだことを自分の中で咀嚼すること、そして自分なりに他の問題や出来事、現象の理解に結びつけてみることを実践しながら、毎回の授業に臨むようにしてください。
試験の受験資格 ◇ セミナー論文の提出資格:原則として7回中5回以上の出席
教科書 教科書はありません。毎回レジュメを配布します。
参考書 参考書等は授業の中で随時紹介します。
履修上の注意事項 出欠については、出欠管理システムの記録と教員がとる出欠とを併用します。
連絡先 田中 智彦 tanaka.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 田中 智彦:毎週金曜日 12:30～13:30 管理研究棟 2階 哲学研究室

時間割番号	000805																																																																															
科目名	主題別人文社会科学セミナー(言語と人間)																																																																															
担当教員	土佐 朋子																																																																															
開講時期	通年	対象年次	3																																																																													
<p>・曜日・時間:木曜3限</p> <p>・対象学科:医学科・歯学科</p> <p>・受講資格:「言語と人間」の主題であること</p> <p>・科目を履修して得られる能力(コンピテシー)</p> <p>別表1-1)言語を通じた人間の創造的営みを理解する</p> <p>別表1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る</p> <p>別表2-3)言語活動や社会現象を科学的に分析するための方法論を知る</p> <p>別表2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発表させ、論文にまとめる能力を養う</p>																																																																																
<p>授業の目的、概要等</p> <p>人間を他の生物から区別するものの一つに「言語」がある。人間は他者同士で構成されるこの社会において、他者とコミュニケーションするために言語が必要となる。医療従事者も、常に「患者」という他者の言葉と向き合っていかなければならない立場にある。</p> <p>我々は、人間が言葉を使っている、つまりある形を持った考えを言葉で表現して伝え、真実を言葉で再現して伝えていると思いがちである。</p> <p>しかし、発話主体の制御を時に発話者の意図せぬところで意図せぬメッセージとなって他者に受け取られたり、同じ「真実」であるはずなのにまったく異なる真実が語り出されるということ、我々は日々経験する。</p> <p>なぜこのようなことが起こるのだろうか。人間と言語との関係はどのようにになっているのか。本当に人間は言語活動の主体たり得るのか。</p> <p>このような問題意識のもとで、これまで構築されてきた言語や語りに関する理論のいくつかを学び、言語と人間に関する自分なりの見解を持ち、他者の言葉にどう向き合うべきなのか、患者の言葉をどう聞くべきなのか、抽象的かつ具体的に考察することが目的である。</p>																																																																																
<p>授業の到達目標</p> <p>①人間と言葉の関係性について理解を深める。</p> <p>②先人の理論を学びながら、自分自身の人生や生活に引きつけて考察できるようなる。</p> <p>③セミナー論文で現段階における見解をまとめる。</p>																																																																																
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>授業題目</th> <th>授業内容</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>11:10-12:00</td> <td>第4ゼミ ール室</td> <td>オリエンテーション</td> <td>セミナーに関する説明</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第1回</td> <td>Aグループセミナー計画</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第2回</td> <td>学生の発表に基づく討論</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第3回</td> <td>学生の発表に基づく討論</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第4回</td> <td>学生の発表に基づく討論</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第5回</td> <td>学生の発表に基づく討論</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第6回</td> <td>学生の発表に基づく討論</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第7回</td> <td>学生の発表に基づく討論</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/7</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第1回</td> <td>Bグループセミナー計画</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/14</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミ ナー室7</td> <td>第2回</td> <td>学生の発表に基づく討論</td> <td>土佐 朋子</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	1	4/5	11:10-12:00	第4ゼミ ール室	オリエンテーション	セミナーに関する説明	土佐 朋子	2	4/12	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第1回	Aグループセミナー計画	土佐 朋子	3	4/19	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第2回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子	4	4/26	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第3回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子	5	5/10	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第4回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子	6	5/17	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第5回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子	7	5/24	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第6回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子	8	5/31	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第7回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子	9	6/7	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第1回	Bグループセミナー計画	土佐 朋子	10	6/14	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第2回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員																																																																										
1	4/5	11:10-12:00	第4ゼミ ール室	オリエンテーション	セミナーに関する説明	土佐 朋子																																																																										
2	4/12	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第1回	Aグループセミナー計画	土佐 朋子																																																																										
3	4/19	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第2回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子																																																																										
4	4/26	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第3回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子																																																																										
5	5/10	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第4回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子																																																																										
6	5/17	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第5回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子																																																																										
7	5/24	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第6回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子																																																																										
8	5/31	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第7回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子																																																																										
9	6/7	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第1回	Bグループセミナー計画	土佐 朋子																																																																										
10	6/14	11:10-12:00	共用セミ ナー室7	第2回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子																																																																										

11	6/21	11:10-12:00	共用セミナー室7	第3回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
12	6/28	11:10-12:00	共用セミナー室7	第4回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
13	7/5	11:10-12:00	共用セミナー室7	第5回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
14	7/12	11:10-12:00	共用セミナー室7	第6回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
15	7/19	11:10-12:00	共用セミナー室7	第7回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
16	9/27	11:10-12:00	共用セミナー室7	第1回	Cグループセミナー計画	土佐 朋子
17	10/4	11:10-12:00	共用セミナー室7	第2回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
18	10/11	11:10-12:00	共用セミナー室7	第3回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
19	10/25	11:10-12:00	共用セミナー室7	第4回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
20	11/1	11:10-12:00	共用セミナー室7	第5回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
21	11/8	11:10-12:00	共用セミナー室7	第6回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
22	11/15	11:10-12:00	共用セミナー室7	第7回	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
23	11/22	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー	総括セミナーおよびセミナー論文に関する説明	土佐 朋子
24	11/29	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
25	12/6	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
26	12/13	11:10-12:00	第4ゼミナル室	合同総括セミナー	講義担当者同席のもと、学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
27	12/20	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
28	1/10	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
29	1/17	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子
30	1/24	11:10-12:00	第4ゼミナル室	総括セミナー	学生の発表に基づく討論	土佐 朋子

授業方法

セミナー方式。学生の発表と、それに基づく討論を行う。

授業内容

10人程度のグループごとに、文献にもとづく演習を行う。

扱う文献は、ソシュール、ヴァンペニスト、時枝誠記、ロラン・バルトの各論考の予定だが、変更すること可能性もある。演習方式については授業中に説明する。詳しい日程は、授業詳細日程を参照のこと。

成績評価の方法

評価: 試験 0%・セミナー論文 50%

その他(授業への参加度・発表内容等) 50%

再評価:有(再評価方法 再レポート)
成績評価の基準 「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。
準備学習などについての具体的な指示 文献をしっかりと読むこと。発表には全力で取り組むこと。セミナー論文で取り組む具体的な問題を早めに考えること。
試験の受験資格 原則として、セミナー論文提出は、3分の2以上の出席を条件とする。
教科書 プリントを使用する。
参考書 言語の社会心理学—伝えたいことは伝わるのか／岡本真一郎:中公新書, 2013 ことばの力学—応用言語学への招待／白井恭弘:岩波新書, 2013 言語学の教室 哲学者と学ぶ認知言語学／野矢茂樹・西村義樹:中公新書, 2013 ロラン・バルト『物語の構造分析』(みすず書房, 1979)、同『言語のざわめき』(みすず書房, 1987)、同『零度のエクリチュール』(ちくま学芸文庫, 1999)、同『恋愛のディスクール・断章』(みすず書房, 1980)E・バンヴェニスト『一般言語学の諸問題』(みすず書房, 1983)、時枝誠記『国語学原論』(岩波文庫, 2007)、ソシュール『一般言語学講義』(岩波書店, 1972)、野家啓一『物語の哲学』(岩波現代文庫, 2005)、吉本隆明『定本 言語にとって美とは何か I・II』(角川ソフィア文庫, 2001)、シュタンツェル『物語の構造』(岩波書店, 1989)、大森荘藏『時間と自我』(青土社, 1992)、同『時間と存在』(同, 1994)、野口裕二編『ナラティブ・アプローチ』(勁草書房, 2009)、ブルーナー『ストーリーの心理学』(ミネルヴァ書房, 2007)、丸山圭三郎『言葉とは何か』(ちくま学芸文庫, 2008)、磯部光章『話を聞かない医師 思いが言えない患者』(集英社新書, 2011)など。このほか、授業中に紹介する。
履修上の注意事項 出欠管理システムの記録より、教員がとる出欠を優先させます。
連絡先 土佐 朋子.tosa.las@tmd.ac.jp
オフィスアワー 土佐 朋子:毎週月曜 PM.12:30-PM.13:30 管理研究棟 2 階文学研究室

時間割番号	000806																																																														
科目名	主題別人文社会科学セミナー(制度と人間)																																																														
担当教員	青山 豊																																																														
開講時期	通年	対象年次	3																																																												
<p>曜日・時間:木曜日 3 時限(11 時 10 分～12 時)</p> <p>対象学科: 医学科、歯学科</p> <p>受講資格: 主題「制度と人間」コースであること</p>																																																															
<p>授業の目的、概要等</p> <p>政治、そして政治的思考とはどういうことなのかを最大限奥深く掘り下げながら、政治では何をどのように決定すべきか、議会では何がどのように審議されるべきか、選挙で選ぶ国民の代表はなぜ必要で、代表には何が求められるのか、権力とは何か、人々が求める自由とは何か、国家でも市場でもない「社会」とは何か、政治が果たすべき範囲・限界をどう考えるか、政治とどのような距離感でつきあうべきか等々について考えるセミナーにしたいと考えている。この点、いま政治の現場で「憲法改正」問題が語られつつある。公権力の制限という憲法の基本的存在意義の一方で、例えば生存権保障などのように公権力には「積極的」役割もあること、今日の民主国家では国民一人ひとりが国家権力を形づくる一翼を担っていることなどを指摘しながら、国民の国家への向き合い方についての更なる探求の必要性についても問題提起していきたい。</p>																																																															
<p>授業の到達目標</p> <p>現代国家における立憲主義と民主主義との併存可能性を制度構造およびその政治運用の観点から説明できるようになること。</p>																																																															
<p>授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>日付</th> <th>時刻</th> <th>講義室</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/5</td> <td>11:10-12:00</td> <td>大学院講義室 3</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/12</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/19</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4/26</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/10</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/17</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/24</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>5/31</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/7</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/14</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/21</td> <td>11:10-12:00</td> <td>共用セミナー室 10</td> <td>青山 豊</td> </tr> </tbody> </table>				回	日付	時刻	講義室	担当教員	1	4/5	11:10-12:00	大学院講義室 3	青山 豊	2	4/12	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	3	4/19	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	4	4/26	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	5	5/10	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	6	5/17	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	7	5/24	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	8	5/31	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	9	6/7	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	10	6/14	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊	11	6/21	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊
回	日付	時刻	講義室	担当教員																																																											
1	4/5	11:10-12:00	大学院講義室 3	青山 豊																																																											
2	4/12	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
3	4/19	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
4	4/26	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
5	5/10	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
6	5/17	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
7	5/24	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
8	5/31	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
9	6/7	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
10	6/14	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											
11	6/21	11:10-12:00	共用セミナー室 10	青山 豊																																																											

			ナ一室 10	
12	6/28	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
13	7/5	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
14	7/12	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
15	7/19	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
16	9/27	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
17	10/4	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
18	10/11	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
19	10/25	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
20	11/1	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
21	11/8	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
22	11/15	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 10	青山 豊
23	11/22	11:10-12:00	アクティ ブラーニ ング教室	青山 豊
24	11/29	11:10-12:00	アクティ ブラーニ ング教室	青山 豊
25	12/6	11:10-12:00	アクティ ブラーニ ング教室	青山 豊
26	12/13	11:10-12:00	アクティ ブラーニ ング教室	青山 豊
27	12/20	11:10-12:00	アクティ ブラーニ	青山 豊

			ング教室	
28	1/10	11:10-12:00	アクティ ブラーニ ング教室	青山 豊
29	1/17	11:10-12:00	アクティ ブラーニ ング教室	青山 豊
30	1/24	11:10-12:00	アクティ ブラーニ ング教室	青山 豊

授業方法

本セミナーでは参加者とのコミュニケーションを前提に運営されるため、毎回アクティブ・ラーニングの観点から教員と参加者との間並びに参加者間での双方向的な質疑応答を行う。

授業内容

- 第1回: 決定—決めることが重要なのか
- 第2回: 代表—なぜ、何のためにあるのか
- 第3回: 討議—政治に正しさはあるのか
- 第4回: 権力—どこからやってくるのか
- 第5回: 自由—権力をなくせばいいのか
- 第6回: 社会—国家と市場以外に何が存在するのか
- 第7回: 距離—政治にどのように向き合うのか

成績評価の方法

評価 : 試験 0 % ・ レポート 85 % ・ その他(出席)15 %。ただし受講姿勢等に問題がある場合は別途減点対象となる。

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による。

準備学習などについての具体的な指示

指定図書および配布プリントを事前に必ず精読し、配布プリント記載の例題に対応すること。

教科書

杉田敦『政治的思考』(岩波新書、2013年)

参考書

愛敬浩二『改憲問題』(ちくま新書、2006年)、宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』(岩波新書、2010年)、佐々木毅『民主主義という不思議な仕組み』(ちくまプリマー新書、2007年)、杉田敦『デモクラシーの論じ方—論争の政治』(ちくま新書、2001年)、長谷部恭男『憲法と平和を問いなおす』(ちくま新書、2004年)、樋口陽一『個人と国家』(集英社新書、2000年)、長谷部恭男『憲法とは何か』(岩波新書、2006)、長谷部恭男・杉田敦『憲法と民主主義の論じ方』(朝日新聞出版、2016年)、森政稔『変貌する民主主義』(ちくま新書、2008年)、待鳥聡史『代議制民主主義』(中公新書、2015年)、水島治郎『ポピュリズムとは何か』(中公新書、2016年)など。

履修上の注意事項

毎回出席を確認します。10分以上の遅刻は欠席扱いとなりますし、提出物を期限までに提出しない場合は減点対象になりますので気を付けて下さい。

備考

キーワード: キーワード: 立憲主義、民主主義、ポピュリズム、代議制、違憲審査制、安保法制、憲法改正、国民投票、参加民主主義、放送法制、緊急事態条項など。

時間割番号	000807		
科目名	主題別人文社会科学セミナー(時間と人間)		
担当教員	飯田 卓		
開講時期	通年	対象年次	3

曜日・時間: 木曜 3限

科目を履修して得られる能力(コンピテンシー): 1-3)人間の歴史的営みを理解する、1-4)異なる空間の文化を理解する、1-5)人間の思考の枠組みを知り、自らの思考を振り返る、2-5)自らテーマを見つけて、調べ、発展させ、論文にまとめる能力を養う

授業の目的、概要等

本セミナーでは、時間の観点から、人間あるいは人間の生死の問題について考察します。それは、私たちの経験がどのように可能であり、どのように不可能であるのかということを考えることでもあります。ただし、時間の存在を素朴に自明視したまま、人間について中心的に考察するわけではありません。たとえば、しばしばなされるように時間を「t」で表すことによって、時間を流れてではなく、空間上の軌跡として捉えれば(時間の空間化)、それで事足りるといったわけではありません。むしろここで問題にしたい時間とは、「t」で表したり微分操作をしたりする以前の時間なのです。あるいは、人間の意識や行為から独立して時間なるものが存在すると想定したうえで、そのような時間が一方的に人間を規定・拘束する在り方を考察するわけでもありません。時間の実在を認める立場には、時間に関する常識の見方だけでなく、キリスト教における世界創造説、近代以降の自然科学的見方、そして人文・社会科学的見方もその大部分が含まれますが、むしろここでの目的は、そうした見方を批判的に吟味しながら、時間と人間について考察することにあります。

時間を無条件に実体化して捉える実在論的独断や、時間を主観的観念あるいは意識に還元する観念論的独断に陥ることなく、時間と人間について考察しようとするならば、時間の量的な側面(物理的・客観的時間等)、または時間の質的な側面(過去・現在・未来という様相、体験的・行為的時間等)の一方のみをもって時間の本質とみなしてしまうのではなく、なによりも両者の相互反映的な関係を問うことが求められるでしょう。すなわち、時間を二つ以上の出来事(変化)の相関(天体の運動・時計等と人間の意識・行為等との相関)と捉えたうえで、両者を媒介するような意味というものに注目し、時間というもの、さまざまな文化・社会・歴史的状況に置かれた人間を経由してはじめてその時間的意味を獲得し(たとえば、現在の行為における関心によって先取りされる未来とのかかわりが、時間に実質と意味を与える)、同時にこのような仕方で構成された時間を背景(前提)として人間(による時間構成)もまた成立するという、いわば自己言及的な循環から時間と人間との関係を考察する必要があるのです。時間という概念は、そのうちに人間の意識や行為を含んでいると言ってもよいでしょう。この意味で、時間への問いとは自己への問いでもあり、その解明の作業は同時に自己反省の作業となるはずで

授業の到達目標

「〇〇とは何か」という問いは、その問い自体が〇〇についての一定の知識を論理的に前提しています。そして時間に関するかぎり、「〇〇とは何か」という問い方は、十分に吟味しなければ決して正しい問いの立て方とは言えません。というのは、時間について問うたり語ったりすること自体が、時間を必要としているという事情があるだけでなく、「時間とは何か」という問いの形式そのものが、先に述べたような時間についての一定の先入見(実体化)に基づいているために、その妥当性を吟味しなければ、この問いは問いとして正当かつ十分な資格を持ちえないからです。時間についての問い方が誤っているということは、時間にアプローチする基本的な姿勢が誤っていることにほかならないのです。このことを踏まえて本セミナーでは、まずは文献講読と討議を通して、時間を自明視しない姿勢を身につけること。そして変化や運動、継起の順序、同時性、持続や流れ、過去・現在・未来、連続性といった時間に関する基本的な諸概念を理解し、時間と人間について考察できるようになること。そのうえで、各自の興味・関心にしたがって執筆する「セミナー論文」において、(その主題が生物的時間であれ、物理的時間であれ、社会的時間であれ、心理的時間であれ、歴史的時間であれ、文学的時間であれ、芸術的時間であれ…)正しく問いを設定し、一定の結論を導くことができるようになること。以上のことを到達目標とします。

授業計画

回	日付	時刻	講義室	担当教員
1	4/5	11:10-12:00	共用講義室2	飯田 卓
2	4/12	11:10-12:00	共用セミナー室12	飯田 卓
3	4/19	11:10-12:00	共用セミナー室12	飯田 卓
4	4/26	11:10-12:00	共用セミナー室12	飯田 卓

5	5/10	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
6	5/17	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
7	5/24	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
8	5/31	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
9	6/7	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
10	6/14	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
11	6/21	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
12	6/28	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
13	7/5	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
14	7/12	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
15	7/19	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
16	9/27	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
17	10/4	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
18	10/11	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
19	10/25	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
20	11/1	11:10-12:00	共用セミ 十一室 12	飯田 卓
21	11/8	11:10-12:00	共用セミ	飯田 卓

			ナ一室 12	
22	11/15	11:10-12:00	共用セミ ナ一室 12	飯田 卓
23	11/22	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓
24	11/29	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓
25	12/6	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓
26	12/13	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓
27	12/20	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓
28	1/10	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓
29	1/17	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓
30	1/24	11:10-12:00	共用講義 室2	飯田 卓

授業方法

演習形式、アクティブラーニング

授業内容

授業は演習形式で進めてゆきますので、各回とも履修者各自による発表・質問・討議が中心となります。前半(グループ別)では、履修者の興味・関心に沿って比較的平易な時間に関する文献をいくつかを選び、それらを全員で講読します。具体的には履修者のあいだで分担(発表・質問担当)を決め、発表担当者には PowerPoint を用いて内容について報告を行っていただきます。そして報告された内容をもとに討議を行うという仕方です。後半(総括セミナー)では各自の興味・関心にしたがった研究の成果を報告していただき、その報告をもとに討議を行うという仕方です。

成績評価の方法

評価 : 試験 % ・ セミナー論文 70 % ・ その他(出席、コメントシート等) 30 %

再評価: 有(セミナー論文再提出)

成績評価の基準

「東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 別表2」による

準備学習などについての具体的な指示

配布された文献は、次回までに熟読しておいてください。

教科書

とくに必要ありません。参考までに、これまでのセミナーで用いた文献(論文集)を一部挙げておきます。広中平祐・井上慎一・金子務[編]『時間と時——今日を豊かにするために』日本学会事務センター学会出版センター(2002年)、村上陽一郎[編]『東京大学教養講座 3 時間と人間』東京大学出版会(1981年)、向坊隆ほか『東京大学公開講座 時間』東京大学出版会(1980年)、伏見康治・柳瀬睦男[編]『時間とは何か』中央公論社(1974年)、渡辺慧・渡辺ドロテア[編]『時間と人間』中央公論社(1979年)、田山忠行[編]『時を編む人間——人文科学の時間論』北海道大学出版会(2015年)、井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉[編]『岩波講座 現代社会学 6 時間と空間の社会学』岩波書店(1996年)、田島節夫・坂本賢三・市川浩・坂部恵・村上陽一郎[編]『講座現代の哲学 1 時間・空間』弘文堂(1977年)、大森荘蔵・滝浦静雄・中村雄二郎・藤沢次夫[編]『新岩波講座哲学 7 トポス 空間 時間』岩波書店(1985年)、小安増生・白井利明[編]『発達科学ハンドブック 3 時間と人間』新曜社(2011年)、橋本毅彦・栗山茂久[編]『遅刻の誕生——近代日本における時間意識の形成』三元社(2001年)、「別冊・数理科学 時間論の諸パラダイム」サイエンス社(2004年)等

参考書

教場にて適宜指示しますが、さしあたり以下の文献を挙げておきます。アリストテレス『アリストテレス全集 3 自然学』岩波書店(1987年)、H.ベルクソン『意識に直接与えられたものについての試論』ちくま学芸文庫(2002年)、E.フッサール『内的時間意識の現象学』みすず書房

(1970 年)、M.ハイデガー『存在と時間』岩波文庫(2013 年)、E.ミンコフスキー『生きられる時間——現象学的・精神病理学的研究』みすず書房(1972 年)、E.マツハ『時間と空間』法政大学出版局(2008 年)、P.ホーウィッチ『時間に向きはあるか』丸善(1992 年)、R.モリス『時間の矢』地人選書(1987 年)、B.リベット『マインド・タイム——脳と意識の時間』岩波書店(2005 年)、P.J.ズワルト『時間について』紀伊國屋書店(1980 年)、J.メイザー『ゼノンのパラドックス——時間と空間をめぐる 2500 年の謎』白揚社(2009 年)、R.ベドヴィン『時間と空間をめぐる 12 の謎』岩波書店(2012 年)、B.アダム『時間と社会理論』法政大学出版局(1997 年)、渡辺慧『時』河出書房新社(2012 年)、大森荘蔵『時間と自我』青土社(1992 年)、滝浦静雄『時間』岩波新書(1976 年)、植村恒一郎『時間の本性』勁草書房(2002 年)、入不二基義『時間は実在するか』講談社現代新書(2002 年)、中島義道『「時間」を哲学する』講談社現代新書(1996 年)、青山拓央『タイムトラベルの哲学』ちくま文庫(2011 年)、野家啓一『物語の哲学』岩波現代文庫(2005 年)、真木悠介『時間の比較社会学』岩波現代文庫(2003 年)、今村仁司『近代性の構造——「企て」から「試み」へ』講談社選書メチエ(1994 年)、西本郁子『時間意識の近代——「時は金なり」の社会史』法政大学出版局(2006 年)、内山節『時間についての十二章——哲学における時間の問題』岩波書店(1993 年)、木村敏『時間と自己』中公新書(1982 年)、広井良典『生命と時間——科学・医療・文化の接点』勁草書房(1994 年)、本川達雄『ゾウの時間 ネズミの時間』中公新書(1992 年)、M.エンデ『モモ』岩波少年文庫(2005 年)、A.ハート=デイヴィス『時間の図鑑』悠書館(2012 年)、A.カレル『人間 この未知なるもの』三笠書房(1992 年)等

履修上の注意事項

毎回コメントシートを配布し、出欠をとります。

東京医科歯科大学全学共通科目履修規則

〔平成16年4月1日〕
規則第217号

（趣旨）

第1条 東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目（以下「全学共通科目」という。）の履修に関しては、東京医科歯科大学学則（平成16年規程第4号。以下「学則」という。）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

（授業科目の編成）

第2条 全学共通科目における授業科目は、次の4系をもって編成する。

- 自由教育講義系
- 自由教育実習系
- 自由教育セミナー系
- 基礎教育系

（授業科目及び単位数）

第3条 前条の各系に属する授業科目及び修得すべき単位数等は、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の授業科目及び修得すべき単位数等は、教養部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

（1単位当たりの授業時間）

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間
 - (2) 実験及び実習については、30時間から45時間
- 2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。
- (1) 学習目標を十分に満たすこと
 - (2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

（履修届）

第5条 学生は、別に定める授業科目の中から、履修しようとする授業科目を所定の期日までに届け出なければならない。

（定期試験）

第6条 履修した授業科目については、試験を行う。

2 前項の規定にかかわらず、実験、実習を伴う授業科目又は試験を行うことが困難な授業科目等で、平常の学修の成果を評価して成績を与えることが適切と認められる場合には、試験によらず、指定した課題についての報告等をもって試験に代えることができる。

3 第1項の試験については、別に定める。

4 試験に合格したときは、所定の単位を与える。

（学習の評価）

第7条 履修した授業科目の成績については、別表2により学習の評価を行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、前条第2項に該当する授業科目のうち、第1項により難しい場合の学習の評価は、別表3により行う。
- 3 第1項及び第2項の学習の評価に、平常の学修の成果を加味することができる。
- 4 教養部長は、学習の評価の結果を学生に通知する。

(再履修)

第8条 前条により、「不可」又は「不合格」の評価を得た授業科目については、所定の手続きにより再履修することができる。

(懲戒)

第9条 教養部長は、懲戒に相当すると思われる行為があったときは、学則第58条に定める懲戒の手続きをとるものとする。なお、手続きについては別に定める。

(進級要件)

- 第10条 別表1(1)に定める単位をすべて修得しなければ、第2学年に進級することができない。
- 2 別表1(2)に定める単位をすべて修得しなければ、第3学年に進級することができない。
 - 3 別表1(3)に定める単位をすべて修得しなければ、第4学年に進級することができない。
 - 4 全学共通科目の単位の認定については、教養部教授会の議を経て、教養部長がこれを行う。
 - 5 教養部長は、前項の認定の結果について各学部長に通知する。
 - 6 2年以内に、別表1(1)に定める単位をすべて修得することができない学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。ただし、当該期間には、休学の期間を算入しない。
 - 7 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 8 第6項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、教養部長が再審議の必要性があると判断したときは、教養部長は、教務委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(歯学部口腔保健学科編入学生の履修)

第11条 学則第18条及び第18条の2に定める歯学部口腔保健学科編入学生の全学共通科目に係る履修については、別に定める。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、全学共通科目の履修に関する必要な事項は、教養部教授会が別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 国立大学法人の成立前の東京医科歯科大学に平成16年3月31日に在学し、引き続き本学の在学者となったもの(以下「在学者」という。)及び平成16年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者の教育課程の履修については、この規則の規定にかかわらず、なお従前の例

による。

附 則（平成18年3月31日規則第10号）

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）および平成18年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成20年3月31日規則第8号）

- 1 この規則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成20年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成21年3月19日規則第11号）

- 1 この規則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日において現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成21年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成22年3月30日規則第40号）

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1、別表2及び別表3の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第14号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年2月25日規則第3号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月4日規則第12号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第72号）

- 1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附 則（平成29年3月31日規則第53号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者という。」）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、この規則にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年 月 日規則第 号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

別表 1

(1)第1学年

授 業 科 目		修 得 す べ き 単 位 数						備 考	
		医 学 部			歯 学 部				
		医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科			
			看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻		
自由教育講義系	人文科学・社会科学	哲学Ⅰ							
		哲学Ⅱ							
		倫理学Ⅰ							
		倫理学Ⅱ							
		心理学Ⅰ							
		心理学Ⅱ							
		宗教学Ⅰ							
		宗教学Ⅱ							
		芸術Ⅰ							
		芸術Ⅱ							
		歴史学AⅠ							
		歴史学AⅡ							
		歴史学BⅠ							
		歴史学BⅡ	8	8	8	8	8	8	選択科目
		民俗学Ⅰ							1科目
		民俗学Ⅱ							2単位
		科学史Ⅰ							
		科学史Ⅱ							
		文学AⅠ							
		文学AⅡ							
		文学BⅠ							
		文学BⅡ							
		法学Ⅰ							
		法学Ⅱ							
政治学Ⅰ									
政治学Ⅱ									
経済学Ⅰ									

	経済学Ⅱ						
	社会学AⅠ						
	社会学AⅡ						
	社会学BⅠ						
	社会学BⅡ						
	社会心理学Ⅰ						
	社会心理学Ⅱ						
	社会思想史Ⅰ						
	社会思想史Ⅱ						
	文化人類学Ⅰ						
	文化人類学Ⅱ						
	社会科学特論Ⅰ						
	社会科学特論Ⅱ						
	Japanese Culture and SocietyⅠ						
	Japanese Culture and SocietyⅡ						
	グローバル教養科目 (注1)						
自然科学	物理学入門	1 (注2)		1 (注2)	1 (注2)		選択科目
	生物学入門						
	化学入門						
	数学Ⅰ	1		1		必修科目	
	物理学Ⅰ	1		1			
	数学Ⅱ	1 (注3)			1 (注3)		医学科・歯学科は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。
	物理学Ⅱ			1			

自由教育実習系		統計学		1	1		1	1	必修科目
		化学	2		2	2			
		化学基礎		1			1	1	
		生物学	2		2	2			
		細胞生物学基礎		1			1	1	
		人体の生物学基礎		1			1	1	
	外国語	英語	4	4	4	4	4	4	必修科目
		日本語(注4)	4	4	4	4	4	4	選択科目 1科目 4単位
		ドイツ語							
		フランス語							
		中国語							
		スペイン語							
	自然科学	物理学実験	1			1			必修科目
		化学実験	1			1			
生物学実験		1			1				
サイエンスPBL入門		1			1				
科学基礎実験				1				看護学専攻・口腔保健衛生学専攻・口腔保健工学専攻は、選択科目。検査技術学専攻は、必修科目。	
科学基礎演習			1 (注5)			1 (注5)	1 (注5)		
情報科学			1	1		1	1	必修科目	
情報処理		1			1				

	保健 体育	スポーツ・健康科学	1	1	1	1	1	1	必修科 目
		フィットネスマネジメント	1	1	1	1	1	1	
自由 教育 セミナー系	共通 領域	共通領域セミナー科目	2	1	1	2	1	1	必修科 目(具 体的な 科目名 は、全 学共通 科目教 育要項 に定め る。)
基礎 教育系	共通 領域	教養総合講座	1	1	1	1	1	1	必修科 目
	連携 教育	医療人間学概論(倫理 学)		1					必修科 目
		医療人間学概論(法学)		1	1				
		医療人間学セミナー		1					
第1学年 小計			34	29	32	34	26	26	

(注)

- 1 詳細は、全学共通科目教育要項に定める。
- 2 医学部医学科、保健衛生学科検査技術学専攻及び歯学部歯学科の学生については物理学入門、生物学入門、化学入門のうちから1科目(1単位)を選択する。
- 3 医学部医学科及び歯学部歯学科の学生については数学Ⅱ、物理学Ⅱのうちから1科目(1単位)を選択する。
- 4 外国人留学生のみ履修できる。
- 5 保健衛生学科看護学専攻及び口腔保健学科の学生については科学基礎実験又は科学基礎演習のいずれか1科目(1単位)を選択する。

(2)第2学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	生命科学基礎	2			2			必修 科目
		主題別選択Ⅰ	1			1			
	連携 教育	教養英語				4			
		情報科学演習				1			
		サイエンスPBL				1			
		生命科学(人体の生物学)				2			
		生命科学(生物物理化学)				2			
		人文社会科学総合講義				2			
第2学年 小計			3			15			

(3)第3学年

授 業 科 目			修 得 す べ き 単 位 数						備 考
			医 学 部			歯 学 部			
			医学科	保健衛生学科		歯学科	口腔保健学科		
				看護学 専攻	検査技 術学専 攻		口腔保 健衛生 学専攻	口腔保 健工学 専攻	
基礎 教育系	教養 教育	主題別選択Ⅱ	1			1			必修 科目
		主題別人文社会科学セ ミナー	2			2			
第3学年 小計			3			3			
全学共通科目 合計			40	29	32	52	26	26	

別表2

摘要	評価基準	評価	単位認定
第7条第1項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A+	合格
	当該科目の到達目標を全て達成した	A	
	当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
	当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
	到達目標の達成度を評価できない	F	

別表3

摘要	評価基準	評価	単位認定
第7条第2項に該当する授業科目	当該科目の到達目標を達成している	合格	合格
	当該科目の到達目標を達成していない	不合格	不合格